

いなべ市教育要覧

令和6年度

いなべ市教育委員会

目 次

教育委員会

いなべ市の概要	1
教育委員会の組織	2
いなべ市教育大綱	4
いなべ市教育振興ビジョン（令和3年度～令和7年度）	7
いなべ市人権教育基本方針	19
いなべ市学校教育基本方針策定にあたって	22
いなべ市学校教育基本方針	24

令和5年度に実施した主な事業

教育総務課	26
学校教育課	32
生涯学習課(社会教育)	44
(社会体育)	67
自然学習室	74

参考資料

令和6年度 児童及び生徒数、学級数	89
市内小中学校児童及び生徒数、学級数の推移	90
児童及び生徒数10年後推移	91
令和6年度 小中学校教職員数	92
小中学校教諭の男女別構成、年齢別構成	93
奨学金制度、私学助成制度	94
教育総合研究所資料	95
いなべ市小中学校使用教科書一覧	100
放課後児童クラブの状況	101
国、県、市指定文化財一覧表	102
体育施設一覧表	104

いなべ市の概要

本市は、北部、西部が岐阜県と滋賀県に接し、東部、南部は桑名市と四日市市に接しています。市域は、北に多度山地、西に鈴鹿山脈をいただき、市のほぼ中央を流れる員弁川を挟んで緑豊かな自然と平野に囲まれています。なかでも、鈴鹿国定公園内にある藤原岳は、全国でも屈指の「花の山」として年中登山客が絶えることなく、また、同公園内の竜ヶ岳が育む宇賀溪も、鈴鹿の滝の景勝地として知られています。

本市を構成する北勢地区、員弁地区、大安地区、藤原地区は、古くから地形的にも文化的にも密接に交流し、純農村地帯として栄えてきました。

市名である「いなべ」は、約1,300年前の奈良時代に始まり、当地域に物部氏の支系・猪名部族が居住していたことから、郡名が「猪名部」と名づけられました。その後、「員弁」と表記されるようになりましたが、その歴史の長さが裏づけられています。本地域は、旧藩政時代の一時期を除いて桑名藩に属し、明治4年の廃藩置県により安濃津県(その後三重県と改称)に属しました。

明治22年の町村制の施行を経て、昭和28年の町村合併促進法が施行された当時、本地域は2町12村となりました。その後、合併が繰り返され、昭和30年代から40年代にかけて北勢町、員弁町、大安町、藤原町が誕生しました。

しかし、地方分権の推進や少子高齢化の進展など、社会情勢の急激な変化を見据えつつ、多様化・広域化する住民サービスへの適切な対応を行うためには、さらなる合併によってそのスケールメリットを活かし、自治体としての基盤の強化を図る必要性が高まりました。

その後、平成14年に「法定合併協議会」が設置され、合併に必要な協議を重ねた後、平成15年12月1日に「いなべ市」が誕生し、令和5年(2023年)に市制20周年を迎えました。

人口動態

(各年4月1日現在、単位：人)

平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
46,074	45,874	45,721	45,485	45,527	45,602	45,250	44,763	44,691	44,573

資料：人口動態調査

教育委員会の組織

令和6年4月1日現在

教 育 長

役 職 名	氏 名	任期 (特別職)
教 育 長	小川 専哉	令和6年4月1日就任 令和9年3月31日まで

教 育 委 員

役 職 名	氏 名	委員の任期
委 員 (教育長職務代理者)	佐藤 貴志	令和5年1月30日就任 令和9年1月29日まで
委 員	伊藤 典明	令和3年1月30日就任 令和7年1月29日まで
委 員	長野 源悟	令和4年1月30日就任 令和8年1月29日まで
委 員	位田 あけみ	令和6年1月30日就任 令和10年1月29日まで
委 員	近藤 由起子	令和2年10月1日就任 令和6年9月30日まで

教育委員会事務局

教育部長	
教育次長	
教育総務課	
事務局	課長 事務局職員 会計年度任用職員 教育委員会の会議に関する業務、条例、規則、規程等の審査、教育委員会施策の企画及び調整業務、学校給食業務、学校その他教育財産の取得及び管理業務
施 設	大安学校給食センター 藤原学校給食センター：所長（兼務） 会計年度任用職員（調理業務は業者委託）

学校教育課	
事務局	課長 事務局職員 指導主事 会計年度任用職員 教職員の人事管理及び服務規律、学級編成、外国人児童生徒教育、進路指導、児童生徒の健診業務、高校入学奨学、児童生徒の転出入等に関する業務、放課後児童クラブに関する業務、スクールバス運行管理業務
施設	教育総合研究所：所長 研究所職員 教職員（研修員） 会計年度任用職員 学校教育支援グループ：学校教育推進員 小学校11校 中学校4校
生涯学習課	
事務局	課長 事務局職員 文化振興、文化財保護、市史編さん、青少年育成、生涯学習に関すること、公民館、文化施設、図書館、郷土資料館等の管理運営業務、社会体育施設の管理業務、生涯スポーツ関係事業の計画、振興奨励及び実施、ツアー・オブ・ジャパンいなバステージ開催に関する業務
施設	大安公民館：事務局職員 施設職員 北勢市民会館：施設職員 員弁コミュニティプラザ：事務局職員 施設職員 藤原文化センター：施設職員 北勢図書館：司書 司書補 施設職員 員弁図書館：司書 司書補 施設職員 大安図書館：司書 司書補 藤原図書館：司書 郷土資料館：館長 施設職員
自然学習室	
事務局	室長 事務局職員 会計年度任用職員 藤原岳自然科学館博物展示、屋根のない学校、ふるさとの森、大井田西部公園の活用、希少動植物の保全に関する業務
施設	屋根のない学校：会計年度任用職員 藤原岳自然科学館（藤原文化センター内） ：館長 会計年度任用職員

いなべ市教育大綱

健やかに育ち個性が輝く人づくり

1 大綱策定の趣旨

平成27年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行されました。この改正は、教育の政治的中立性、継続性及び安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図るためのものです。これにより、新「教育長」や「総合教育会議」の設置、首長による教育に関する「大綱」の策定など、教育委員会制度が大きく変わりました。

教育における「大綱」とは、教育の目標や施策の根本的な方針を示すものであり、教育基本法第17条に規定する基本的な方針を参酌して定めるものです。

本市では、令和3年度からスタートする「第2次いなべ市総合計画第2期基本計画」の策定において、基本目標3「健やかに育ち個性が輝く人づくり」として、教育に関する基本的な政策を掲げています。

今回、本市において策定するいなべ市「教育大綱」は、総合教育会議の協議を経て基本的な理念を定めるものです。本市第2次総合計画の基本目標3を「教育大綱」の方針として位置付けます。

2 対象期間

対象期間は、おおむね5年間とします。(令和3年度～令和7年度)

3 いなべ市まちづくりの主な課題

(1) まちの魅力の向上

本市がより住み続けたい、住んでみたい、訪れてみたいまちとなり、定住人口や交流人口の維持、増加を促進していくためには、まちの魅力を向上させ続けていくことが必要です。

そのためには、分野別の課題解決に取り組むとともに、多くの市民が住みよさの理由にあげている、自然に恵まれた環境をはじめ、固有の歴史文化の活用、企業誘致等による就業機会の創出、地域活動の活性化など、様々な視点からまちの魅力づくりを推進することが必要です。

また、「いなべブランド」の取組の強化や、多様な情報媒体を通じた魅力の発信により、市内外に広く本市の魅力を伝えていくことが必要となっています。

(2) 市民が主役のまちづくり

本市では、環境保全、健康増進、福祉、教育などの様々な分野で、主体的な市民活動が行われています。

市民がやりがいと責任をもって主体的に活動する機運が高まりをみせています。今後も、女性の就労支援や地域における活躍の機会の創出、元気で能力の高い高齢者が参加したくなる仕組みづくりなどに取り組み、市民のやりがいや生きがい、幸福感などの向上がともなった市民活動の活性化を推進していく必要があります。

また、全国的に都市部への人材の流出が進むなか、市民が主役のいなべ市独自の魅力的なまちづくりを推進することにより、まちづくりをリードする人材が集い、育まれる環境づくりを積極

的に推進する必要があります。

(3) 少子高齢化への対応

本市でも着実に少子高齢化が進行しており、経済活動や地域活動に大きな影響を与えていくことが予想されます。

まちづくり市民満足度調査では、将来どのようなまちになってほしいかについて、「高齢になっても生きがいを持って暮らせるまち」「医療や福祉が充実したまち」の割合が高くなっています。今後の高齢化対策では、医療や介護など多様な機関の連携によって在宅生活を支える「地域包括ケアシステム」の強化とともに、高齢者による主体的な活動を積極的に支援することが必要です。

また、成人世代は、経済活動を支えるとともに、地域活動の担い手としてまちの活力を生み出す世代でもあるため、働く場の確保や生活環境の整備などが不可欠です。

さらに、次代のまちを担う子どもたちのためには、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備や、子どもたちが健やかに成長できる教育環境の充実が必要となっています。

(4) 安心安全の確保

まちづくり市民満足度調査においても防災や防犯対策についての市民ニーズは非常に高く、地震や土砂災害などの自然災害や、事故、犯罪などから市民の命と財産を守るため、各種対策の充実が重要となっています。

日頃からの備えによる地域の防災防犯力の向上や日常の家族や地域のつながりを強め、災害時にも対応できる地域ネットワークを構築するとともに、市民、企業、行政などの連携と協力による総合的な地域防災防犯体制の強化により、子どもから高齢者まで全ての市民が安心して暮らせるまちづくりを進めることが必要です。

また、市民が安心して暮らすためには地域医療や救急医療体制の充実が重要であり、特に小児科医などをはじめとした医師の人材確保が必要です。

(5) 都市拠点の創造とネットワーク化の推進

建設が進められている東海環状自動車道の開通により、多くの人が本市を訪れる可能性が高まっています。経済産業面はもとより、観光や地域間交流、高度医療機関へのアクセス、災害時の交通確保など、様々な効果への期待が高まるなか、効果的な活用策の確立が必要となっています。一方、まちづくり市民満足度調査では、住みにくい理由として「交通事情や交通の便が良くないから」「通勤、通学に不便だから」「買い物に不便だから」が多くなっており、公共交通の利便性の向上についても、市民ニーズに対応した継続的な対策が必要です。

(6) 環境保全への取り組み

本市は緑豊かな自然環境に恵まれたまちです。今後も自然環境を大切にするとともに、様々な生き物や生態系を保護する取り組みを継続的に進めていく必要があります。まちづくり市民満足度調査でも、多くの市民が自然に恵まれた環境を大切だと感じており、今後も土地開発に伴う景観の保全や都市部の緑化など、暮らしと調和した環境保全に取り組む必要があります。

また、地球温暖化対策や循環型社会への移行については、まちづくり市民満足度調査では市民から一定の評価を得ていますが、引き続き市民、事業者、行政が一体となり、それぞれの立場からごみの減量化やリサイクルなど、環境にやさしい地域循環型社会に向けた取組を進める必要があります。

4 いなべ市の教育基本目標（健やかに育ち個性が輝く人づくり）

子どもたちの未来づくりに向け、学校、家庭、地域が一体となって、総合的に子どもや青少年の教育を推進します。また、市民一人ひとりが生涯を通じて学習活動やスポーツ活動、文化芸術活動に取り組める環境を整えます。

学校教育

児童生徒一人ひとりの「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」を育み、主体的に自らの未来を切り拓く力や豊かな人間関係を結ぶ力を最大限に引き出す、きめ細やかな教育を推進します。

また、教職員の資質向上を図るとともに、児童生徒が安心して学習できる学校環境の整備を進めます。さらに、障がいのある児童生徒についても、その個性と能力に応じた適切な教育を進めます。

《施策：「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成、創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進、教職員の資質の向上》

生涯学習

地域組織や関係団体との連携のもと、青少年とともに育み、見守る地域づくりを進めます。また、生涯学習を通じ、個人の知識と技能の習得や自己実現を支援するとともに、市民が主体的に生涯学習に取り組み、その学習の成果を社会に還元できる地域づくりをめざします。

《施策：青少年の夢を育む地域づくりの推進、生涯学習の充実》

文化芸術

文化や芸術に市民が触れることができる機会の提供を図るとともに、団体や個人の主体的な文化芸術活動を促進します。また、本市の特徴的な文化財については、共通の財産として、保護や継承を進めます。

《施策：文化芸術活動の充実》

スポーツ

健康増進や生きがいづくり、仲間づくりに寄与するスポーツ活動を促進します。市民のスポーツ活動の活性化に向け、誰もが参加し、楽しむことができる身近なスポーツの機会づくりや、自己の技術等を高める競技スポーツへの支援などを通じ、総合的なスポーツの推進を図ります。

《施策：総合的なスポーツの推進》

自然学習

鈴鹿山脈と養老山地に囲まれたいなべ市には、多くの動植物が生息生育している自然環境があります。この恵まれた自然の魅力や大切さを市内外に発信するとともに、環境に配慮した適切な活用方法を検討し、有効な利用を図ります。

《施策：自然環境の保全・充実》

いなべ市教育振興ビジョン

第1章 基本的事項

1 策定の趣旨

いなべ市が策定する総合計画（平成28年度～平成37年度）の第2期基本計画（令和3年度～令和7年度）に沿って、今後の本市の教育施策の方向性を示す新しい指針として、いなべ市教育振興ビジョンを策定します。

2 位置づけ

教育基本法第17条第2項に基づいて策定する、いなべ市における教育振興の施策に関する基本的な計画

3 計画期間

5年間(令和3年度～令和7年度)

4 対象範囲

- (1) いなべ市内の公立学校教育、社会教育、スポーツに関すること
- (2) 上記(1)と密接な関係を有し、いなべ市教育委員会が、多様な主体との協働・連携のもとに、推進を働きかけることのできる分野

5 ビジョンとしての性格

- (1) 中期的視点からいなべ市の教育施策の方向性を示します。
- (2) いなべ市総合計画と一体となった施策展開を図ります。
- (3) いなべ市の学校・家庭・地域が一体となり、社会全体で教育に取り組むための拠り所とします。

6 進捗状況の点検と見直し

- (1) 計画の実施過程においては、PDCAサイクルの考え方に基づいて、各年度に重点的に取り組んだ事業についてまとめた「いなべ市教育要覧」を作成し、これを公表し、計画の着実な実施に努めます。
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとなっています。この「教育委員会の点検及び評価報告書」を市ホームページに掲載することにより、計画の進捗状況を、市民に報告していきます。
- (3) 「教育委員会の点検及び評価報告書」の結果を、次年度の施策の見直しや改善等に生かすよう努めます。

第2章 基本理念

1 「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成

「一人ひとりを大切にする教育の推進」「人権教育内容の充実」「確かな学力の向上」「小中一貫教育の推進」「健やかな体の育成」

2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進

「地域に開かれた学校づくりの推進」「学校環境整備の充実」

3 教職員の資質の向上

「教育相談・支援体制の充実」

4 青少年の夢を育む地域づくりの推進

「青少年健全育成の推進」

5 生涯学習の充実

「学びの機会の充実」「生涯学習施設の充実」「図書館の利便性向上」

6 文化芸術活動の充実

「文化財の保存活用支援」

7 総合的なスポーツの推進

「生涯スポーツの充実」「スポーツ施設運営の充実」「スポーツ団体の育成支援」

8 自然環境の保全・充実

「自然環境の保全」「自然学習施設の充実」

第3章 各論

1 「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成

【現状と課題】

目の前の子どもの姿を出発点とし、「一人ひとりを大切にした授業づくり・集団づくり」と「地域に根ざした教育活動」に、学校と地域が一体となって取り組みを重ねてきました。本市の子どもたちが高い自己肯定感を持ち、学校生活に満足感を持つことができるよう、今後も継続した取り組みが必要です。

近年では、コミュニケーション能力の低下や、それに基づく人間関係の希薄化、個の確立ができていくなどの課題がみられます。

「生き抜く・生き合う・生き拓く」の3つの力を育み、義務教育9年間の学びと育ちをつなぐ教育を推進するため、小中一貫教育による新たな学校づくりを進めています。その際、地域が子育て支援に継続して取り組めるような工夫が必要です。

【基本方針】

- ・小中一貫教育を展開し、質の高い教育を実現することで、「生き抜く力(智)・生き合う力(絆)・生き拓く力(志)」が生まれ、子どもたちの幸せを保証します。
- ・一人ひとりの状況を的確に把握し、その子にあった支援を行うことで、全ての子ども安心して学べる学級、学校づくりを実現します。
- ・心を耕す教育を進めるとともに、人権尊重の意識と実践力を養うことで、人権文化を構築する子どもたちを育みます。

【施策：一人ひとりを大切にする教育の推進】

- ・小中学校における一人ひとりを大切にする教育の充実を図るために、支援が必要な子どもへの支援、教師の専門性の育成、外部（一人ひとりを大切にする教育の推進機関）との連携等を推進します。また、小中学校における特別支援教育等の充実を図ります。

【指 標】

指標名	教育委員会主催の特別支援・不登校対策の研修会参加者数			
指標値	現状 (R1)	1,090人	目標 (R7)	1,700人

指標名	県スクールソーシャルワーカーや関係機関との連携件数			
指標値	現状 (R1)	31件	目標 (R7)	50件

【施策：人権教育内容の充実】

- ・子どもたちの育ちを人権の視点で捉え、中学校区において保小中の連携を進めるための研修会を実施します。また、東員町とも連携を図り員弁地区人権フォーラムを開催し、小学校・

中学校の児童生徒による、各校の取組や交流、話し合いを通じて、いじめ等の人権問題についての感性を養います。

【指 標】

指標名	人権研修会の参加率（各年）（研修参加教員数/総教員数）			
指標値	現状 (R 1)	100%	目標 (R 7)	100%

【施策：確かな学力の向上】

- ・ 少人数教育や特別支援教育等を充実させるために非常勤講師を配置し、児童生徒の「生き抜く力（豊かな心、確かな学力、健やかな体）」を育成します。
- ・ 学級満足度調査（Q-U）を実施し、いじめや不登校の未然防止や、学習意欲の向上、居心地のよい学級集団づくりに活かします。

【指 標】

指標名	学級満足度調査（Q-U）において、満足群に位置する児童・生徒の割合が60%を超えた学校の割合（小学校）			
指標値	現状 (R 1)	67%	目標 (R 7)	63%
指標名	学級満足度調査（Q-U）において、満足群に位置する児童・生徒の割合が60%を超えた学校の割合（中学校）			
指標値	現状 (R 1)	72%	目標 (R 7)	72%

【施策：小中一貫教育の推進】

- ・ 各校の地域的な特色を活かしたテーマ（環境、食育、国際理解、福祉など）による学習活動の充実を図ります。
- ・ ゲストティーチャー等を活用することで地域との交流促進を図ります。
- ・ 体験活動、アクティブラーニングによる教育内容の深化を図ります。

【指 標】

指標名	全国学力状況調査において「将来の夢や目標を持っています」と答えている中学3年生の割合			
指標値	現状 (R 1)	73.0%	目標 (R 7)	83.0%

指標名	小中一貫教育研究発表会参加者数			
指標値	現状 (R 1)	286人	目標 (R 7)	190人

【施策：健やかな体の育成】

- ・耳鼻科、眼科、歯科、内科、尿、心電図、ぎょう虫卵検査を実施します。
- ・中学校の生徒に部活動への意欲・関心を高め、体力・技術・精神力の向上を図ります。

【指 標】

指標名	学校における検診受診率（検診受診児童数/総児童数）			
指標値	現状 (R1)	100%	目標 (R7)	100%

2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進

【現状と課題】

地域の実情に応じて、環境や福祉の教育、米づくりや栽培など様々な体験活動を通して、各校が特色ある学校づくりを展開するとともに、家庭や地域との連携、協働関係を強化しながらコミュニティ・スクールの指定や学援隊、学び舎事業の推進等を通じて、地域とともに歩む学校づくりを進めており、今後も継続した取り組みが必要です。

I C T機器の整備による情報教育の推進や国際化の進展、社会の変化等に柔軟に対応できる能力を育成する教育を推進しています。

家庭、地域及び行政、関係機関等、社会全体で学校を支援する体制を整えながら、創意と活気に満ちた特色ある学校づくりを行っていくことが重要です。

義務教育の9年間を見通した小中一貫教育を小学校再編とともに進めてきました。また、小中一貫教育の実施にあたっては、保護者、地域、学校の連携がより深まるよう工夫することが重要です。

学校施設の耐震補強は完了していますが、老朽化した施設があるため、改築や改修が必要です。

大安学校給食センター及び藤原学校給食センターから小学校11校と中学校4校に給食を供給していますが、北勢町内の4小学校は自校式給食となっています。子どもたちの心身の健康と正しい食習慣の定着につながる、安全・安心な学校給食の提供が必要です。

【基本方針】

- ・P T Aや地域、関係機関との連携によって学校への協力支援体制が確立され、子どもたちが安心して学べる教育環境の整備を進めます。
- ・コミュニティ・スクールや学援隊の充実により、創意と活気に満ちた特色ある学校づくりを推進します。
- ・各小中学校の生徒数や学級数等の規模が適正化であり、義務教育9年間を見通した連続性、一貫性のある小中一貫教育を展開します。
- ・児童生徒が安心安全で快適に過ごせる学校環境を確保します。

【施策：地域に開かれた学校づくりの推進】

未来いなべ科、学援隊事業、コミュニティ・スクールの各事業を密接に関連づけ、それぞれの事業での地域との交流及び支援の機会を増やすとともに、支援内容の広がりを図り、特色あ

る学校づくりを推進します。

【指 標】

指標名	各校に登録する学援隊員数			
指標値	現状 (R1)	1,023人	目標 (R7)	1,500人

【施策：学校環境整備の充実】

- ・複式学級を解消し、適正な学級・学校規模を維持します。
- ・学校安全管理及び児童生徒の防犯、防災対策のための物品を配布します。
- ・安全で安心な学校給食を安定的に提供する体制を維持します。
- ・学校施設を適正に維持管理し、児童生徒が安心して過ごせる環境を確保します。
- ・老朽化した学校施設の改築・改修を進め、児童生徒の安全を確保します。

【指 標】

指標名	建築後30年以上経過しているが改築・改修を行っていない施設を有する学校数			
指標値	現状 (R1)	4校	目標 (R7)	2校

3 教職員の資質の向上

【現状と課題】

本市では、確かな学力の獲得と豊かな人間性の育成のためには、安心して学べる学習環境がその基盤にあると考え、学級、学校の集団づくりに力を入れており、その実現のために、全教職員が共通理解のもと、一つのチーム（学校力）として取り組みを進めることが大切です。

教育研究所の活動を推進し、研修、研究機能を高めるとともに、研修体制を構築する必要があります。

教職員の研究組織を見直し、市として機能する教育研究組織の再編を行い、質の高い教育実践を行う必要があります。

【基本方針】

- ・市の教育水準を向上が図られるとともに、教育研究所における調査、研究により、今日的な課題や市独自の教育課題の解決につなげます。
- ・教職員の専門的知識、技能が高まり、資質及び指導力の向上を図ります。

【施策：教育相談・支援体制の充実】

研究指定校による研究の推進及び教育研究所の教職員研修の充実により、今日的な教育課題やいなべ市独自の教育課題の調査、研究を進めるとともに、教職員一人ひとりの資質、指導力の向上を図ります。

【指 標】

指標名	教育研究所研修講座等参加者数			
指標値	現状 (R 1)	1,074人	目標 (R 7)	1,350人

4 青少年の夢を育む地域づくりの推進

【現状と課題】

近年では、集団遊びや仲間との活動経験が乏しい子どもの増加や地域のつながりの希薄化により、青少年を取り巻く環境の悪化が懸念されています。

インターネットやスマートフォン等の情報取得手段の多様化により、問題行動の低年齢化や青少年の規範意識の低下が課題となっています。

両親の共働きなどにより、子どもの居場所づくりの必要性が増加しています。

【基本方針】

- ・家庭、学校、地域、関係機関等の連携により地域の青少年の育成能力を向上させます。
- ・地域の教育力を活かした子どもの居場所づくりを進めるとともに学校などの教育機関との連携により、休日や長期休暇などを利用した感性豊かな子どもの育成を支援します。

【施策：青少年健全育成の推進】

- ・地域や家庭、関係機関と連携を図り、地域力を活かした青少年の育成に取り組みます。
- ・子どもの居場所を確保し、子どもの社会性や協調性、自立性を育み活動機会の創出を図ります。

【指 標】

指標名	青少年育成市民会議諸事業への市民参加者数			
指標値	現状 (R 1)	4,069人	目標 (R 7)	4,200人

指標名	放課後子ども教室への参加者数			
指標値	現状 (R 1)	10,538人	目標 (R 7)	11,000人

5 生涯学習の充実

【現状と課題】

価値観の多様化の進展等により、自らが学習し、教養を深めることのできる多様な環境づくりが求められています。また、市民の学習ニーズに応え、より一層幅広い世代が参加できるよ

うに取り組む必要があります。

インターネットの進展にともない、読書習慣の減少や活字離れが進む中、読書活動の重要性が指摘されています。

旧町ごとに設置されている生涯学習施設等について、適正な維持管理を行っています。

【基本方針】

- ・市民の需要に応じた生涯学習講座が開催され、幅広い世代における市民の学習、教養及び技能習得の機会を効率的に提供します。
- ・施設及び付属施設等の維持管理並びに施設貸出業務を適切に行い、安全で快適な利用を図ります。

【施策：学びの機会の充実】

- ・体系的で効果的な学習機会の提供と拡充を行い、幅広い世代における生涯学習を通じた人づくりを推進します。
- ・小学校の児童を対象とした「屋根のない学校」を開催し、子どもたちが自然と触れ合うことにより、ふるさといなべの自然のすばらしさ、大切さを感じられるようにします。

【指 標】

指標名	生涯学習講座参加者数			
指標値	現状 (H29-R1 平均値)	603人	目標 (R7)	700人

指標名	「屋根のない学校」受講者数			
指標値	現状 (R1)	778人	目標 (R7)	850人

【施策：生涯学習施設の充実】

生涯学習施設予約管理システム等の情報ネットワークシステムを適切に運用し、利便性の向上により、生涯学習環境の充実を図ります。

【指 標】

指標名	年間施設利用件数			
指標値	現状 (R1)	5,279人	目標 (R7)	5,300人

【施策：図書館の利便性向上】

市内図書館の図書資料情報を一元管理して連携を強化するとともに、読書活動の推進と、図書館の利便性向上を図ります。

【指 標】

指標名	インターネットを利用した図書館書籍予約件数			
指標値	現状 (R1)	3,910人	目標 (R7)	4,300人

指標名	図書館の貸出利用登録者数			
指標値	現状 (R1)	18,729人	目標 (R7)	19,400人

6 文化芸術活動の充実

【現状と課題】

文化や芸術に触れる機会と、自ら活動を行うための情報交換の場や連携の機会が求められています。

市内の文化財や天然記念物等について、環境の変化による滅失や個体の減少が懸念されています。

【基本方針】

- ・市民と行政が連携し、文化の高揚とふるさと意識を醸成することにより、多彩で個性ある文化環境を創造します。
- ・市民、行政、専門家が互いに交流して、天然記念物をはじめとする文化財の適切な保存と活用を行い、文化財への理解と愛着を深めるとともに、次の世代につなげる永続的な保護活動を進めます。

【施策：文化財の保存活用支援】

市民と行政が連携し、文化意識の高揚とふるさと意識の醸成により、多彩で個性ある文化の創造を図ります。

【指 標】

指標名	いなべ市文化協会の会員数			
指標値	現状 (R1)	538人	目標 (R7)	1,100人

指標名	天然記念物ネコギギの飼育施設数			
指標値	現状 (R1)	7施設	目標 (R7)	8施設

7 総合的なスポーツの推進

【現状と課題】

市民の安全な利用のために、老朽化した施設の適正な維持管理業務が必要です。

本市では、参加者は子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツ団体やサークルで活動しており、それぞれのニーズにあったスポーツライフが求められています。

競技スポーツから心身のリフレッシュや仲間づくりまで、スポーツやレクリエーション活動の目的や内容が多様化する中で、市民の自主的なスポーツ活動を支援するとともに、誰もが気軽に継続的なスポーツ活動を行うことができる環境づくりが求められています。

地域における公共スポーツ施設や学校体育施設を拠点に、地域住民が主体的に運営や指導に携わり、多様な技術、技能レベル、多様な趣味、目的をもつ誰もがスポーツに気軽に親しむことができる環境の整備が必要です。

【基本方針】

- ・市民誰もがスポーツを楽しむことができるニュースポーツ、軽スポーツや体力づくりを行うための機会や情報交換、連携、協力できる体制を確立します。
- ・アマチュアスポーツ活動を支えるNPOの強化及び自主財源を確保し、市民のスポーツ活動及び競技力向上を支援する体制を確立します。
- ・誰もが利用しやすいスポーツに適した施設の適正な維持、管理に努めます。

【施策：生涯スポーツの充実】

様々な世代が多様なスポーツ活動に参加できるよう、スポーツ、レクリエーション活動の普及・啓発を行います。

【指 標】

指標名	スポーツイベント参加者数			
指標値	現状 (R1)	1,052人	目標 (R7)	1,200人

指標名	ニュースポーツ、軽スポーツ講習会年間参加者数			
指標値	現状 (R1)	1,189人	目標 (R7)	1,450人

【施策：スポーツ施設運営の充実】

- ・多様なスポーツ活動の需要に応えることができるよう、環境の整備を行います。
- ・市民が安全にスポーツを楽しめるよう、スポーツ施設を適正に維持管理します。

【指 標】

指標名	スポーツ施設年間利用者数			
指標値	現状 (R1)	227,402人	目標 (R7)	234,000人

指標名	スポーツ施設年間利用団体登録数			
指標値	現状 (R1)	607人	目標 (R7)	600人

【施策：スポーツ団体の育成支援】

指導者の養成とコーディネーターの発掘、養成を行い、スポーツ団体の育成を支援します。

【指 標】

指標名	全国大会出場選手数（累計）			
指標値	現状 (R1)	98人	目標 (R7)	100人

指標名	スポーツ少年団団員登録者数			
指標値	現状 (R1)	666人	目標 (R7)	700人

8 自然環境の保全・充実

【現状と課題】

藤原文化センター内で、藤原岳を中心とした鈴鹿山系の動植物を展示しています。また、一般市民を対象とする自然教室を開催し、鈴鹿山系を中心に四季折々のいなべの自然を紹介するとともに、毎年、子どもたちの自然科学作品展を実施しています。

ふるさとの森や大井田西部公園などにおいて、多様な植物の植栽や市内に生息する魚類が見られる水槽の設置などを行っています。

自然環境の保全・充実のため、各種取り組みを持続的に行っていくことが必要です。

【基本方針】

- ・市民がふるさとの自然環境を観察できるような環境に整備します。

- ・自然保護や動植物に関する情報を発信し、豊かな自然環境の保全、充実に向けた意識を高めます。
- ・大井田西部地区水環境整備事業（県事業）の施設に適応した植生を整備します。

【施策：自然環境の保全】

ふるさとの森公園の整備や大井田西部公園の適切な管理を行います。また、希少動植物の保全に取り組みます。

【指 標】

指標名	市ホームページ「いなべ市の自然」アクセス数			
指標値	現状 (R1)	11,644人	目標 (R7)	12,500人

【施策：自然学習施設の充実】

市民を対象に「藤原岳自然科学館自然教室」を開催し、鈴鹿山系を中心とするいなべの自然を広く紹介するとともに、自然に触れ合う機会を設け、ふるさとへの誇りを喚起します。

【指 標】

指標名	「藤原岳自然科学館自然教室」参加者数			
指標値	現状 (R1)	444人	目標 (R7)	500人

指標名	藤原岳自然科学館の来館者数			
指標値	現状 (R1)	9,956人	目標 (R7)	12,000人

いなべ市人権教育基本方針

はじめに ～ いなべ市人権教育基本方針改訂に当たって ～

人は誰もがみな、自由かつ平等であり、決して奪われることのない様々な権利を有しています。これらの権利は、人類の多年にわたる努力の成果として確立されました。日本国憲法においても、基本的人権は現在及び将来において不当に侵害されることのない権利として宣言され、その保持は国民の不断の努力によらなければならないとされています。

全ての人々の人権が尊重され、平和で希望と活気にあふれ、個人の能力を生涯にわたって十分に発揮できる社会を構築するには、一人ひとりがかけがえのない存在として大切にされるとともに、お互いの違いを認め合う多様性（ダイバーシティ）が推進されなければなりません。

しかしながら、私たちを取り巻く環境は、これまでの同和問題、障がい者、外国人、子ども、女性の人権に関わる問題に加え、近年はインターネット環境を媒体とする人権侵害、高齢者、患者、犯罪被害者、性的マイノリティ、虐待、DV、貧困又は災害を起因とする人権問題、特定の国籍の外国人に対するヘイトスピーチ、職場における各種ハラスメント等人権を取り巻く課題はますます多様化かつ複雑化しています。

国はこのような状況を踏まえ、平成25年に「いじめ防止対策推進法」並びに平成28年に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」及び「部落差別の解消の推進に関する法律」を施行し、人権が尊重される社会環境整備に取り組んでいます。

いなべ市（以下「本市」という。）でも、このような社会情勢を踏まえて、学校、家庭、地域及び行政が一体となり、人権、福祉及び教育が大切にされる町づくりを目指して取組を進めています。今後も、多様化かつ複雑化する人権問題の解決と差別意識の解消により生まれる、全ての人の人権が共存する人権尊重の持続可能な社会の実現を目指して、より一層、学校、家庭、地域及び行政が連携し、学校教育と社会教育を通じて人権尊重の精神を育む教育及び啓発を積極的に推進していくことが重要です。

本市教育委員会においては、平成19年に「いなべ市人権教育基本方針（以下「本方針」という。）」を策定し、平成25年には改訂を行い、人権施策を推進してきましたが、社会や子どもたち等の現状を踏まえ、これまでの取組を継承し発展させるとともに、新たな課題に対応するために、さらに改訂を行います。

なお、本方針については、人権問題をめぐる情勢の変化に対応し、必要に応じて適宜、見直していきます。

平成31年4月1日

1 学校教育における人権教育

小中学校においては、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる極めて重要な時期であることを踏まえ、各教科を始め特別活動や道徳、総合的な学習の時間等全ての学校生活を通じて、お互いをかけがえのない人間として尊重する心や個性を認め合う心を育て、あらゆる人権侵害を許さない実践力の育成を図る必要があります。

(1) 目標

全ての子どもたちが、自らの未来を切り拓き、人権文化を創造する主体者として、より良く生きるための力を育む

(2) 基本方針

ア 自尊感情を育み、個性が輝く人権教育の推進

全ての子どもたちの学力及び進路を保障していくために、自らの存在をかけがえのないものとして肯定的に受け止め、個性を發揮しながら将来の夢や希望に向かって前向きに生きることができるよう、自己実現を目指す人権教育を推進します。

イ 多様性を認め合い、豊かにつながる人権教育の推進

様々な人との出会いや交流を通してお互いの違いや良さに気付き、共に生き共に学ぶ喜びを得られる人間関係が育まれるよう、人権教育における仲間づくりを推進します。

ウ 計画的かつ組織的な取組を進め、実践力を育む人権教育の推進

人権に対する正しい理解と認識を深めるとともに一人ひとりの人権感覚を高め、様々な人権問題を解決しようとする実践力を身に付けることができるよう、就学前から義務教育終了までの一貫性のある人権教育カリキュラムを教育計画に適切に位置付け、児童生徒の発達段階に即し各教科等の特質に応じながら、学校の教育活動全体を通じた人権教育を推進します。

エ 学校、家庭、地域及び行政とのつながりを強め、協働による人権教育の推進

人権教育の一層の充実を図るためには、多様な主体が緊密に連携し、それぞれの教育機能を十分に生かしながら、地域ぐるみの人権教育推進体制の確立を推進します。

また、学校、家庭及び地域をつなぐ役割として、各校に設置する学校運営協議会（コミュニティースクール）を中心に、地域住民等の学校運営への参画を推進します。

2 社会教育における人権教育

これまでの施策により、人権問題に対する市民の理解と認識は深まっているものの、人権及びお互いの違いを認め合い、多様性が尊重され、差別や偏見のない社会を構築するためには、市民一人ひとりの積極的な取組が家庭や地域社会において促進されるよう、人権教育を継続していく必要があります。

(1) 目標

人権を現代的な生涯学習テーマの一つと捉え、人権に関する多様な学習機会の提供を通して、人権が市民一人ひとりの身近な問題であるとの認識を広め、お互いを尊重し、より良く生き合うことのできる地域社会の構築を目指します。

(2) 基本方針

ア 多様な学習機会の提供

様々な人権問題や身近な生活課題を取り上げた講演会や講座、映画会等、継続的な学習機会を提供し、市民の学習や取組の広がりや深まりを支援できるよう、事業を進めます。

イ 学習情報の提供

市民の自主的かつ主体的な学習に対して適切な支援ができるように、積極的に学習情報の提供を図り、地域や家庭における人権意識を高めます。

ウ 市民及び地域交流活動の推進

一人ひとりの人権を保障し、お互いの違いを認め合い、尊重し合える豊かな人間関係が築けるように、様々な世代が交流できるような市民及び地域交流活動の推進及び支援

を図ります。

- エ 社会教育関係団体の活動支援並びに指導者の育成及び活用
社会教育関係団体に対する講演会、研修会等を通して、自主的かつ主体的な人権学習活動の支援を図るとともに、地域において主体的に人権教育を推進する指導者を育成し、人権に関し幅広い識見のある人材を学習活動等に活用します。

3 指導上の留意点

- (1) 学校や地域の実情に応じ、人権に関する現状を正しく把握して取り組むとともに、教育の中立性の確保に努めます。
- (2) 生涯学習の観点に立って、就学前教育、学校教育、社会教育及び家庭教育の主体性を尊重しながら、相互の連携を図り、総合的かつ効果的な推進に努めます。
- (3) この基本方針の実施に当たっては、「日本国憲法」及び「教育基本法」の精神にのっとり、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」、「三重県人権教育基本方針」、「人権が尊重される三重をつくる条例」、「三重県いじめ防止条例」、「三重県いじめ防止基本方針」、2015年に国連で採択された、誰一人取り残さない世界を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」等を踏まえ、人権教育を全市的な取組体制の中で推進します。

いなべ市学校教育基本方針策定にあたって

エージェンシー ウェルビーイング

子どもがAgencyを発揮し Well-being溢れる学校に

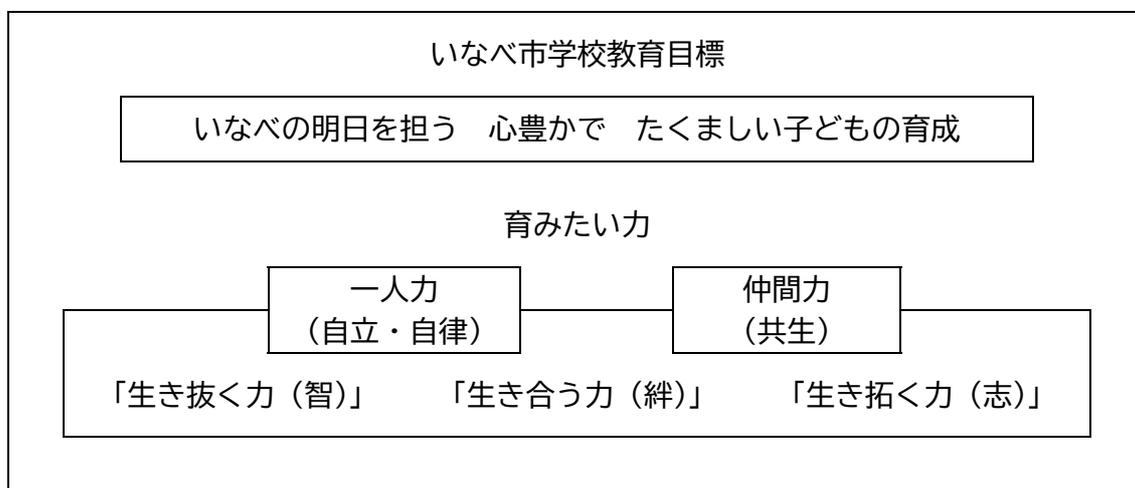
～ 自ら幸せをつかもうとする子に ～

「自分の夢や目標を持ち、多様な人とつながりながら、心豊かに、たくましく生きていてほしい。」

目の前のすべての子どもたちの幸せを願う気持ちは、教育に携わる私たち、保護者、地域住民の共通の思いです。

これから子どもたちは、予測困難な時代を生きていくこととなります。様々な変化を前向きに受け止めながら他者と協働して課題を解決していく力、自他の幸福な人生と平和で持続可能な共生社会の創り手としての当事者意識、そして Well-being の向上を図ることは、今の教育に求められている重要な使命とも言えます。故に私たちは、子どもたちの命と健康、幸せな未来に責任を持ち、日々の教育実践に邁進していかなければなりません。

いなべ市では、これまで積み上げてきた「員弁の教育」を土台にしながら、「子どもが Agency を発揮し Well-being 溢れる学校づくり」を「いなべの教育」として推進していきます。子どもが学校生活の主体者となり、幸せを実感できる教育活動を展開することによって、「智」・「絆」・「志」を育むべく、「一人力(自立・自律)」と「仲間力(共生)」をさらに高めていきます。



◆ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を

子どものよさや可能性を最大限に引き出せるよう、一人一人の成長やつまずき、興味や関心を的確に把握し、個に応じた学びを支援していきます。また、多様な感性や考え方に触れて自分の考えを広げ深めることができるよう、対話的な学びを重視します。誰一人取り残さない個別最適な学びと、人や社会とつながる協働的な学びを一体的に充実させることで、子どもたちの Well-being を高め、多様な個人の幸せと社会全体の幸せをめざす意欲と姿勢を育んでいきます。

◆ 子どもたちの意思表示や自己実現を大切にした活動の充実を

子どもは、自ら育ち、より良く生きようとする意志ある存在です。その潜在能力を引き出し、自ら動き出す姿を支え励まし、最後までやり遂げられるように支援・伴走するのが私たちです。また、子どもたち自身が考え学び、主体性や創造力、人とつながる力をつけていくことが本来の学びであると考えます。子どもたち自身が Agency を発揮し、自分たちの学校をより良い学び舎にしていく主体者となるよう、不必要な段差は取り除き、あえて必要な段差を残すことで、子どもたちに挑戦と失敗をくり返す体験を保障し、子ども主体の授業や学校行事、自治的な学級活動や児童生徒会活動のさらなる充実を図ります。

◆ 学校・保育所・家庭・地域の協力・連携から共鳴・共創へ

愛着ある居場所があり、愛されている実感や心理的安全性が保たれていれば、子どもは安心して挑戦と失敗を積み重ねていくことができます。学校・保育所・家庭・地域が、子どもたちの夢と健やかな成長を応援するためにつながり、愛され育つ環境を醸成していきます。さらに、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を充実させ、子どもたちの豊かな学びを創造していきます。

いなべ市では、保育所と小学校が連携し、円滑な保小の接続に取り組んでいます。また、中学校区内の学校が一体となり、創意と特色ある小中一貫教育の取組を展開しています。これまで築いてきた基盤の上に、目の前の子どもの姿から出発する実践をさらに積み上げていくことで、「学びと育ちのつながり」を深化させていきます。

令和6年4月1日

いなべ市教育委員会事務局
学校教育課

● Agency

自ら考え、主体的に行動し、責任を持って社会変革を実現していく姿勢・意欲。
(文部科学省)

● Well-being

目標に向かって努力する喜びや生きがい、社会的つながりや人生における価値を感じるような良い状態。

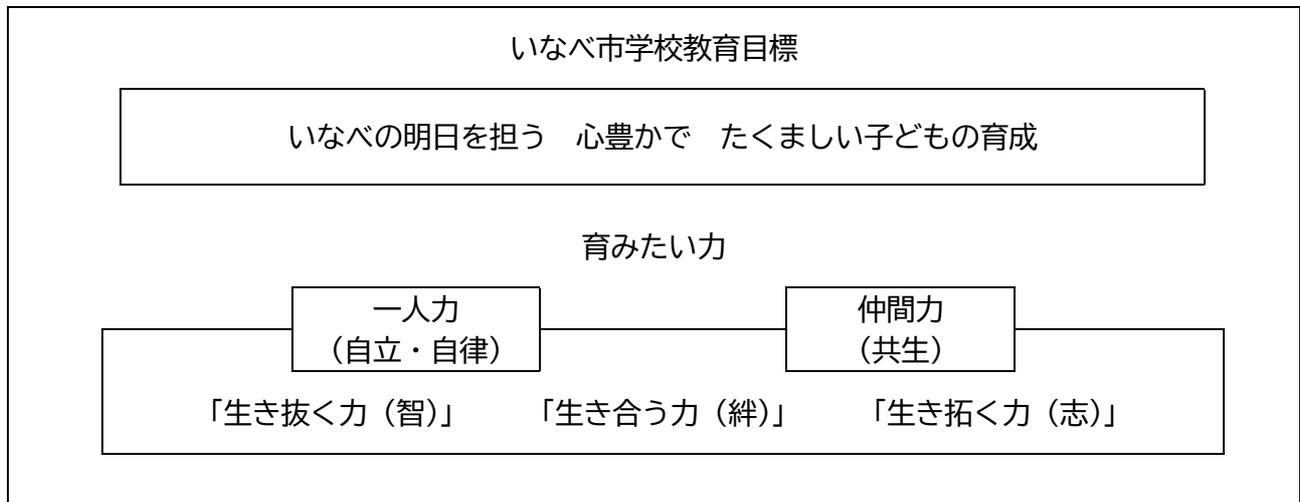
● 員弁の教育

目の前の子どもの姿から出発し、一人ひとりを大切にした授業づくり、集団づくりに取り組み、家庭や地域との連携を大切に、地域に根ざした特色ある教育活動。

● いなべの教育

未知の状況にも対応しながら生きていくための「生き抜く力(智)」、多様な人々と共に生きていくための「生き合う力(絆)」、これからの社会の創り手として未来をたくましく生きるための「生き拓く力(志)」を育み、一人力と仲間力を高めることを重点とする小中一貫教育を手法にした教育活動。

いなべ市学校教育基本方針



1 愛されている実感と心理的安心感を基盤とした「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」の育成

(1) 生き抜く力“智”を育む教育の創造

【目標】● 生きて働く“知識・技能”の習得

● 未知の状況にも対応できる“思考力・判断力・表現力”の育成

● “非認知能力”の育成

【主な取組】◇ 学習者主体の授業づくり(「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善)

◇ ICTの効果的な活用

◇ 健康教育の充実

(2) 生き合う力“絆”を育む教育の創造

【目標】● 多様性と包摂性、人・社会とつながる心の育成

● 主体的・協働的に、課題解決に向かう力の育成

● よりよい人間関係を築く力の育成

【主な取組】◇ 学びの基盤となる集団づくり

◇ 道徳教育の充実

◇ 人権教育の充実

(3) 生き拓く力“志”を育む教育の創造

【目標】● 自己の生き方について考えを深め、目標に向かって挑戦する態度の涵養

● 自分よさや可能性に気づき、前向きに将来を設計する力の育成

● 自らの意志と責任で、より良い選択・決定をする力の育成

【主な取組】◇ キャリア(生き方)教育の充実

◇ シビックプライドを培う教育の充実

◇ 持続可能な開発のための教育の充実

2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくり

(1) 豊かな学びを育む教育環境整備

- ◎ 夢・未来プロジェクト2030事業（JAL、いなベンチャー）
- ◎ 小中一貫教育推進事業
- ◎ 小学校水泳授業指導事業（いなべ市温水プール水泳授業）
- ◎ 学力フォローアップ事業
- ◎ 体力向上プログラム事業（コーディネーショントレーニング）
- ◎ 不登校児童・生徒対策事業
- ◎ 学校ICT活用事業
- ◎ 外国人英語指導事業
- ◎ 学校図書館事業
- ◎ 人権教育推進事業
- ◎ 生徒指導事業（SC、SSW、生徒指導特別指導員の派遣）
- ◎ 児童・生徒特別支援推進事業

(2) 地域とともにある学校づくり

- ◎ 未来いなべ科事業
- ◎ 地域学校協働事業
- ◎ 集落支援員事業（放課後学習支援「いなべ学び舎」）
- ◎ スクールバス運行事業

3 教職員の資質向上（教職員の研修及び研究の充実）

- ◎ いなべ市教育総合研究所事業
 - ・ 乳幼児期から学齢期をつなぐ連続・一貫した教育の推進
 - ・ 保育士及び教職員の資質及び指導力向上を図る研修の実施
 - ・ 今日的な教育課題の調査・研究及び支援
 - ・ 教育図書及び視聴覚資料の提供
- ◎ 教育内容充実事業
- ◎ 研究指定校事業（いなべ市教育研究指定校による研究の推進）

令和5年度に実施した主な事業

令和5年度に実施した主な事業

1 教育総務課

(1) 教育委員会の運営

ア 教育委員会審議事項

令和5年第4回定例会

開催日 令和5年4月11日（火）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・教育委員会事務局人事異動について
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・その他（学校運営協議会委員の任命について）
（請願について）
（「第25回日本水大賞」環境大臣賞受賞の報告）
 - ・教育施設の視察（いなべ市郷土資料館）

令和5年第5回定例会

開催日 令和5年5月15日（月）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・財産の取得について（スクールバス購入）
 - ・いなべ市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
 - ・いなべ市就学援助費支給条例施行規則の一部改正について
 - ・いなべ市温水プール条例の制定について
 - ・令和5年度いなべ市一般会計補正予算案の提出について
 - ・専決処分の報告（損害賠償の額の決定及び和解について）
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・その他（給食費無償化について）
（ツアー・オブ・ジャパンいなべステージについて）

令和5年第6回定例会

開催日 令和5年6月12日（月）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・その他（市議会6月定例会一般質問について）
（評価、評定に係る対応について）
 - ・教育施設の視察（ネコギギ飼育施設）

令和5年第7回定例会

開催日 令和5年7月14日（金）

- 内 容
- ・教育長報告

- ・専決処分の報告（教育委員会所管体育施設使用料の減免に関する内規の一部改正について）
- ・北勢第一地区令和6年度使用教科用図書採択について
- ・事業報告及び事業計画
- ・その他（児童生徒の水分補給について）
（令和5年度総合教育会議について）

令和5年第8回定例会

開催日 令和5年8月17日（木）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・いなべ市温水プールの指定管理者の指定について
 - ・令和4年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定について
 - ・令和5年度いなべ市一般会計補正予算案の提出について
 - ・教育委員会の点検及び評価報告書について
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・その他（夏休みの課題について）
（令和5年度いなべ市内小中学校体育祭、運動会について）
（令和5年度三重県市町教育委員会教育委員等研修会について）

令和5年第9回定例会

開催日 令和5年9月14日（木）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・専決処分の報告（いなべ市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱の一部改正について）
 - ・専決処分の報告（いなべ市地域クラブ活動の基本方針の制定について）
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・その他（いなべ市いじめ問題対策審議会経過報告）
（市議会9月定例会一般質問報告）
（「令和5年度三重の教育談義」について）

令和5年第10回定例会

開催日 令和5年10月11日（水）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・専決処分の報告（令和6年度いなべ市地域クラブ活動モデル事業実施要綱の制定について）
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・その他（「令和5年度三重の教育談義」について）
（藤原小学校、藤原中学校、藤原学校給食センター電気設備故障の報告）
（いなべ市いじめ問題対策審議会経過報告）

令和5年第11回定例会

開催日 令和5年11月14日（火）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・令和5年度いなべ市一般会計補正予算案の提出について
 - ・専決処分の報告（いなべ市スポーツ競技全国大会出場賞賜金交付要綱の一部改正について）
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・その他（いなべ市いじめ問題対策審議会経過報告）
（「(仮称) いなべ市保育・教育総合センター」について）

令和5年第12回定例会

開催日 令和5年12月13日（水）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・その他（令和5年度員弁郡・いなべ市教育支援委員会報告について）
（市議会12月定例会一般質問について）
（いなべ市温水プールについて）

令和6年第1回定例会

開催日 令和6年1月10日（水）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・いなべ市温水プール条例施行規則の制定について
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・その他（令和5年度卒業式、令和6年度入学式の日程について）
 - ・教育施設の視察（いなべ市温水プール）

令和6年第2回定例会

開催日 令和6年2月13日（火）

- 内 容
- ・教育長報告
 - ・いなべ市教育研究所の設置に関する条例の一部改正について
 - ・いなべ市教育研究所の管理運営に関する規則の一部改正について
 - ・いなべ市史編さん委員会条例の制定について
 - ・いなべ市温水プール条例施行規則の一部改正について
 - ・令和5年度いなべ市一般会計補正予算案の提出について
 - ・令和6年度いなべ市一般会計予算案の提出について
 - ・事業報告及び事業計画
 - ・その他（令和5年度卒業式、令和6年度入学式の列席について）

令和6年第1回臨時会

開催日 令和6年2月22日（木）

- 内 容
- ・教職員人事異動の内申について

令和6年第3回定例会

開催日 令和6年3月13日（水）

内 容 ・教育長報告

- ・いなべ市立学校の管理に関する規則の一部改正について
- ・いなべ市学校教育基本方針の策定について
- ・専決処分の報告（いなべ市立小中学校事務処理等規程及び小中学校事務の共同実施協議会設置要綱の一部改正について）
- ・専決処分の報告（いなべ市教育研究所運営委員会要綱の一部改正について）
- ・専決処分の報告（いなべ市図書館インターネット閲覧等端末利用要綱の制定について）
- ・事業報告及び事業計画
- ・研修（教育研究所研修員発表）

イ 教育委員会の点検評価

(ア) 令和4年度の教育委員会事務事業について、3人の学識経験者による点検評価を7月に実施しました。

(イ) 令和4年度の教育委員会の点検評価報告書をいなべ市議会9月定例会に報告、その後、ホームページで公表しました。

(2) 教育環境

小中学校施設整備事業

令和5年度実施事業は以下のとおりです。

三里小学校駐車場整備建設工事	(請負者) 奥岡建設工業株式会社
三里小学校体育館屋上防水改修工事	(請負者) 奥岡建設工業株式会社
治田小学校運動場雨水管埋設工事	(請負者) 足田建設株式会社
十社小学校揚水ポンプ取替工事	(請負者) 三愛物産株式会社三重支店
十社小学校電話設備更新工事	(請負者) 千代田電子システム株式会社
十社小学校給食調理室床面修繕塗装工事	(請負者) 有限会社小寺塗装店
山郷小学校理科室実験台天板改修工事	(請負者) 有限会社十社工業所
山郷小学校自動火災報知設備改修工事	(請負者) セイワシステムサービス株式会社
阿下喜小学校校長室空調機器取替工事	(請負者) 有限会社十社電気商会
丹生川小学校東階段天井塗膜剥離工事	(請負者) 有限会社小寺塗装店
石樽小学校強化ペアガラス入替工事	(請負者) 有限会社森義
藤原中学校停電緊急対応修繕工事	(請負者) 有限会社十社電気商会
大安学校給食センターガスメーター交換工事	(請負者) 朝日ガスエナジー株式会社 桑員営業所

(3) 学校保健

独立行政法人日本スポーツ振興センター適用の事故災害発生件数・医療費給付額
令和5年度

月	小 学 校		中 学 校		合 計	
	件数	給付額 (円)	件数	給付額 (円)	件数	給付額 (円)
4	40	178,403	19	100,396	59	278,799
5	10	58,560	24	129,429	34	187,989
6	37	175,815	43	227,432	80	403,247
7	28	161,845	35	238,843	63	400,688
8	37	140,714	6	105,716	43	246,430
9	6	32,844	57	411,296	63	444,140
10	26	99,204	45	360,377	71	459,581
11	18	209,977	35	197,454	53	407,431
12	36	196,952	39	197,426	75	394,378
1	22	120,312	25	113,693	47	234,005
2	17	63,052	18	256,499	35	319,551
3	30	133,640	13	197,851	43	331,491
計	307	1,571,318	359	2,536,412	666	4,107,730

(4) 学校給食実施状況

北勢地区：4小学校が自校で調理、1中学校に藤原学校給食センターから調理配送

員弁地区：2小学校、1中学校に大安学校給食センターから調理配送

大安地区：4小学校、1中学校に大安学校給食センターから調理配送

藤原地区：1小学校、1中学校に藤原学校給食センターから調理配送

ア 学校給食センター

名 称	配 食 校
大安学校給食センター	笠間小学校、三里小学校、石榑小学校、丹生川小学校、大安中学校 員弁西小学校、員弁東小学校、員弁中学校
藤原学校給食センター	藤原小学校、藤原中学校 北勢中学校

イ 北勢学校給食（自校式）令和5年度実施日数

	1学期			2学期			3学期			合 計			人数 (年度末)	給食費 (1食)
	米飯	パン	計											
阿下喜小学校	55	14	69	57	16	73	38	10	48	150	40	190	153	260
治田小学校	55	14	69	58	16	74	38	10	48	151	40	191	123	260
十社小学校	53	14	67	59	16	75	37	10	47	149	40	189	119	260
山郷小学校	53	14	67	59	16	75	38	10	48	150	40	190	242	260

ウ 大安学校給食センター（調理業務は業者委託）令和5年度実施日数

	1学期			2学期			3学期			合 計			人数 (年度末)	給食費 (1食)
	米飯	パン	計											
笠間小学校	54	13	67	58	16	74	38	10	48	150	39	189	188	260
三里小学校	55	14	69	58	16	74	38	10	48	151	40	191	288	260
石樽小学校	55	14	69	58	16	74	38	10	48	151	40	191	278	260
丹生川小学校	55	14	69	58	16	74	38	10	48	151	40	191	112	260
員弁西小学校	55	14	69	59	16	75	38	10	48	152	40	192	348	260
員弁東小学校	55	14	69	59	16	75	38	10	48	152	40	192	246	260
大安中学校	53	13	66	56	16	72	37	10	47	146	39	185	454	280
員弁中学校	53	13	66	55	16	71	38	10	48	146	39	185	293	280

エ 藤原学校給食センター（調理業務は業者委託）令和5年度実施日数

	1学期			2学期			3学期			合 計			人数 (年度末)	給食費 (月額)
	米飯	パン	計											
藤原小学校	53	14	67	57	15	72	37	10	47	147	39	186	233	260
藤原中学校	53	12	65	52	15	67	37	10	47	142	37	179	128	280
北勢中学校	52	14	66	55	15	70	36	10	46	143	39	182	309	280

2 学校教育課

(1) 不登校児童・生徒対策事業

ア 全体事業概要

平成26年度以降、各校から報告される不登校の児童及び生徒数は横ばい状態であり、継続的な支援と対策を講じてきました。しかし、令和5年度の不登校出現率（1,000人当たりの不登校児童生徒数）は小学校12.7人、中学校38.7人であり、小学校は横ばい、中学校は増加している状況です。

このような状況を踏まえて、教育委員会では、いなべ東員教育支援センター（ふれあい教室）の指導員、ふれあいサポーター、スクールソーシャルワーカー、指導主事等で、本市の不登校の児童及び生徒の未然防止、早期発見、早期対応及び社会的自立の具体的な支援について協議を重ね、下記の取組を行いました。

イ 具体的な取組

(ア) 不登校の未然防止、早期発見及び早期対応

- ・ 毎月の理由別長期欠席者調査及び聴き取りによる実態把握と情報の共有
- ・ 学校関係者、スクールカウンセラー、ふれあいサポーター、スクールソーシャルワーカー、指導主事等によるアセスメントに基づいた支援
- ・ 各関係機関と連携したケース会議の開催
- ・ Q-U調査等を活用した児童及び生徒の分析と情報提供
- ・ 「欠席連絡受付票」「欠席シート」「小中連携シート」の提供
- ・ 「不登校の未然防止・早期対応システム」の構築
- ・ 市内小中学校のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士等による交流学習会の開催
- ・ 不登校児童生徒の「指導要録上の出欠の取り扱い」及び「学習評価」に係るガイドラインの改訂

(イ) 不登校が長期化している児童及び生徒の社会的自立に向けた支援

- ・ 中学校における校内教育支援センターの設置と運営
- ・ 毎月の理由別長期欠席者調査及び聴き取りによる実態把握と情報の共有
- ・ 学校関係者、スクールカウンセラー、ふれあいサポーター、スクールソーシャルワーカー、指導主事等によるアセスメントに基づいた支援
- ・ 各関係機関と連携した継続的なケース会議の開催
- ・ いなべ東員教育支援センターの機能強化と広報活動
- ・ 各関係機関と連携した教育相談体制の構築
- ・ 小中高への途切れのない情報の共有

(2) ことばの教室事業（通級指導教室事業）

ア 全体事業概要

言語発音障がい、LD等発達障がいによる支援が必要な児童及び生徒のための通級指導教室を4校に設置しています。通級指導教室において、児童及び生徒の特性を分析し、早期の専門的指導を行うことで、児童及び生徒が意欲的に学校生活を送り、学習に取り組めるよう

に支援と指導を進めています。必要に応じて、保護者相談にも応じます。

イ 「通級指導教室の種類」と「通級による指導の対象」

(ア) ことばの教室（石榑小学校）・・・言語発音障がい

通常学級に在籍し、機能的な構音障がい、吃音等話し言葉におけるリズムの障がい、話す、聞く等言語機能の基礎的事項に発達の遅れがあり、そのほかこれに準ずるもので、通常学級での学習におおむね参加ができ、一部特別な指導を必要とする児童。

(言語相談等を経て、就学後も支援の継続が必要な園児は、通級指導教室担当者会にて、通級担当教員に入級見込みの引継ぎを行っています。)

(イ) スマイル教室（山郷小学校）、おひさま教室（石榑小学校）、

レインボー教室（北勢中学校）・・・LD等発達障がい

通常学級に在籍する知的な遅れを伴わない発達障がい等（自閉症スペクトラム、注意欠如多動性障がい、学習障がい等）、または情緒障がいで、通常学級での学習におおむね参加ができ、一部特別な指導を必要とする児童。

ウ 主な指導内容

教室	主な指導内容
ことばの教室	構音指導、言語指導、吃音指導等
おひさま教室	特殊音節の読み書きの練習、ソーシャルスキルトレーニング、感覚統合運動、ビジョントレーニング、読み書きを中心とする学習、学習補充、ワーキングメモリーのトレーニング、視覚認知機能向上のためのトレーニング等
スマイル教室	
レインボー教室	

エ 他校からの通級について

通級指導教室を設置している学校では、学校教育法施行規則第141条に基づき、他校に在籍する児童及び生徒の指導が可能となっています。他校通級においては、原則保護者の送迎によるものとしています。

(3) 人権教育推進事業

本市では、「三重県人権教育基本方針」と「いなべ市人権教育基本方針」に基づき、児童及び生徒の発達段階に応じた人権教育を総合的に推進しています。

人権教育は、人権の意義、内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにするための取組です。

教育委員会では、各校の人権教育カリキュラムを基にした授業実践の推進、人権教育の視点に立った集団づくり、教職員の意識や指導力の向上、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりの取組等の支援を行っています。また、いなべ市教育研究会人権教育部会では、いなべ市人権教育基本方針、子どもの権利条約、人権が尊重される学級づくり等の研修を行いました。性の多様性に対応するための人権教育については、講師を招いた出前授業や教職員研修を行い、理解と認知を深めました。

ア いなべ市中学校区人権教育研修会

都留文科大学特任教授の品田笑子さんによる「Q-Uを活用した学級づくり」、教育委員会指導主事による「いなべ市の人権教育基本方針」「人権教育カリキュラム」についての研修会を、各中学校区において行いました。

イ 員弁地区人権フォーラム 2023

小学校の部は、いなべ市と員弁郡の各小学校6年生代表児童が各中学校区の1つの小学校に集まり、「みんなが楽しく過ごすために」をテーマに話し合いをしました。

中学校の部は、いなべ市と員弁郡の中学校の1年生から3年生の代表生徒が集まり、「一人ひとりが大切にされる学校をめざして」をテーマに話し合いました。

人権フォーラム参加者が学んだことや感じたことを各校に還流し、全校児童及び生徒で身近な人権問題について話し合い、一人ひとりの人権意識を高め、解決する意欲と実践力を養いました。

(4) 学力フォローアップ事業

ア 学力調査（NRT）

市内小学校2年生から中学校3年生の児童及び生徒を対象に学力調査を実施し、学力の充実（学力保障及び学力向上）に向けた取組を進めました。調査結果をもとに学力の状況を把握及び分析し、指導内容や指導方法についての改善に取り組みました。

校種	実施学年	児童及び生徒数	教科	実施時期	主な取組
小学校	2～6年	約1,800人	国語 算数	4月	学力の状況の把握及び分析 指導内容や指導方法の改善 個に応じた支援と指導の充実
中学校	全学年	約1,200人	国語 数学 英語	4月	

イ 学級満足度調査（Q-U調査）

市内全ての児童及び生徒を対象にQ-U調査を実施しました。Q-U調査によって学級集団の状況を把握及び分析し、いじめや不登校など問題行動等の未然防止に役立てるとともに、安心して学べる学級集団をつくることによって学力の充実を目指しました。

校種	実施学年	児童及び生徒数 (延べ人数)	実施時期	主な取組
小学校	全学年	約4,000人	(1回目) 5月	児童及び生徒の個別支援や学級集団づくりへの活用 研修会の実施
中学校	全学年	約2,300人	(2回目) 11月	

ウ 学力向上特別指導員巡回訪問指導

2人の学力向上特別指導員が市内各校を巡回訪問し、研修や指導機会の少ない非常勤講師をはじめ、常勤講師、若手教員、実践に悩みを持つ教員等の授業参観及び指導を行い、指導

力向上支援を行いました。また、管理職の相談も随時受けました。

期間	訪問校数（延べ数）	指導支援教員数（延べ数）
1学期	52校	101人
2学期	64校	126人
3学期	40校	69人
計	156校	296人

エ いなべ学び舎事業

この事業は、外国につながる家庭、共働きやひとり親家庭等の理由により、学習支援を必要とする家庭（子ども）に対して、学びのアドバイザーが学習支援や進路相談等を行い子どもたちの学習意欲を高めることを目的としています。この取組を通して、子どもたちの学力を向上させることにより、将来的な進路選択の幅を広げ、自立した生活を送れるようにすることを目指して、平成27年8月から実施しています。

学び舎事業では、宿題等の支援を中心に、放課後や夏休みを利用して退職教職員を中心とした学びのアドバイザーによる指導を行いました。また、学び舎事業の日程・アドバイザー派遣調整等の諸事務を行うコーディネーターを3人配置しました。

【通常時における開催】

学校名	開催曜日	開催回数	延べ参加人数
阿下喜小	火・金	61回	4,628人
三里小	木・金	53回	3,202人
笠間小	木・金	52回	2,207人
山郷小	木	29回	1,593人
員弁東小	火	25回	1,449人
北勢中	月・水	22回	211人
大安中	月・水	20回	243人

※学びのアドバイザー 60人

(5) 学校ICT活用事業

ア 全体事業概要（電子黒板、タブレットパソコン設置の目的、経緯）

ICT機器の活用により、児童の興味関心を向上させ、知識や理解を向上させる授業を実施することを目的としています。その目的の実現のため、電子黒板やタブレット端末などのICT機器とICT機器活用支援員の配置の両面で教育環境整備を進めています。

平成28年度からICT機器活用パイロット校として十社小学校で効果を検証し、平成30年度より市内全小学校へ展開をしました。また、令和元年度には、中学校特別支援学級にタブレット端末を整備しました。令和2年度国のGIGAスクール構想の実現に向け、中学校及び小学校1～4年生においてタブレット端末の整備を行いました。これにより、小中学生の一人1台環境が整いました。現在、市内小中学校では、ICT機器を用いた授業改善、基礎学力の向上に取り組んでいます。さらに、家庭学習の充実のため、タブレット端末活用の試

行を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザに伴う非常時（学年閉鎖時等）の学び、不登校や入院等で学校に登校できない児童生徒の学びの保障として、ICT機器を活用したオンライン学習を行いました。

イ ICT教育推進のための取組

(ア) ICT教育定例会（12回開催）

<参加者>

教育委員会事務局2人（学校教育課・教育研究所）、法務情報課2人、ICT導入業者4人、ICT機器活用支援員派遣会社2人

<主な内容>

ICT支援員サポート報告、ICT活用事例報告、ICT機器ヘルプデスク報告、今後の取組内容

(イ) 情報教育担当者会議

<参加者>

各校情報教育担当者

<開催日及び内容>

第1回 令和5年5月23日 令和5年度ICT活用について

第2回 令和5年11月14日 ICTの「日常化」「文房具化」

第3回 令和6年2月13日 日常的なタブレット活用についての意見交流

(6) 小中一貫推進事業

ア 「いなべ市小中一貫教育実施要領」に基づく取組

平成30年4月1日付けで、「いなべ市小中一貫教育実施要領」を施行しました。

(ア) いなべ市小中一貫教育推進委員会（INB9）

関係機関との連携と調整を図りながら、いなべ市の小中一貫教育を一体的にマネジメントし、検討を進めました。

(イ) 中学校区小中一貫教育推進WG会議

中学校区小中一貫教育グランドデザインをもとに、9年間の学びのつながりを意識した取組を進めています。

(ウ) 保護者及び地域向け小中一貫教育リーフレットの作成

いなべ市が進めている小中一貫教育について、保護者及び地域に伝えるためのリーフレット第9号を作成しました。（令和6年4月配付）

(エ) 取組の推進に向けた条件整備

a 各中学校区への「小中一貫教育コーディネーター」の配置

平成28年度から各中学校区に2人配置しています。

b 推進体制の構築

いなべ市小中一貫教育推進委員会、いなべ市教育研究会、いなべ市校長会等小中一貫教育を推進する組織との連携を図っています。

(オ) 小中一貫教育研究発表会の開催

小中一貫教育の研究成果を内外に発表することを目的に、研究発表会を開催しています。

令和4年度・・・北勢中学校区

令和5年度・・・大安中学校区

(7) 未来いなベ科事業

地域の自然・歴史・文化・産業、また福祉・環境、進路等を教材に、子どもたちが主体的に問題解決学習を行う総合学習を支援しています。

学校名	主なテーマ	学校名	主なテーマ
阿下喜小	地域と関わり、地域を知り、地域から学び、地域とともに生きる子を育てる	治田小	たくましく学び、豊かに生き合い、自分の未来を描く
十社小	自然や人と触れ合う中で、自ら考え、課題を持って自ら動き出し、学んだことを自己の生き方に活かそうとする子を育てる	山郷小	【自分発見・人発見・地域発見】 ～地域に学び、人と関わりながら自分自身を発見しよう～
員弁西小	主体的で対話的な活動を高めていく～子ども同士がつながることで～	員弁東小	地域とともに「人・もの・自然」
笠間小	自ら学び、考え、主体的に判断し、仲間を大切にする笠間っ子集団をめざして ～地域の人、自然、文化、労働・生産と関わる学習を通して～	三里小	人・自然・文化と関わる体験学習、課題解決学習を通して、「生き抜く力・生き合う力・生き拓く力」を育む ～地域に学ぶ三里っ子 人との関わりを通して学ぶ三里っ子～
石樽小	石樽の郷土を愛し、誇りに思い、自分たちの地域をより良くしようと積極的に活動する子どもを育成する	丹生川小	子どもが未来に向かって学び続ける力の育成
藤原小	学び合い 磨き合い 未来を生き拓く 子ども		
北勢中	「ふるさと&みらい」 ～確かな学力とキャリア育成～	員弁中	未来へ向かってたくましく生きる子 ～力ある生徒に 心ある生徒に 夢ある生徒に～
大安中	自ら考え自ら学び、仲間と共に問題を解決する生きる力の育成及び学び方や考え方の習得を通して、地域を大切にしながら伝統を守り引き継ぐ	藤原中	「感性を育む教育の創造」 ～一人ひとりが輝く「WAVE」をめざして～

(8) 夢・未来プロジェクト2030事業**ア いなベンチャー**

いなベンチャーとは、プロジェクトアドベンチャーの手法を取り入れた教育活動です。心がワクワクするグループチャレンジによる課題解決活動の実体験を通して、安心できる学級、支え合う学級、豊かな人間関係づくりに取り組む中で、一人ひとりの主体的な学びを促進し、困難にチャレンジする気持ち、自己肯定感の向上及び思いやりの心を育むことを目的として

います。

令和3年度は、株式会社プロジェクトアドベンチャー日本の難波克己さんを講師に迎え、市内全小中学校でいなベンチャーを実施しました。令和4年度は4校、令和5年度は3校の研究推進校で実践研究を進めました。個々の主体性を尊重しつつ、協調しなければ達成できない課題に挑戦する過程で、コミュニケーションを高めるとともに、楽しみながら個人と集団全体の成長を促すことを大切にして取組を進めています。

イ ふるさと応援隊の学校活動

(ア) 事業目的（趣旨）

人、社会、世界、そして未来へとつながる「ホスピタリティ」の精神を日本航空株式会社客室乗務員のキャリアや対人コミュニケーション技術等から学び、次代を担う児童生徒が人としての立居振舞を身につける機会にするとともに、SDGsの取組やキャリア教育を推進します。

(イ) 事業実績（令和5年度）

学校活動の実施内容・・・令和5年度の実施内容結果

講座内容	校種	学校数	授業回数	対象学年	児童生徒数	
お仕事講座	小学校	11校	13校	18回	4年以外学年	426人
	中学校	2校		7回	2年	241人
マナー講座	小学校	13校	16校	20回	1年以外学年	523人
	中学校	3校		10回	2・3年	341人
情報伝達	小学校	9校	10校	19回	3・4・5・6年	504人
	中学校	1校		3回	1年	96人
SDGs	小学校	11校	13校	16回	4・5・6年	404人
	中学校	2校		4回	1年	130人
計		延べ52校	97回		2665人	

(ウ) 事業内容（令和5年度）

- a 年間を通じて、各学校が2回程度の学校活動を実施しました。
 - b 学校活動では、客室乗務員が授業をしました。
 - c 各学校は、昨年度までの実施状況を踏まえて、下記の4つの講座の中から希望する内容や実施学年・学級を選択して学校活動を設定しました。
 - 講座A : 「客室乗務員お仕事講座」
 - 講座B : 「マナー講座」
 - 講座C : 「情報伝達：プラス受信・発信」
 - 講座D : 「SDGsの取り組み」 ～クイズにチャレンジしながら～
- ※ 中学校は、上記の各講座にキャリア教育の内容を加えました。

(9) 楽器寄附受入事業

全国に眠る使われなくなった楽器を寄附いただき、楽器が不足しているいなべ市の中学校、高校及び教育機関へ届けます。寄附を希望する人が、専用サイトから申し込むと、連携するマーケットエンタープライズが買取査定を行い、査定額に納得していただけた場合、寄附が成立します。楽器は市へ物納され、寄附者は買取額に応じて、税金控除が受けられます。

一般的なふるさと納税と違って、返礼品はありません。子ども達からお礼の手紙をお送りすることと、コンサートへの招待を行っています。楽器が足りないという、市内の学校の困りごとを解決するだけでなく、自分や家族が大事にしてきた楽器を、想いととも、次の世代につなげるという新しい寄附文化が醸成されつつあります。

申込件数	楽器寄附（物納）	楽器査定額寄附（現金寄附）
27件	0件	5件（査定額177,050円）

(10) 地域学校協働事業

地域と学校が同じ目標に向かって協働する活動（地域学校協働活動）を推進していく団体として、各学校区には、学校の教職員、保護者、地域住民とで構成する「地域学校協働委員会」という組織があります。市内各校は、「コミュニティ・スクール」として「地域学校協働委員会」と連携し、保護者や地域住民の参画による地域学校協働活動を展開しています。昨年度の取組は、以下のとおりです。

- 学習支援（ミシンや裁縫の支援、マラソン練習の見守り、宿題の見守り等）
- 体験活動支援（米づくり、野菜づくり、しめ縄づくり等）
- 子ども、保護者、地域住民、教職員の交流行事（祭り）の開催
- 登下校の見守り（街頭指導、付き添い登下校等）
- 学校及び地域の環境整備（窓拭き、樹木の伐採、草刈り等）
- 広報誌の発行（自治会回覧、HPへの掲載等）

これまでも、いなべ市内の学校は、保護者や地域住民の参加・参画による教育活動を展開してきました。今後も各校においては、学校運営協議会における熟議を通じた学校教育活動の充実と、地域学校協働委員会が推進する地域学校協働活動の充実を図り、学校・家庭・地域の共鳴・共創によって「地域とともにある学校づくり」「学校教育を通じた地域づくり」の一体的な推進を図ります。

(11) スクールバス運行事業

ア 内容と経過

遠距離地区通学児童及び生徒の通学手段を確保するため、在籍校の5校に対して、業務委託により20台のスクールバスで送迎を行いました。

本事業においては、北勢中学校、十社小学校、員弁西小学校の通学バスについては公益社団法人いなべ市シルバー人材センターへ、藤原小学校、藤原中学校の通学バスについては三

岐鉄道株式会社へ委託しました。

令和5年度の運行にあたっては、大きなトラブルや事故もなく、安全に児童及び生徒を送迎することができました。

イ 運行対象地区（令和5年度実績）

- (ア) 北勢中学校ルート
川原（7人）
- (イ) 十社小学校ルート
川原（15人）、貝野（35人）、小原一色（6人）
- (ウ) 員弁西小学校ルート
市之原（9人）、坂東新田（3人）、平古（13人）
- (エ) 藤原小学校ルート
鼎（21人）、川合（10人）、地域交流センター（27人）、古田（20人）、旧東藤原小（26人）
東藤原（25人）、立田（26人）、山口（21人）、白瀬①（9人）、白瀬②（7人）、
日内（7人）
- (オ) 藤原中学校ルート
古田（5人）、篠立（4人）

ウ 運行対象日

- (ア) 通常の授業実施日
- (イ) 土曜授業
- (ウ) 長期休業中における学校行事
 - ・全校登校日
 - ・クラブ活動（中学校）
 - ・プール実施日の送迎（小学校）

(12) 外国人英語指導事業

継続的で安定した英語指導、国際理解教育を保障するために、平成19年度からALT（外国語指導助手）派遣、配置業務を民間委託し、事業を実施してきました。平成22年度からは派遣事業とし、授業者とALTの緊密な連携の下、中学校においては基礎基本の徹底と語学力の向上を目指した指導が行われました。

また、小学校においては平成30年度から継続して、専門講師を派遣して、コミュニケーション能力の育成を目指した小学校教員向け授業づくり研修を実施しています。

令和5年度のALTは以下のとおりです。

ブロック	ALT国籍・性別	担当校
A地区	フィリピン・女性	北勢中、山郷小
B地区	アメリカ・男性	員弁中、員弁西小、員弁東小
C地区	オーストラリア・女性	藤原中、藤原小、石樽小
D地区	アメリカ・女性	大安中、三里小
E地区	アメリカ・男性	治田小、十社小、笠間小、丹生川小、阿下喜小

(13) 生徒指導事業

平成24年度から、2人の生徒指導特別指導員(元警察官と元中学校長)を配置しています。市内各校を巡回訪問し、暴力行為等の問題行動の未然防止と再発防止、児童及び生徒への個別指導、安全な学校秩序維持のための支援を行いました。また、交通安全及び不審者対策として、市内のパトロールも実施しました。学校訪問回数は、中学校1校あたり月3～4回、小学校1校あたり月1～2回、市内パトロールは月10～12回でした。

(14) 研究指定校事業

令和5年度は、大安中学校区、員弁中学校区を対象に「小中一貫教育推進のための研究」として、ブロック指定をしました。

研究発表会は、以下の日程で実施しました。

- ・大安中学校区・・・令和5年11月1日(研究2年次発表)

(15) 学校保健**ア 就学前健診事業**

健診・検査	対 象 者	実施時期
視力・聴力検査	小学校入学予定者	9～11月
問診・内科・歯科健診	小学校入学予定者	10～11月

イ 学校健診事業

健診・検査	対 象 者	実施時期
内科健診(結核健診)	全小学生・全中学生	4月～6月
眼科健診	小学1年生	4月～6月
耳鼻科健診	小学1年生・中学1年生	4月～6月
歯科健診	全小学生・全中学生	4月～6月
尿検査	全小学生・全中学生	5月～6月
心電図検査	小学1・4年生・中学1年生	5月～6月

(16) 教育総合研究所事業

ア 研修事業

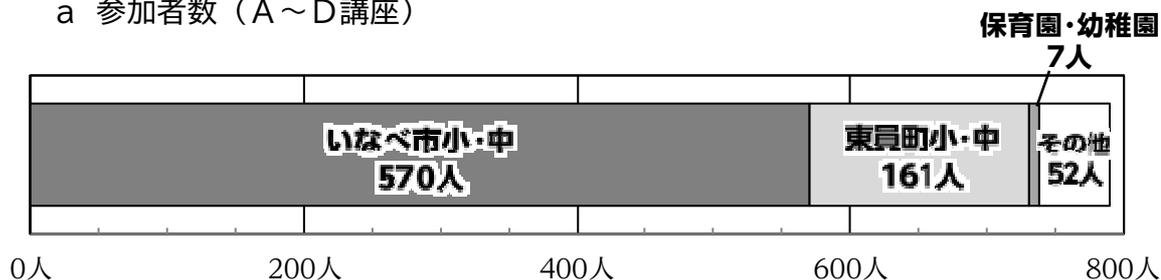
(ア) 研修会の実施回数

年間を通して、下記のように研修講座を開催しました。

A	スペシャリスト直伝・教科研修	5回	
B	一人力 仲間力UP! 教育課題研修	6回	
C	夢・未来プロジェクト2030	6回	
D	出前研修	2回	
合計		19回	の研修講座を実施

(イ) 研修会参加状況

a 参加者数 (A～D講座)



参加延べ人数は 790 人でした。

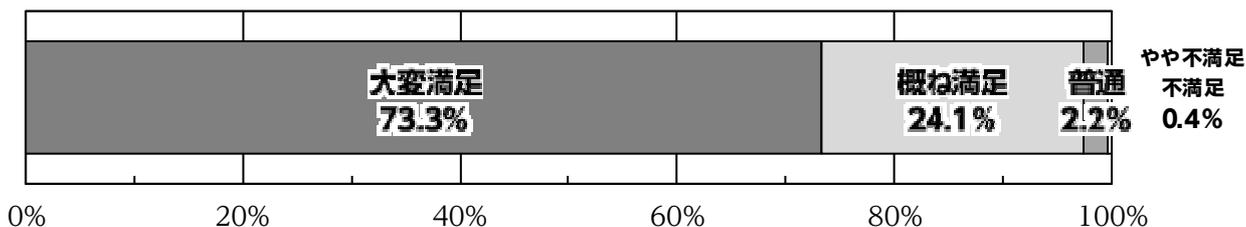
その他・・・他市町教育関係者、いなべ市職員等

b A～C講座における受講回数分布 (いなべ市教職員)



昨年度より受講回数3回以上の人数が増加しています。これは、今年度C講座を受講回数に加えたことが一因と考えられます。

c A・B講座における参加者の満足度



研修講座毎のアンケート調査では、満足度「大変満足、概ね満足」が約97%でした。

イ 研究事業

(ア) 教育課題の研究

研究主題 I

いなベンチャーの日常化をめざした授業実践

研究主題 II

エンゲージメントを引き起こす授業

(イ) 調査・統計・資料作成

全国学力・学習状況調査、Q-U調査等、各種調査統計に関する分析を進め、資料作成や提供を行いました。

ウ 教育支援事業

(ア) 教育資料の貸し出し

<研究用書籍>

(冊)

	いなべ市内	いなべ市以外	計
中学校	80	0	80
小学校	121	0	121
その他	9	0	9
合計	210	0	210

その他・・・教育委員会等

<視聴覚資料>

(本)

	いなべ市内	いなべ市以外	計
中学校	0	0	0
小学校	9	11	20
その他	0	0	0
合計	9	11	20

(イ) 調査・研究・授業づくり支援

- a 関係機関と連携しながら、効果的な指導方法や指導内容について情報提供を行いました。
- b 校長会、市内小中学校からの研修会内容や講師に関する相談及び依頼に応じて情報提供を行ったり、研修会を開催したりしました。
- c 情報教育部会の開催や、家庭学習でのタブレット端末活用に関わる報告をまとめ情報提供するとともに、学校からの要請に応じてアプリ追加等の支援を行いました。
- d 書籍については、授業づくり、学級経営、情報教育に関して、DVDについては、平和教材、防犯・防災教育に関する問い合わせが多く、関連のある内容のものを紹介し、貸し出しを行いました。

3 生涯学習課（社会教育）

(1) 社会教育委員の活動

社会教育委員は学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者又は学識経験のある者の中から、教育委員会によって委嘱された委員です。令和5年度は8人の委員が委嘱され、7月と3月開催の社会教育委員定例会では市の社会教育活動について意見をいただきました。また委員の知見を高めるため、県内の研修会にも参加しています。

(2) 生涯学習講座の開講

ア 日常生活を豊かにするための講座

事業名	参加者	内容
「いなべ市民大学講座」（計8回） 市民が趣味、教養、特技などを高め、生きがいにつながる各講座を一般社団法人いなべ市芸術文化協会と共催で実施しました。	【定員】100人 【受講料】500円 【会場】員弁コミュニティプラザ 【開催時間】午後1時30分から午後3時まで 【参加者総数】1,053人	
第1回 芸能・文学 【演題】 魔女の宅急便と旅	156人	【講師】角野 栄子（作家） 【開催日】令和5年6月17日（土）
第2回 健康・生活 【演題】 人生を楽しくする運動のススメ	111人	【講師】湯浅 景元 （中京大学名誉教授） 【開催日】令和5年6月24日（土）
第3回 文化・歴史 【演題】 がんばっぺ！オラの大好きな日本	107人	【講師】ダニエル・カール （タレント） 【開催日】令和5年7月15日（土）
第4回 健康・生活 【演題】 免疫力を高めて100歳まで生き抜く力	166人	【講師】伊藤 華づ枝（料理研究家） 【開催日】令和5年7月22日（土）
第5回 文化・歴史 【演題】 歴史から何を学ぶべきか	167人	【講師】小和田 哲男 （静岡大学名誉教授） 【開催日】令和6年1月20日（土）
第6回 生き方・考え方 【演題】 こころをみつめる	150人	【講師】川村 妙慶 （僧侶・アナウンサー） 【開催日】令和6年1月27日（土）
第7回 子育て・教育 【演題】 人は、その人であるだけで大切な存在	93人	【講師】宮本 延春 （作家・元高校教師） 【開催日】令和6年2月10日（土）
第8回 健康・生活 【演題】 元刑事が伝授する!!詐欺に騙されない方法	103人	【講師】森 透匡 （日本刑事技術協会 代表理事） 【開催日】令和6年2月17日（土）

事業名	参加者	内容
「歴史と文化の講座」（計2回） 歴史・文化の分野について、より専門性のある内容の講座を実施しました。		【受講料】500円 【参加者総数】48人
第1回 【演題】三重県指定天然記念物 「篠立の風穴」入洞体験	30人	【講師】立田地区委員会 【開催日】令和5年10月22日（日） 【開催時間】午前10時から午後4時まで 【場 所】篠立の風穴
第2回 【演題】シルクロードの美術 ～大谷光瑞と西域探検隊～	18人	【講師】藤田 伸也 （三重大学人文学部教授・学部長） 【開催日】令和5年11月12日（日） 【開催時間】午後1時30分から午後3時まで 【場 所】大安公民館

イ 家庭教育を支援する事業

親子のふれあいや本に親しむことを目的に、次の事業を実施しました。

事業名	参加者	内容
子どもの読書週間イベント	244人	【内 容】絵本の配布など 【開催日】4月23日（日） 【場 所】員弁図書館
子育て支援センター絵本講座	—	【内 容】絵本の紹介 【開催日】6月16日（金）、7月19日（水） 【場 所】員弁子育て支援センター
図書館まつり～おやこブックフェスティバル～	1,263人	【内 容】パネルシアターなど 【開催日】10月22日（日）～11月26日（日） 【場 所】にぎわいの森、市内4図書館
コロッポ人形劇	96人	【内 容】人形劇 【開催日】3月30日（土） 【場 所】藤原文化センター



図書館まつり～おやこブックフェスティバル～



コロッポ人形劇

(3) 文化芸術活動促進に対する支援

ア 一般社団法人 いなべ市芸術文化協会への事業委託

一般社団法人いなべ市芸術文化協会に文化芸術事業の委託をしました。このことによって、市民の文化芸術活動を市民自らが互いにサポートし、より自主的な取り組みが図られ、市民文化の裾野の広がりが期待されます。

事業名	参加者	内容
いなべ市民祭 展示発表会	作品出展457人 来場者1,296人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品展示 絵画、書道、文芸、写真、山野草、花、伝統工芸、陶芸、手芸など いなべ総合学園高等学校陶芸専攻者作品 放課後子ども教室「ほくせい」作品 ・体験教室 焼き絵、グラスアート、煎茶会 <p>【開催日】 10月7日(土)～10月9日(月・祝) 10月14日(土)～10月16日(月)</p> <p>【場所】 北勢市民会館</p>
いなべ市民祭 舞台発表会	秋の部 出演者 198人 来場者 608人 春の部 出演者 323人 来場者 948人	<p>【内容】 舞踊、民謡、三味線、フラダンス、大正琴、箏曲など</p> <p>【開催日】 11月26日(日) 3月3日(日)</p> <p>【場所】 北勢市民会館</p>



市民祭

イ 文化芸術の鑑賞機会の充実

優れた舞台芸術や人文に関する講演、造形美術に関する鑑賞事業を一般社団法人いなべ市芸術文化協会との協働で自主文化事業として実施しました。

事業名	参加者	内容
第11回 いなべ市芸術文化協会会長杯争奪囲碁将棋大会	152人	【開催日】5月20日（土） 【場所】北勢市民会館さくらホール
かるクラ・ウィンドオーケストラメンバーによる演奏会・個別指導	808人	【開催日】6月7日（水）、27日（火） 7月21日（金） 【場所】北勢中学校、大安中学校
家藤正人俳句教室 夏井いつき句会ライブ in いなべ	52人 561人	【開催日】8月5日（土）、 10月21日（土） 【場所】北勢市民会館さくらホール
桂宮治 独演会	500人	【開催日】8月20日（日） 【場所】北勢市民会館さくらホール
川瀬賢太郎プロデュース名フィルのオーケストラ傑作 in いなべ Vol.13 ～古典派音楽の旅～	401人	【開催日】9月30日（土） 【場所】北勢市民会館さくらホール
北海道歌旅座 ザ・コンサート 2023	153人	【開催日】11月11日（土） 【場所】北勢市民会館さくらホール
かるクラ・ウィンドオーケストラコンサート in いなべ ～懐かしいミュージカル名曲が今ここに!!～	331人	【開催日】12月17日（日） 【場所】北勢市民会館さくらホール
さかなクンのギョギョツとびっくりおさかな教室 in いなべ	751人	【開催日】2月23日（金・祝） 【場所】北勢市民会館さくらホール
宝くじまちの音楽会 南こうせつ with ウー・ファン ～心のうたコンサート～	728人	【開催日】3月30日（土） 【場所】北勢市民会館さくらホール

ウ その他文化振興事業

事業名	参加者	内容
さくらホールでスタインウェイピアノを弾こう	8組	【開催日】10月28日（土）、10月29日（日） 【場所】北勢市民会館さくらホール
いなべ市民オペラ「SUN」	772人	いなべ市を題材としたオペラの上演 【開催日】3月24日（日） 【場所】北勢市民会館さくらホール
和太鼓普及振興事業	—	地域和太鼓芸能を活用した文化振興



いなべ市民オペラ「SUN」



さくらホールでスタインウェイピアノを弾こう

(4) 文化財「保存と活用」

市内に存する文化財の保存と有効活用への支援を行い、本市の歴史的及び文化的財産の伝承を市民と協働で行うとともに、文化財が開発行為や制度の不知によって滅失又は損傷されることのないように適正な保護のための普及啓発に努めました。

ア 文化財保護審議会

文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議する文化財保護審議会を置いています。文化財保護審議会委員は、学識経験のある者又は関係行政機関の職員の中から教育委員会が委嘱しています。令和5年度は5人の委員を委嘱しており、7月と3月に審議会を開催しました。審議会では、令和5年度文化財保護事業について報告し、指導助言を得るとともに、第2回の審議会後には藤原町東禅寺に所在する明源寺において仏像調査を行いました。

イ 国指定天然記念物の保護

(ア) 員弁川水系天然記念物ネコギギ保護増殖事業

a 事業概要

ネコギギは、ナマズ目に属する日本固有の純淡水魚で、伊勢湾と三河湾に注ぐ一部の河川にだけ生息する夜行性の魚です。国内では愛知県、岐阜県、三重県にしか生息しないという地理的に特異な分布を示し、遺伝的な希少性も高いことから1977年（昭和52年）に国の天然記念物に指定されています。

員弁川水系のネコギギは、個体群が激減し危機的な状況であるため、平成18年度から天然記念物再生事業として国及び県の補助を受けて個体の保護増殖に取り組んでいます。

一方、十社小学校が総合学習で取り組む川の環境学習をテーマとした学習では、ネコギギの生態を学ぶ授業を取り入れたり、十社小学校親師会が主体となってネコギギの勉強会などを開催して地域ぐるみの活動が進められました。

b 体制

本事業は、文化庁の指導助言を受けるとともに、各分野の専門家によって構成する員弁川水系ネコギギ保護増殖指導委員会の指導のもと、平成18年度から継続して実施してきました。

指導委員会議は年に3回開催し、文化財保護部局、市建設課や都市整備課などと情報共有しながら事業を進めています。

員弁川水系ネコギギ保護増殖指導委員会

委員長	岐阜協立大学	森 誠一 氏
委員	京都大学	渡辺勝敏 氏
委員	名古屋大学	田代 喬 氏
委員	株式会社 志摩スペイン村	里中知之 氏

(いなべ市地域活性化起業人)

飼育増殖機関

滋賀県立 琵琶湖博物館（滋賀県）

株式会社 江ノ島マリンコーポレーション

世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ（岐阜県）

危険分散飼育及び増殖 三重県立水産高等学校（志摩市）

c 結果

員弁川水系で採捕したネコギギを創始個体として、いなべ市直営の増殖施設のほか、琵琶湖博物館、県立水産高等学校等で、約500個体のネコギギを飼育しています。地域活性化起業人として里中知之氏が飼育繁殖に携わり、人為下での繁殖が成功しました。

また、平成28年から試験放流を開始しており、近年ではほぼ毎年、放流したネコギギの河川繁殖を確認しています。

一方、ネコギギの保護増殖とあわせて、三重県桑名建設事務所、市建設課及び農林課等の建設部局等が行う河川工事では、施工時にネコギギの調査保護や工事によって影響を受ける魚類の調査保護及び生息実態調査並びに適切な工法の協議検討を実施しました。

なお、これまでの保護事業の取り組みが評価され、6月に日本水大賞の環境大臣賞を受賞し、10月にネコギギ保護増殖事業指導委員会がいなべ市市民表彰を受けました。

d ネコギギ保全シンポジウムの開催

市制20周年及び日本水大賞環境大臣賞受賞を記念し、「ネコギギの保護をとおしてふるさとの未来へつなぐ」と題して、長年、いなべ市のネコギギの調査と保全にかかわってきた研究者を中心に、市民のみなさんに向けてわかりやすく講演やパネル談議を行いました。

また、ネコギギの保全に関わる学校、国や県の関係機関、水族館等によるポスター発表も行いました。ポスター発表の掲示物は、シンポジウム終了後、特別企画展「ネコギギといなべの川にすむ魚たち」の会場で企画展終了まで掲示しました。

<シンポジウム>

- ・十社小学校 5年生児童による学習発表「ネコギギが住みやすい川へ」
- ・基調講演「ネコギギの自然史と保全への挑戦」 渡辺勝敏 氏（京都大学）
- ・パネル談議「郷土財としてのネコギギの保全」
コーディネーター 森 誠一 氏（岐阜協立大学）
パネリスト 江戸謙頭 氏（文化庁）
渡辺勝敏 氏（京都大学）
田代 喬 氏（名古屋大学）
里中知之 氏（いなべ市地域活性化起業人）

十社小学校5年生児童は、ネコギギに関するクイズを出題するなど、ネコギギを含めた普段の環境学習の成果を発表し、シンポジウムの最後に児童の代表が、ネコギギやきれいな川を守りたいという気持ちを伝えてくれました。

渡辺勝敏氏の基調講演は、地球の長い歴史上、東海地方にのみ生息しているネコギギがこれまで生き残ってきたことは奇跡的なことで、この「奇跡の末裔」を保全していく意義の重要性を話されました。

江戸謙顕氏からは天然記念物の制度について解説があり、ネコギギの保護事業がなければ、いなべ市の個体群は絶滅していたと述べられました。

田代喬氏は、専門である河川工学の見地からネコギギが生息する河川環境について解説され、里中知之氏は、ネコギギの飼育状況や家系管理について話されました。

森誠一氏は、専門家、行政、地域住民の三位一体の関わり合いが深いほど自然環境保全の機運が高まることを話され、ネコギギだけでなく、十社小学校の子どもたちも地域の宝であることを強調されました。

シンポジウムには150人もの参加者があり、中学生の若い世代から質問が出るなど盛況のうちに終了しました。

なお、シンポジウムの内容は、全編You Tubeで配信しており、いつでも視聴することができます。

<ポスター発表>

- ・いなべ市教育委員会 日本水大賞 環境大臣賞受賞報告
- ・いなべ市立十社小学校
野生生物保護功労者表彰 環境省自然環境局長賞受賞報告等
- ・三重県教育委員会
「天然記念物ネコギギ保護管理指針が三重県内の自然保護に寄与したこと
～ネコギギ保全から伊勢湾周辺地域の河川環境保全へ～」
- ・三重県立水産高等学校
「～国の天然記念物ネコギギ～種の保存・繁殖の取り組み」
- ・鈴鹿高等学校自然科学部・鈴鹿中等教育学校科学部
「鈴鹿川水系におけるネコギギ保全」
- ・三重県桑名建設事務所 「災害復旧事業におけるネコギギへの配慮について」
- ・国土交通省 中部地方整備局 設楽ダム工事事務所
「設楽ダムにおけるネコギギ保全の取り組み」
- ・滋賀県立琵琶湖博物館 「琵琶湖博物館におけるネコギギ保全事業」
- ・名古屋市東山動植物園
「名古屋市東山動植物園におけるネコギギの域外保全の取り組み」
- ・碧南海浜水族館 「碧南海浜水族館の取り組み紹介」
- ・豊川市赤塚山公園 「赤塚山公園におけるネコギギの飼育下繁殖について」
- ・みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム
「岐阜県美濃加茂市における天然記念物・ネコギギの保全について」

ウ 文化財の保護事業

(ア) 市内に所在する文化財の普及啓発事業

テーマ	概要
ネコギギ (淡水魚) 保護の取組	<p>国指定天然記念物ネコギギ保護増殖事業の取組をスライドやパネルなどを用いて紹介しました。</p> <p>6月7日 十社小学校 5年生 ネコギギ身体測定</p> <p>6月13日 日本水大賞 環境大臣賞受賞及び活動報告</p> <p>6月21日 十社小学校 全校児童 ネコギギ学習会</p> <p>9月1日 十社小学校 親師会 ネコギギ勉強会</p> <p>10月28日～11月26日 特別企画展「ネコギギといなべの川にすむ魚たち」</p> <p>10月29日 ネコギギ保全シンポジウム開催</p> <p>2月6日 三重県立水産高等学校 2年生 ネコギギ飼育協定に係る保護事業説明</p> <p>2月14日～26日 北勢市民会館ネコギギ展示</p>
保護事業取組に関する 原稿執筆	<p>6月13日 『国指定天然記念物ネコギギ（淡水魚）の川での復活を目指して』 第25回日本水大賞 受賞活動集（日本水大賞委員会、国土交通省）</p> <p>11月1日 『東海地方の清流の象徴「ネコギギ（淡水魚）を未来へ』 月刊なごや No.493（株式会社 北白川書房）</p> <p>12月20日 『ふるさとの川のネコギギを未来へ守る』 会報 河川文化 第104号（公益社団法人 日本河川協会）</p> <p>1月1日 『国指定天然記念物の淡水魚「ネコギギ」の保全シンポジウムを 開催』 自然保護 No.597（日本自然保護協会）</p> <p>3月 『ふるさとの川のネコギギ復活を目指した「員弁川水系天然記念物 ネコギギ保護増殖事業』 みえ生物多様性推進プラン（第4期）（三重県農林水産部みどり共生推進課）</p>
消防訓練の 取組	<p>1月25日に北勢町阿下喜所在の大西神社神輿殿において消防訓練を行いました。</p>

(イ) 報道機関によるネコギギ保護事業の紹介

- 6月26日 読売新聞 第25回日本水大賞 環境大臣賞受賞紹介
- 6月27日 NHK三重NEWS WEB 第25回日本水大賞 環境大臣賞受賞紹介
- 6月28日 NHK東海NEWS WEB 第25回日本水大賞 環境大臣賞受賞紹介
- 7月7日 中日新聞 第25回日本水大賞 環境大臣賞受賞紹介
- 7月28日 NHKまるっと！みえ 支局だより ネコギギ保護事業の取り組み紹介
- 10月3日 中日新聞 ネコギギ保全シンポジウム告知
- 10月7日 毎日新聞 ネコギギ保全シンポジウム告知

[令和5年度に実施した主な事業／生涯学習課（社会教育）]

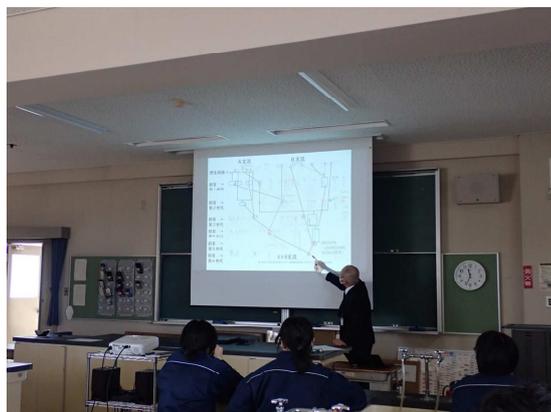
- 10月19日 FM三重 Pick up On Mie!～POMie!～
ネコギギ保全シンポジウム告知
- 11月25日 毎日新聞 特別企画展「ネコギギといなべの川にすむ魚たち」紹介
- 1月17日 CTYケーブルNews ネコギギ保護事業の取り組み取材
- 2月15日 CTYケーブルNews 北勢市民会館ネコギギ展示取材
- 2月20日 中日新聞 北勢市民会館ネコギギ展示紹介



日本水大賞 環境大臣賞受賞



市立十社小学校 全校児童学習会



県立水産高等学校



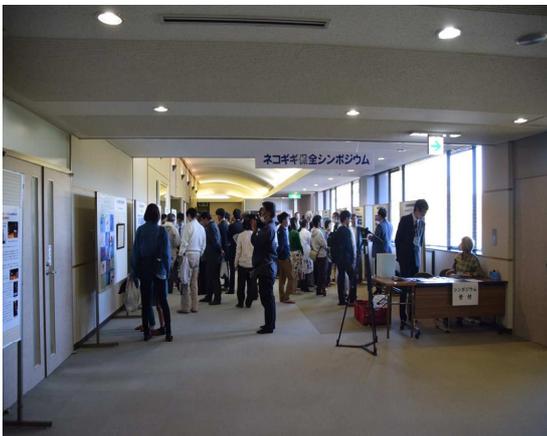
特別企画展「ネコギギといなべの川にすむ魚たち」

[令和5年度に実施した主な事業／生涯学習課（社会教育）]



北勢市民会館 ネコギギ展示

【ネコギギ保全シンポジウム】



ポスター発表



市立十社小学校 学習発表会



基調講演



パネル談義

(ウ) 指定文化財等保存活用支援事業

指定区分	文化財等の名称	事業内容	補助金交付	
			県費	市費
市	八幡祭	無形民俗文化財保存伝承		○
市	大井田弁天祭	無形民俗文化財保存伝承		○
市	鴨神社夜火松明	無形民俗文化財保存伝承		○
市	坂本曳山囃子	無形民俗文化財保存伝承		○
市	下野尻春日神社奉納獅子舞	無形民俗文化財保存伝承		○
市	片樋のマンボ	史跡管理保存		○
市	槇ノ木	天然記念物管理保存		○

令和5年度は全ての市指定無形民俗文化財を開催することができました。

(I) 市内に存する遺跡情報の公開と保護協議 派遣

土木工事などによる遺跡の破壊や滅失を防ぐため、埋蔵文化財包蔵地の所在、範囲、性格等を明らかにし、開発事業と埋蔵文化財保護の円滑な調整を図っています。

一方、市内遺跡地図を関係機関に配布するとともに、市ホームページの地図情報では市内の最新遺跡情報も公開しました。また、周知の埋蔵文化財包蔵地内（遺跡内）で土木工事等を行う場合は、文化財保護法の規定によって、施工者（原因者）の届出に基づき保護協議を行いました。

(オ) 土木工事等に係る埋蔵文化財の保護

周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等実施に伴う届出に基づき、事前の保護協議の結果、現状を保存できないものについては、三重県教育委員会からの指示に基づき、記録保存のための発掘調査等の実施、市埋蔵文化財専門職員による工事立会い、又は遺跡への負荷を最小限度に留めるための慎重施工を指示しました。

〔確認調査〕

遺跡名	所在地	調査原因
西別当遺跡	北勢町阿下喜	集合住宅
覚正垣内遺跡	北勢町阿下喜	店舗
下外面遺跡	員弁町宇野	市道拡幅
大谷遺跡	員弁町東一色	店舗兼住宅
宮山遺跡	大安町片樋	駐車場整備

〔工事立会〕

遺跡名	所在地	調査原因
覚正垣内遺跡	北勢町阿下喜	個人住宅
覚正垣内遺跡	北勢町阿下喜	個人住宅
覚正垣内遺跡	北勢町阿下喜	電柱
阿下喜南垣内遺跡	北勢町阿下喜	個人住宅

[令和5年度に実施した主な事業／生涯学習課（社会教育）]

遺跡名	所在地	調査原因
垣内遺跡	北勢町垣内	提灯屋形
新貝遺跡	北勢町別名	個人住宅
其原遺跡	北勢町其原	個人住宅
下平大野A遺跡	北勢町下平	電柱
段遺跡	員弁町石仏	郵便差出箱
暮明前遺跡	員弁町岡丁田	個人住宅
梅戸城跡	大安町門前	太陽光発電
奥仙遺跡	大安町門前、梅戸	個人住宅
下松崎遺跡	大安町平塚	個人住宅
楮遺跡	大安町平塚	駐車場改修
楮遺跡	大安町平塚	個人住宅
下小原古墳群	大安町中央ヶ丘	ガス管敷設
高柳薬師遺跡	大安町高柳	個人住宅
高柳遺跡	大安町高柳	電柱
御畑遺跡	大安町宇賀	個人住宅
御畑遺跡	大安町宇賀	樹木伐根
御畑遺跡	大安町宇賀	個人住宅
野々田古墳群	大安町野々田	個人住宅
野々田遺跡	大安町野々田	電柱
中貝戸遺跡	大安町丹生川中	電柱
丹生川B遺跡	大安町丹生川中	太陽光発電
中貝戸遺跡	大安町丹生川中	電柱
東禅寺遺跡	藤原町東禅寺	電柱

〔慎重工事〕

遺跡名	所在地	調査原因
治田銀銅山跡	北勢町別名	土砂採集
其原遺跡	北勢町其原	個人住宅
丹生川上城跡	大安町丹生川神	太陽光発電

〔保護協議継続中〕

遺跡名	所在地	協議原因
丹生川上城跡	大安町丹生川上	土砂埋め立て

(カ) 郷土資料調査研究事業

藤原町東禅寺に所在する明源寺において仏像調査を行いました。調査には生涯学習課、郷土資料館職員のほか、市文化財保護審議会委員が参加しました。

(※) 文化資料保存施設事業

郷土資料館は施設老朽化のため令和4年9月から休館していましたが、令和5年4月27日に旧中里小学校へ移転してリニューアルオープンしました。オープン当日には地元、藤原小学校の5、6年生80人が見学に訪れました。

また、企画展を2回、体験教室を1回開催したほか、小学校の見学の受け入れ、体験用の民具類の貸し出しを行いました。

[企画展一覧]

開催期間	企画展名
7月20日から8月31日まで	第1回企画展「くらしの灯り展」
12月10日から2月10日まで	第2回企画展「お店の広告 いらっしやいませ展」

[体験教室]

開催日	教室名	参加人数
8月20日	「染物体験 手ぬぐいづくり」	42人

[学校見学一覧]

見学日	学校名	見学人数
9月25日	阿下喜小学校	3年生児童 26人 教師2人
11月2日	治田小学校	3年生児童 13人 教師2人
11月15日	石樽小学校	3年生児童 52人 教師5人
1月30日	三里小学校	3年生児童 47人 教師2人
1月31日	藤原小学校	3年生児童 37人 教師4人
2月8日	丹生川小学校	3年生児童 20人 教師2人
2月21日	十社小学校	3年生児童 18人 教師2人
2月22日	笠間小学校	3年生児童 30人 教師2人

(5) 青少年健全育成の推進

ア 青少年育成市民会議活動との連携充実

家庭、学校、関係機関の連携によって地域社会の育成能力を引き出し、青少年の健全育成を図るため、有害環境浄化活動、非行防止パトロール、未成年者喫煙防止キャンペーン、青少年健全育成事業及び青少年育成活動実践者の育成などをいなべ市青少年育成市民会議に業務委託して実施しました。

いなべ市青少年育成市民会議 本部事業	
子どもの安全・安心の集い	大安中学校・員弁中学校
ふれあう心のメッセージ	市内小中学校
夏のジュニア学習会 (放課後子ども教室ほくせい共催)	海を学ぼう（賢島海遊苑他）
ど真ん中祭り（いなべ市子ども会連合会共催）	ステージ発表、模擬店、盆踊り等
八幡祭防犯パトロール	祭会場パトロール
中学生のメッセージ2023 (三重こどもわかもの育成財団共催)	第45回少年の主張三重県大会 いなべ市開催（市内中学校協力）
自然体験学習	青川クリーン作戦とマ스つかみ
腹話術・絵本と折り紙の集い	親子の集いの場提供と交流
チャレンジスポーツ大会	
秋の歩こう大会	聖宝寺、鳴谷神社で秋の紅葉を楽しむ
わくわく子育ての集い (いなべ市子ども会連合会共催)	
元旦歩け歩け大会	大安町内5か所の神社を巡る
冬のジュニア学習会 (放課後子ども教室ほくせい共催)	雪山で遊ぼう（グランスノー奥伊吹）
いなべ市青少年育成市民会議 支部事業・地区事業	
花いっぱい運動	巡回指導（夏季、冬季、春季）
ラグビー教室	マルシェ&チャレンジスポーツ
凧作り	夏休みお勉強会
スライムづくり	藤原町クリーン作戦
オセロ大会	防災講演会

ふれあう心のメッセージ（テーマ 地域の人）

応募作品 3,254点

入賞作品 18点

最優秀作品 近所のおばあさんとする、
しょうもない話がおもしろい。

表彰式 12月3日



冬のジュニア学習会

イ こどもをまもるいえ設置運動

「こどもをまもるいえ」は、子どもたちが安全に登下校できるように地域の協力によって設置され、子どもたちを犯罪から守り、被害を最小限に止めようとするものです。また、住民同士の連帯意識や相互扶助機能が低下し、地域犯罪抑止効果が弱体化しないよう、警察、地域住民、学校関係者、団体及びボランティア等が相互に連携し実施しています。令和6年3月現在、延べ894か所の家庭や事業所などに設置されています。

「こどもをまもるいえ」設置数

- a 北勢中学校区設置数 239か所（阿下喜59、治田65、十社56、山郷59）
- b 員弁中学校区設置数 259か所（員弁西105、員弁東154）
- c 大安中学校区設置数 148か所（笠間43、三里43、石樽34、丹生川28）
- d 藤原中学校区設置数 248か所（西藤原30、東藤原68、白瀬67、中里58、立田25）

ウ 子どもたちによる主体的活動への支援

(ア) 放課後子ども教室

子どもたちや子どもの活動に関わる人々がいきいきと輝くために地域の人々による地域の学校づくりを支援する組織として、こどもゆめ教室、放課後子ども教室ほくせいがあります。

安全、安心な子どもの活動拠点として居場所を設け、文化芸術活動や地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会のなかで心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めました。

今年度は、学校と連携し、クラブ活動へ講師を派遣する出前スクールを促進しました。

[令和5年度放課後子ども教室参加者延べ人数]

教室名	レギュラー スクール	オープン スクール	出前 スクール	計
こどもゆめ教室	2,512人	1,261人	1,013人	4,786人
放課後子ども教室ほくせい	4,251人	1,851人	1,249人	7,351人
合計	6,763人	3,112人	2,262人	12,137人



コー先生のえいご



油絵の具を楽しもう

(イ) 子ども発明クラブ

子どもたちが物づくりや発明の楽しさを通して創造力を育み、豊かで健全な心身の成長を図るため、いなべ市子ども発明クラブに業務委託し、物づくり教室等を実施しました。

(ウ) 市子ども会連合会

子ども会は、子どもたちの交流の場であり、子どもたちの保護者の交流の場となっています。市子ども会連合会では、地区間で子どもたちの交流を深め、活動を通して子どもの心身のよりよい発達を促すことをねらいとして活動を行っています。今年度は、スポーツ大会や講演会などの活動を支援しました。



スポーツ大会



夏まつり

(6) 二十歳のつどい

令和4年4月の民法改正で成人年齢が18歳に引き下げられました。いなべ市では20歳を対象に「いなべ市二十歳のつどい」と名称を変更し開催しました。「二十歳のつどい実行委員会」が4中学校区単位で構成され、企画、運営及び司会進行等二十歳のつどいの一切を自主運営しました。



[令和6年二十歳のつどい 令和6年1月6日(土)]

区 分	対象者数(人)			式典出席者数(人)			出席率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	男女計
大安中学校区会場	97	78	175	61	65	126	62.89%	83.33%	72.00%
員弁中学校区会場	128	53	181	43	45	88	33.59%	84.91%	48.62%
北勢中学校区会場	75	58	133	56	54	110	74.67%	93.10%	82.71%
藤原中学校区会場	22	17	39	19	9	28	86.36%	52.94%	71.79%
合 計	322	206	528	179	173	352	55.59%	83.98%	66.67%

(7) 図書館の活動

『わたしの本棚、いなべの図書館』

市民への広報、啓発事業として4月に子どもの読書週間イベント、10月には「図書館まつり～おやこブックフェスティバル～」を開催しました。

図書館定例事業としては、図書館ボランティア及び職員による館内での絵本の読み聞かせや参加型イベントなどを実施しました。

その他、人形劇や子育て支援センターでの絵本講座などを行いました。図書館の複本等不用品図書及び雑誌を市民へ提供するリユース会を開催し、2,277点を市民へ提供しました。

図書館システムでは、市内図書館のネットワーク化、インターネットによる蔵書検索によって利便性の向上に努めるとともに、いなべ市電子図書館の運用も行いました。

物流面の市内図書館4館を巡回する図書館便（週2回）の実施により、年間で58,266冊の資料の物流がありました。

名 称	所在地、特徴
北勢図書館	いなべ市北勢町阿下喜3083番地1
	北勢市民会館に併設されており、万葉の里公園にちなみ万葉集関係のコーナーがあります。郷土資料や参考資料が充実しています。入り口玄関には、趣味の作品やコレクションを展示するミニギャラリーがあります。
員弁図書館	いなべ市員弁町笠田新田111番地
	平成12年に開設された員弁図書館は、平成26年10月から員弁東小学校へ図書館機能の一部を移転し、その後、令和3年5月にいなべ市役所員弁庁舎へ移設されました。国道沿いにあり、立ち寄りやすく身近な図書館です。
大安図書館	いなべ市大安町大井田1305番地
	三岐鉄道大安駅に併設しており、気軽に本に親しめる身近な図書館です。鉄道コーナーには、鉄道関連の一般書や絵本、雑誌が揃い、幅広い人気があります。
藤原図書館	いなべ市藤原町市場493番地1
	藤原岳とふるさとの森に抱かれた丘の上、藤原文化センター2階の図書館は北から南に180度開かれた窓から四季折々の彩りを望むことができます。 子どもの読書活動推進の拠点として、絵本や紙芝居に特化した蔵書となっており、読み聞かせのための大型絵本や紙芝居なども充実しています。毎週おはなし会を開催しています。

ア 令和5年度 資料分類別年度末蔵書数及び増減冊数

単位:冊

区分		北勢	員弁	大安	藤原	全館計	受入数	払出数	増減数
一般書	総記	977	237	469	0	1,683	58	74	-16
	哲学	851	460	854	0	2,165	37	22	15
	歴史	3,779	888	2,208	0	6,875	137	145	-8
	社会科学	3,752	1,183	1,932	0	6,867	235	223	12
	自然科学	2,817	794	1,608	0	5,219	221	34	187
	技術	3,129	1,174	3,386	0	7,689	297	194	103
	産業	1,170	263	2,080	0	3,513	100	76	24
	芸術	4,094	1,103	2,072	0	7,269	110	18	92
	言語	745	224	374	0	1,343	24	10	14
	文学	21,219	6,075	11,427	0	38,721	633	1,255	-622
児童書	総記	188	107	155	44	494	13	3	10
	哲学	148	30	199	1	378	15	11	4
	歴史	1,020	403	716	21	2,160	45	4	41
	社会科学	953	295	813	55	2,116	78	23	55
	自然科学	2,301	638	1,234	154	4,327	104	7	97
	技術	878	276	847	171	2,172	84	11	73
	産業	546	150	467	45	1,208	42	2	40
	芸術	1,185	336	952	57	2,530	65	9	56
	言語	307	92	217	10	626	35	1	34
	文学	8,278	1,795	6,029	300	16,402	276	320	-44
	紙芝居	698	190	553	962	2,403	18	0	18
絵本	5,382	2,105	5,392	15,784	28,663	748	278	470	
雑誌	雑誌	886	421	1,313	272	2,892	1,150	1,240	-90
AV	AV	155	2	169	179	505	0	1	-1
電子	電子	1,464	0	0	0	1,464	174	0	174
合計		66,922	19,241	45,466	18,055	149,684	4,699	3,961	738

イ 令和5年度 おはなし会、図書館事業開催状況

図書館主催事業の他、ボランティアグループとの共催によるおはなし会等を開催しました。

区 分	参加数	期日等	会 場	備 考
北勢おはなし会	54人	12回	北勢図書館絵本コーナー	図書館職員
くまのこ おはなし会	117人	12回	員弁図書館絵本コーナー	大安町おはなしの会くまのこ
くまのこ おはなし会	472人	48回	大安図書館こどものへや	大安町おはなしの会くまのこ
こだま おはなし会	424人	34回	藤原図書館 おはなし広場	藤原おはなし会「こだま」
たんぼぼ おはなし会	159人	12回	藤原図書館 おはなし広場	よみきかせたんぼぼの会
子育て支援センター出前広場おはなし会	40人	5回	万葉の里公園 (北勢市民会館)	図書館職員
およげこいのぼり	124人	4月8日 ～5月7日	藤原図書館	参加型イベント
子どもの読書週間イベント	244人	4月23日	員弁図書館	
たなばたほしにねがいを	160人	6月10日 ～7月7日	藤原図書館	参加型イベント
あじさいおはなし会	45人	6月10日	北勢市民会館	図書館おはなしボランティア
大安夏祭り～浴衣で図書館へ行こう！～	178人	7月29日 ～8月6日	大安図書館	参加型イベント
なかみは何かな？ひいてみよう！	270人	7月2日 ～8月31日	藤原図書館	参加型イベント
図書館deトリックオアトリート	123人	10月14日 ～10月29日	藤原図書館	参加型イベント
図書館まつり～おやこブックフェスティバル～	1,263人	10月22日 ～11月26日	にぎわいの森 市内図書館	
クリスマスのおくりもの	238冊	12月1日 ～12月24日	藤原図書館	参加型イベント
クリスマスおはなし会	57人	12月16日	藤原図書館	藤原おはなし会「こだま」
えほんくじ	100冊	1月6日～	員弁図書館	参加型イベント
雪だるまかざろう	170人	2月1日 ～2月29日	藤原図書館	参加型イベント
図書館リユース会	2,277冊	3月3日	藤原文化センター	
コロッポ人形劇	96人	3月30日	藤原文化センター	岐阜大学人形劇サークル

展示

区分	期間	会場	備考
大人向け絵本展示	4、5月	北勢図書館ミニギャラリー	
終活	6、7月	北勢図書館ミニギャラリー	長寿福祉課
夏の彩	8月	北勢図書館ミニギャラリー	
いなべといえば〇〇！	8～11月	員弁図書館	
認知症とともに	9月	北勢図書館ミニギャラリー	長寿福祉課
いなべのいいとこマップ	9～11月	員弁図書館	
図書館まつり	10、11月	北勢図書館	
トールペイント教室	12、1月	北勢図書館ミニギャラリー	
放課後子ども教室ほくせい作品展示	2、3月	北勢図書館ミニギャラリー	放課後子ども教室ほくせい

ウ 令和5年度 小中学校支援状況

区分	期間	会場	備考
員弁西小学校3年生図書館見学	5月22日	員弁図書館	
北勢中学校1年生地域調べ学習	5月25日	北勢図書館	
藤原中学校2年生職場体験	6月7日～6月8日	藤原図書館	
丹生川小学校2年生図書館見学	7月6日	大安図書館	
山郷小学校教職員2、3年目研修	8月17日～8月18日	北勢図書館	
山郷小学校2年生図書館見学	10月19日	北勢図書館	
北勢中学校2年生職場体験学習	11月8日～11月9日	北勢図書館	

エ 令和5年度 子育て支援センター、保育園支援状況

区分	期間	会場	備考
団体貸出、絵本の読み聞かせ	6月1日	笠間保育園	
絵本講座	6月16日	員弁子育て	
絵本講座	7月19日	員弁子育て	
団体貸出、絵本の読み聞かせ	8月3日	笠間保育園	
団体貸出	10月11日	笠間保育園	
団体貸出	12月20日	笠間保育園	

オ 令和5年度 いなべ市図書館利用状況

【北勢図書館】

月	開館日数	蔵書冊数	貸出冊数	1日平均(冊)	貸出者数(人)	1日平均(人)	※予約件数
4	22	65,378	5,061	230.0	1,754	79.7	626
5	21	65,267	4,655	221.7	1,642	78.2	629
6	22	65,232	4,863	221.0	1,676	76.2	627
7	22	65,311	5,362	243.7	1,776	80.7	674
8	22	65,300	5,403	245.6	1,790	81.4	649
9	22	65,387	5,369	244.0	2,021	91.9	579
10	21	65,439	5,203	247.8	1,831	87.2	623
11	22	65,574	4,511	205.0	1,712	77.8	642
12	19	65,676	4,518	237.8	1,547	81.4	539
1	18	65,313	4,598	255.4	1,801	100.1	627
2	13	65,323	3,704	284.9	1,434	110.3	518
3	23	65,458	5,072	220.5	1,957	85.1	640
計	247		58,319		20,941		7,373

※予約件数には図書システムのインターネット予約件数を含む。

【員弁図書館】

月	開館日数	蔵書冊数	貸出冊数	1日平均(冊)	貸出者数(人)	1日平均(人)	予約件数
4	22	18,335	3,686	167.5	847	38.5	108
5	21	18,378	3,399	161.9	775	36.9	134
6	14	18,593	3,155	225.4	649	46.4	149
7	22	18,691	3,914	177.9	929	42.2	148
8	22	18,773	4,144	188.4	920	41.8	142
9	22	18,912	3,455	157.0	773	35.1	95
10	21	18,986	3,392	161.5	764	36.4	94
11	22	19,013	3,448	156.7	787	35.8	193
12	19	19,087	3,308	174.1	719	37.8	155
1	18	19,013	3,400	188.9	757	42.1	154
2	21	19,138	3,621	172.4	845	40.2	132
3	23	19,241	3,936	171.1	913	39.7	160
計	247		42,858		9,678		1,664

※休館期間中の作業による貸出を含む。

【大安図書館】

月	開館日数	蔵書冊数	貸出冊数	1日平均(冊)	貸出者数(人)	1日平均(人)	予約件数
4	22	45,794	4,875	221.6	1,143	52.0	110
5	21	45,543	4,164	198.3	968	46.1	99
6	22	45,570	4,861	221.0	1,108	50.4	135
7	22	45,639	5,249	238.6	1,228	55.8	123
8	22	45,729	5,383	244.7	1,240	56.4	73
9	14	45,327	3,503	250.2	793	56.6	91
10	21	45,424	4,605	219.3	1,102	52.5	109
11	22	45,534	4,504	204.7	1,093	49.7	103
12	19	45,617	4,054	213.4	950	50.0	95
1	18	45,409	4,257	236.5	1,057	58.7	127
2	21	45,385	4,672	222.5	1,154	55.0	138
3	23	45,466	4,820	209.6	1,198	52.1	162
計	247		54,947		13,034		1,365

※休館期間中の作業による貸出を含む。

【藤原図書館】

月	開館日数	蔵書冊数	貸出冊数	1日平均(冊)	貸出者数(人)	1日平均(人)	予約件数
4	22	17,894	2,508	114.0	427	19.4	100
5	21	17,942	4,006	190.8	537	25.6	448
6	22	17,780	3,762	171.0	484	22.0	465
7	22	17,832	3,499	159.0	564	25.6	396
8	22	17,856	3,180	144.5	504	22.9	308
9	22	17,905	3,195	145.2	439	20.0	127
10	18	17,970	3,010	167.2	428	23.8	467
11	22	18,040	4,017	182.6	555	25.2	308
12	19	18,031	2,855	150.3	419	22.1	258
1	18	17,999	2,580	143.3	368	20.4	179
2	21	18,002	3,087	147.0	437	20.8	288
3	23	18,055	2,750	119.6	484	21.0	109
計	252		38,449		5,646		3,453

※休館期間中の作業による貸出を含む。

(8) 国際交流の促進

いなべ市国際交流協会との連携を図り、国際交流や国際理解教育などを推進するため、協会が主催する海外紹介啓発事業、英語、中国語、韓国語講座など市民間の交流活動を支援しました。

事業名	回数	月 日	内 容
海外紹介啓発、 文化交流会、 外国人講師派遣	5	6月4日（日）	イタリア文化公演&フルーツ四重奏の会
		8月19日（土）	オーストラリア文化交流会
		11月12日（日）	中国文化交流会&二胡演奏会
		11月30日（木）	韓国文化交流会
		2月24日（土）	モンゴル料理交流会
日本語ボランティア スタッフ研修	3	7月5日（水）	にほんご広場 リーダー会
		2月10日（土）	にほんご広場 リーダー会
		3月10日（日）	にほんご広場 全員集会
語 学 講 座		毎週木、日、月曜	英語講座（一般） 延べ192回
		毎週土曜	英語講座（小学生） 延べ192回
		毎週土曜	中国語講座 延べ48回
		毎週金曜	韓国語講座 延べ48回

4 生涯学習課（社会体育）

(1) スポーツ活動の状況

ア 地域スポーツ推進事業

地域スポーツの推進と地域の活性化を図り、スポーツフェスティバルを通じてスポーツを体験する機会やスポーツの楽しさを発見する機会を持つことができました。また、子ども参加型のコーディネーショントレーニングを開催することで、地域スポーツの振興と普及を図ることができました。

種目	会場	内容	参加数
スポーツフェスティバル	員弁運動公園運動場、野球場、サッカー場、体育館	10月1日から10月31日までの期間で11競技による大会を開催	1007人
Eボート交流大会	中里貯水池	中止	—
美し国三重市町対抗駅伝	三重県庁前からスポーツの杜陸上競技場	駅伝大会	20人
子ども参加型講習会 (コーディネーショントレーニング)	北勢市民会館 さくらホール	放課後子ども教室キッズルーム教室「コーディネーショントレーニング」(年間8回)	330人
	員弁運動公園体育館 柔剣道場	「親子で楽しくコーディネーショントレーニング」(全2回)	110人

イ スポーツ推進委員協議会

生涯スポーツ普及のため、各種事業を実施しました。学校、団体などに出向き、ニュースポーツ(カローリング、ヘルスバレーボール、ボッチャ)を紹介し、指導しました。

種目	会場	内容	参加数
ニュースポーツ講習 (ヘルスバレーボール、カローリング、ボッチャ)	市内小学校体育館他	団体健康増進事業(21回)	724人



出前講習会の様子

ウ 海洋センター事業

海洋センター事業では、いなべ市大安町内の両ヶ池でインストラクターの指導のもと、カヌー、ボート、ヨットの体験ができます。マリンスポーツをより多くの青少年が体験し、普段体験できない海洋性スポーツ、レクリエーションを通じて、水に親しみながら自然を相手にして、仲間と「バディ」を組んで助け合うことの大切さを学んでいます。

種 目	対象者	内 容	参加数
B & Gカヌー教室	一般市民	カヌー等マリンスポーツ体験（中止）	—
海洋性レクリエーション実習、教室	学校、各団体等		—
艇庫開放	一般市民	マリンスポーツ体験	80人
E ボート交流大会	一般市民	水辺の地域交流活動（中止）	—
水辺の安全教室	市内小学生	着衣水泳等（10教室）	493人

エ 温水プール建設事業

小学校のプール授業が天候に左右されることなく年間を通して行うことができ、市民の健康増進を図ることを目的に令和2年度から建設を行ってきました温水プールが令和5年11月30日に完成し、令和6年4月2日にオープンしました。

(ア)建設事業

事業名	契約金額	契約業者	期間
いなべ市民温水プール（仮称） 新築工事設計業務	74,767,000円	株式会社石本建築事務所 名古屋オフィス	令和3年度
いなべ市民温水プール（仮称） 新築工事	1,632,331,800円	株式会社安藤・間 三重営業所	令和3年度～ 令和5年度
いなべ市民温水プール（仮称） 新築工事監理業務	22,880,000円	株式会社石本建築事務所 名古屋オフィス	令和3年度～ 令和5年度

(イ)施設の概要

項目	内容
施設の名称	いなべ市温水プール
所在地	いなべ市大安町大井田2704番地
規模	敷地面積 39,101.97 m ² 建築面積 2,041.58 m ² 延床面積 1,654.54 m ²
構造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
プール	25mプール 25m×12.4m+階段 水深1.1m 6レーン 幼児用プール 11.5m×7.1m 水深0.75m

オ スポーツ少年団の活動

市内で30のスポーツ少年団が活動しています。大会、本部事業等は下表のとおりです。

(ア)競技団体大会事業

事業名・大会名	メイン会場	参加者数
第18回いなべ市少年少女レスリング大会	員弁運動公園体育館	367人
いなべ市中中学生招待サッカー大会	員弁運動公園運動場ほか	11チーム
第14回いなべカップミニバスケットボール大会	員弁運動公園体育館	16チーム
第19回いなべ市長旗学童軟式野球大会	員弁運動公園野球場ほか	20チーム
第20回いなべ市長杯少年サッカー大会	員弁運動公園サッカー場ほか	24チーム
員弁ライオンズクラブ学童軟式野球新人大会	員弁運動公園野球場	10チーム
第12回いなべ・桑名・東員学童軟式野球交流大会	員弁運動公園野球場	3チーム
第20回いなべ市小学生バレーボール交流大会	員弁運動公園体育館	42チーム
第76回員弁少年剣道大会	員弁運動公園柔剣道場	16人
第19回いなべ市少年柔道錬成大会	員弁運動公園柔剣道場	41人
いなべジュニアゴルフ選手権	リレイクスカントリークラブ	18人

(イ)三重県スポーツ少年団事業（日本スポーツ少年団登録団体対象）大会等事業

事業名・大会名	会場	参加者数
第32回三重県スポーツ少年団軟式野球交流大会	安濃総合中央公園野球場	1チーム
第32回三重県スポーツ少年団剣道交流大会	四日市市総合体育館	11チーム
第21回三重県スポーツ少年団バレーボール交流大会	員弁運動公園体育館ほか	2チーム
第35回東海ブロックスポーツ少年団バレーボール	岐阜県	1チーム
第28回三重県スポーツ少年団ミニバス交流大会	木曾岬町体育館	1チーム
第5回三重県スポーツ少年団柔道交流大会	三重武道館	25人

(ウ)三重県スポーツ少年団指導者連絡協議会（日本スポーツ少年団登録団体対象）

講習会名	会場	参加者数
スタートコーチ養成講習会	いなべ市会場	6人
桑員ブロック団員地域交歓会	木曾岬町体育館	中止
桑員ブロック指導者研修会	木曾岬町町民ホール	2人

(イ)その他事業（ボランティア活動・少年団交流事業）

事業名	会場	参加者数
清掃活動などのボランティア	市内各地域	9団体
指導者研修会（AED講習会）	員弁運動公園体育館会議室	11人
団員交流会（ボッチャ及びカローリング）	員弁運動公園体育館	69人
衣料品回収	員弁運動公園柔剣道場	33人

カ 協会 事業報告

(ア) 各種講習会及び研修会

開催日	内 容	参加者数またはチーム数
5月27日	いなべ市ハンドボール講習会	60人
6月3日	第20回いなべ市バレーボール審判講習会	中止
6月8日	ゲートボール審判員更新講習（前期）	8人
6月11日	サッカー審判取得講習会	30人
6月11日	グラウンドゴルフ研修会	11人
11月9日	ゲートボール審判員更新講習（後期）	5人
2月15～16日	スキー協会指導者養成技術理論研修会	中止
2月18日	いなべ市柔道協会審判講習会	14人

(イ) 各種イベント事業

開催日	内 容	参加者数またはチーム数
10月1日 ～31日	いなべ市スポーツフェスティバル2023	1007人
2月18日	第17回美し国三重市町対抗駅伝	20人

(ウ) 各種スポーツ教室

開催日	内 容	参加者数またはチーム数
4月2日 ～3月31日	いなべ市ソフトテニス教室	38人
4月7日 ～3月29日	いなべ市バドミントン大安教室	42人
4月7日 ～3月29日	いなべ市バドミントン藤原教室	46人
4月9日 ～3月31日	いなべ市テニス教室	48人
4月16日 ～3月24日	ランニング教室（12回）	53人
7月9日 ～8月26日	いなべ市水泳教室（7日間）	35人
7月30日 ～8月27日	ハンドボール普及体験会（4日間）	60人
8月2日	第10回トヨタ車体スポーツ教室（バレーボール）	59人
1月7日	いなべ市少年サッカー教室	40人

(I) 各種スポーツ大会

開催日	内 容	参加者数またはチーム数
4月9日	第16回いなべ地区剣道大会	58人
4月9日	いなべ市自治会対抗ソフトボール大会	12自治会
4月9日	2023いなべソフトテニス大会（団体戦）	8チーム
5月3、4日	NPO法人いなべ市スポーツ協会スプリング杯	中止
5月9日 ～11月4日	いなべ市野球ナイターリーグ戦	9チーム
5月11日	第19回いなべ市民・東員町民春季ゲートボール大会	21人
5月14日	2023いなべ市バドミントン大会（個人ダブルス戦）	15チーム
5月21日	2023いなべ市民春季ソフトテニス大会	38人
5月21日、28日	第20回いなべ自治会対抗野球大会（予選）	29自治会
5月24日	第20回いなべ市春季グラウンドゴルフ大会	168人
5月27日 ～9月16日	ソフトボールリーグ戦	4チーム
5月28日	第20回いなべ市春季テニス大会	46人
6月3日	第18回いなべ市スポーツ協会長杯リーグ決勝大会	6チーム
6月10日	2023いなべ社会人サッカーリーグ	6チーム
6月18日	ソフトテニス部「中1」全員大会	28人
6月18日	第19回いなべ市民バレーボール大会	中止
6月18日、25日	J Aみえきた杯クラブカップサッカー選手権大会	5チーム
6月24日	いなべ市クレイ射撃大会	11人
6月24日	2023いなべ社会人サッカーリーグ	6チーム
7月9日	2023いなべカップバスケットボール大会	8チーム
7月16日	2023いなべ社会人サッカーリーグ	6チーム
7月26日 ～10月18日	いなべ地区壮年野球リーグ戦	4チーム
8月20日、27日	第20回いなべ郡市自治会対抗軟式野球決勝大会	8チーム
8月22日	第27回いなべ市民ゴルフ大会	46組
8月27日	第20回いなべ水泳大会兼B & G海洋センター水泳大会	61人
9月3日	第20回いなべライオン杯バレーボール大会	中止
9月3日	2023いなべ社会人サッカーリーグ	6チーム
9月7日	第19回いなべ市民東員町民秋季ゲートボール大会	5チーム
9月10日	いなべソフトテニス大会	12チーム
9月10日	第10回CTYカップ 第19回いなべ市少年柔道大会	175人
9月17日、24日	2023いなべ社会人サッカーリーグ	6チーム

[令和5年度に実施した主な事業／生涯学習課（社会体育）]

開催日	内 容	参加者数またはチーム数
10月1日、15日	2023いなべ社会人サッカーリーグ	4チーム
10月8日	2023三重平安閣スーパーカップサッカー大会	4チーム
10月11日	第6回いなべ市郵便局長杯グラウンドゴルフ大会	178人
11月3日	フットサル大会	中止
11月5日	いなべ市ソフトボール大会	4チーム
11月5日	いなべMixバスケットボール大会2023	8チーム
11月13日	第16回いなべ市自治会対抗ゴルフ大会兼 第27回いなべ市民ゴルフ大会	26自治会 (188人)
11月19日	第20回いなべカップバレーボール大会	中止
11月19日	2023いなべカップサッカー大会兼理事長杯	4チーム
11月26日	第20回いなべ市冬季テニス大会	40人
11月26日	2023いなべ市民秋季ソフトテニス大会	90人
11月26日 12月3日	いなべ市長距離記録会兼美し国駅伝選手選考会	30人
12月17日	2023いなべシニアサッカー兼 いなべ市生涯サッカー大会	3チーム
2月11日	第20回いなべ卓球大会	165人
2月25日	スポーツ協会長杯リーグ戦学童（開会式）	10チーム
3月17日	三重県ジュニアオープンレスリング大会	229人

キ 施設毎利用者数（令和5年度）

No	施 設 名	施設種別	利用者数
1	北勢武道場	柔道場	4,491人
2	北勢其原グラウンド	運動場	6,241人
3	北勢中山グラウンド	運動場	4,459人
4	員弁運動公園体育館、柔剣道場	体育館	48,932人
5	員弁運動公園運動場	運動場	13,162人
6	員弁運動公園テニスコート	テニスコート	4,476人
7	員弁運動公園野球場	野球場	8,627人
8	員弁運動公園サッカー場	運動場	7,802人
9	員弁運動公園海洋センタープール	屋外プール25m	3,796人
10	員弁御菌グラウンド	野球場	5,913人
11	大安武道館	柔道場	10,549人
12	大安西部運動場	運動場	2,384人

[令和5年度に実施した主な事業／生涯学習課（社会体育）]

No	施設名	施設種別	利用者数
13	大安スポーツ公園体育館	体育館	30,894人
14	大安スポーツ公園野球場	野球場	5,002人
15	大安スポーツ公園テニスコート	テニスコート	11,088人
16	大安スポーツ公園スパーク大安	ゲートボールコート	1,888人
17	大安スポーツ公園運動場	運動場	4,551人
18	大安海洋センター体育館	体育館	7,725人
19	大安海洋センター武道場	剣道場	3,367人
20	大安海洋センター艇庫	その他	80人
21	藤原運動場	運動場	4,036人
22	藤原第1野球場	野球場	2,596人
23	北勢町内小学校	運動場	3,601人
24	北勢町内小学校	体育館	4,189人
25	北勢中学校	運動場・テニスコート	152人
26	北勢中学校	体育館	8,901人
27	員弁町内小学校	運動場	160人
28	員弁町内小学校	体育館	5,304人
29	員弁中学校	運動場	2,400人
30	員弁中学校	体育館	3,725人
31	大安町内小学校	運動場	2,975人
32	大安町内小学校	体育館	7,744人
33	大安中学校	運動場	0人
34	大安中学校	体育館	2,964人
35	藤原中学校	運動場・テニスコート	1,354人
36	藤原中学校	体育館	7,689人
合 計			243,217人

※上表は、令和5年4月1日～令和6年3月31日の体育施設利用許可申請書に記載された人数及び利用実績報告書に記載された人数をもとに取りまとめたものです。

5 自然学習室

(1) 藤原岳自然科学館の活動（博物展示事業、自然教室事業、調査研究）

藤原岳自然科学館では、いなべ市、特に藤原岳周辺の恵まれた自然を活用し、自然科学の調査研究及び学習に資するため、博物展示及び自然教室を実施しました。

ア 博物展示事業

(ア) 常設展示物の追加及び交換

常設展示している解説パネルを更新（写真やフォント等）しました。

昆虫と小動物の生体展示コーナーを適宜更新しました。

「ふるさとの森の今」と「藤原岳の植物と景観」の植物写真を適宜入れ替えました。

(イ) 淡水魚飼育水槽等の管理

定期的に水槽の水替えと清掃を実施しました。

青川ネットワークの協力によりアマゴの卵の孵化の様子と孵化して間もない稚魚を展示しました。

(ウ) 標本の保守作業

昆虫標本等の防虫剤の入れ替えを実施しました。

イ 第45回児童生徒自然科学作品展

開催期間 令和5年9月17日（日）

～ 10月1日（日）

開催場所 藤原文化センター 大研修室

期間中の入場者数 670人

表彰式 令和5年9月30日（土）



ウ 企画展「秋の鳴く虫展」

開催期間 令和5年9月17日（日）～ 10月1日（日）

開催場所 藤原文化センター 2F市民ホール前

展示協力 西田翔太郎 氏

展示内容 日本人の生活と深くかかわり、古くから詩歌にも詠まれてきた鳴く虫を、生体と標本、パネル等で展示し解説しました。

虫売り屋台（復元）を設置するとともに、鳴く虫を描いた絵画を展示し、実際に虫が鳴いている様子の映像をモニターに映しました。

生体展示した種 キリギリス科 : ヒガシキリギリス、オナガササキリ、

ハタケノウマオイ

クツワムシ科 : クツワムシ

ツコムシ科 : サトクダマキモドキ

コオロギ科 : エンマコオロギ、ハラオカメコオロギ、クマスズムシ

マツムシ科 : マツムシ、アオマツムシ、スズムシ

[令和5年度に実施した主な事業／自然学習室]

ヒバリモドキ科：クサヒバリ、マダラスズ、シバズズ、ヒゲシロスズ
 カネタタキ科：カネタタキ
 ケラ科：ケラ

期間中の来場者数 605人



エ 自然教室事業

年間をとおして植物、動物（鳥類、昆虫類等）、キノコ、岩石、星座などに関する21講座を企画しました。

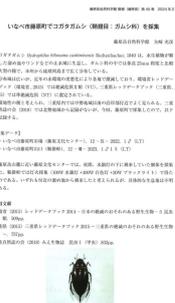
年間の参加者数は395人で、詳細は別表【自然教室事業の開催状況】のとおりです。



オ 調査研究

定期的に市内各地で動植物の分布、貴重種の有無などを調査し、資料収集を実施しました。

収集資料を整理、保存し、展示に活用するほか、重要な知見については、館報『藤原岳』第45巻（2024年2月発行）で報告しました。調査地点の詳細は別表【令和5年度 藤原岳自然科学館 調査研究活動記録】のとおりです。



(2) その他の活動

ア 広報活動

(ア) ホームページで最新の情報を発信

催し物の案内をいなべ市ホームページの「イベント情報」に掲載

(イ) 情報誌 L i n k への情報掲載

催し物の案内を「くらしの情報」欄に随時掲載

(ウ) いなべ市広報番組「いなべ10」での情報発信

いなべ10の「いなべの自然みっけ隊」のコーナーで、月に1回程度、ふるさとの森や屋根のない学校、水辺の里公園など、いなべ市内に生息する様々な生き物の紹介をしています。

(I) 藤原岳自然科学館リーフレットの配布

藤原岳登山口休憩所及び坂本休憩所等に配布

(オ) 年間行事予定ポスター及びチラシの配布

a いなべ市、東員町の各小中学校にチラシ配布

b 藤原岳登山口休憩所及び坂本休憩所等にポスター掲示

(カ) 報道機関による藤原岳自然科学館等の紹介、資料提供の協力等

4月 中日新聞「令和5年度自然教室」告知

CTYまほろば 館内撮影

8月 NHKまるっと！みえ（ふるさとの森で夜の虫探し）撮影

FM三重 Pick up On Mie!～POMie!～

「ノギアサ・ステップアップ」コーナー電話出演

9月 毎日新聞「秋の鳴く虫展」告知

中日新聞「第45回児童生徒自然科学作品展」紹介

CTYケーブルNews「第45回児童生徒自然科学作品展」及び「秋の鳴く虫展」紹介

10月 中日新聞「第47回児童生徒自然科学研究発表会」紹介

11月 三重テレビ取材（館内、ふるさとの森）

CTYまほろば ふるさとの森撮影

2月 中日新聞 セツブンソウ（ふるさとの森）及び「幸運のしおり」紹介

CTYケーブルNews フクジュソウ（ふるさとの森）取材

CTYスケッチ セツブンソウ、フクジュソウ（ふるさとの森）取材

3月 中日新聞 自然共生サイトふるさとの森 取材

CTYケーブルNews 自然共生サイトふるさとの森 取材

CTYチョット言わせて ふるさとの森 取材

イ 小中学校の理科学習等の支援活動

(ア) 市内の小中学校等での学習支援活動

6月16日（金） 藤原小中学校特別支援学級 出前授業

(イ) 遠足等での施設見学受け入れ

4月20日（木） 藤原小学校1、2年生遠足 ふるさとの森で春さがし

- 4月27日（木） 藤原小学校3、4年生遠足 屋根のない学校で自然観察
- 4月28日（金） ふれあい教室館内見学
- 10月17日（火） 員弁西小学校1、2年生 生活科出前授業
- 10月26日（木） 三里小学校2年生遠足 館内見学、ふるさとの森で自然観察
- 11月1日（水） 藤原小学校1、2年生遠足 ふるさとの森で秋さがし、館内見学（ネコギギ特別展）



(ウ) 図書館とのコラボレーション事業

10月22日（日） にぎわいの森で開催された図書館まつり～おやこブックフェスティバル～で、「葉っぱのしおりづくり」、「ドングリごま作製」のワークショップを実施しました。



(I) 諸団体への協力

9月9日（土） グリーンクリエイティブいなべ主催のイベント（Inabe Green Lab. Vol.2）に協力し、宇賀川の自然調べツアーを実施しました。



【自然教室事業の開催状況】

開催日	教室名	場 所	内 容	参加者数
4月21日(金)	春の動植物をたずねて	藤原岳山麓	聖宝寺や鳴谷神社周辺を散策し、春の自然を観察	9人
5月13日(土)	岩石の標本をつくろう	員弁川 (北勢町内)	岩石について標本の作り方や保存方法を学び、川原で岩石を採集します	42人
5月20日(土)	甲虫の標本をつくろう	藤原文化センター ふるさとの森	甲虫を採集し、標本の作り方と保存方法を学ぶ	15人
5月20日(土)	チョウの標本をつくろう	藤原文化センター ふるさとの森	チョウを採集し、その標本づくりと保存方法を学ぶ	14人
6月2日(金)	ホタルとモリアオガエルを見る会	藤原文化センター 屋根のない学校	ホタルの形態や生態などを学習し、屋根のない学校でホタルとモリアオガエルを観察	20人
6月10日(土)	身近な植物を調べよう	藤原文化センター ふるさとの森	植物の特徴を学習し、野外で採集した植物の名前を図鑑で調べる	11人
6月10日(土)	植物標本をつくろう	藤原文化センター ふるさとの森	植物を採集し、標本の作り方と保存方法を学ぶ	19人
6月24日(土)	キノコを見る会	藤原文化センター ふるさとの森	藤原岳自然科学館周辺で里山のキノコを観察	19人
6月24日(土)	クモを調べる会	藤原文化センター ふるさとの森	クモを観察、採集し、顕微鏡で形態を観察	17人
7月8日(土)	夏休みの自然研究の仕方を聞く会	藤原文化センター	採集方法や標本の作り方、自然研究の仕方を指導	25人
7月21日(金)	光に集まる虫を調べよう	藤原文化センター	クワガタやガなどの光に集まるさまざまな虫を観察	23人
7月28日(金)	宇賀川の自然調べ	宇賀川 (大安町内)	宇賀川の水生生物や岩石などを観察	25人
8月6日(日)	ため池の生物を調べよう	屋根のない学校	オタマジャクシやヤゴなど水の中で暮らす生き物を観察	16人
8月19日(土)	標本の名前を聞く会	藤原文化センター	自由研究で作った標本の名前や研究内容について指導	19人

[令和5年度に実施した主な事業／自然学習室]

開催日	教室名	場 所	内 容	参加者数
9月23日(土)	いなべ公園の自然観察	いなべ公園 (員弁町内)	いなべ公園を散策して、野鳥、昆虫、木の实などを観察	23人
10月20日(金)	秋の動植物をたずねて	藤原岳山麓	聖宝寺や鳴谷神社周辺を散策し、秋の自然を観察	13人
11月18日(土)	ふるさとの森の自然観察	ふるさとの森	ふるさとの森の紅葉を中心に、木の実や野鳥、昆虫などを観察	25人
12月9日(土)	冬の野鳥を見る会	両ヶ池周辺 (大安町内)	両ヶ池に飛来するカモ類など冬の野鳥を観察	15人
1月20日(土)	冬の自然観察	藤原岳山麓	動物の足跡や生き物の冬越しのようすを観察	8人
2月10日(土)	冬の星空を見よう	藤原文化センター	冬の星座や月、星雲・星団などを観察	19人
3月16日(土)	早春の花を見る会	藤原岳山麓	聖宝寺や鳴谷神社周辺を散策し、早春の自然を観察	18人

【自然科学作品展示事業の開催状況】

開催日	事業名	場 所	内 容	備考
9月17日(日) ～ 10月1日(日)	第45回 児童生徒自然科学作品展	藤原文化センター	市内の児童及び生徒が夏休み期間中に研究、作製した標本などを展示	出展数 141作品 来場者 670人

【自然科学研究発表事業の開催状況】

開催日	事業名	場 所	内 容	備考
9月30日(土)	第47回 児童生徒自然科学研究 発表会	藤原文化センター	児童生徒自然科学作品展の出展者による研究成果の発表	参加数 5組5人 来場者 約80人

【企画展事業の開催状況】

開催日	事業名	場 所	内 容	来場者数
9月17日(日) ～ 10月1日(日)	秋の鳴く虫展	藤原文化センター	<ul style="list-style-type: none"> ・鳴く虫17種の生体展示 ・コオロギ、バッタ類の標本展示 ・鳴いている様子の映像展示 ・パネル等による展示と解説 	605人

【藤原岳自然科学館展示コーナー 月別入館者数】

(単位：人、子ども：中学生以下)

年 月	男 性		女 性		団 体	合 計
	大人	子ども	大人	子ども		
令和5年4月	135	96	142	91	121	585
5月	174	100	154	100	143	671
6月	108	106	137	87	143	581
7月	129	125	177	143	301	875
8月	182	194	213	170	85	844
9月	207	173	272	159	659	1470
10月	148	170	196	155	263	932
11月	162	157	203	151	73	746
12月	101	93	149	138	27	508
令和6年1月	97	74	111	105	14	401
2月	187	126	247	126	35	721
3月	151	154	200	184	140	829
計	1781	1568	2201	1609	2004	9163

【令和5年度 藤原岳自然科学館 調査研究活動記録】

月 日	調査場所		
4月2日	藤原町 ふるさとの森		
4月5日	北勢町 悟入谷	藤原町 鞍掛峠	
4月8日	藤原町坂本	藤原町大貝戸	藤原町 ふるさとの森
4月9日	藤原町 ふるさとの森		
4月12日	藤原町 ふるさとの森		
4月13日	大安町 野入溜	員弁町坂東新田	
4月14日	藤原町坂本	藤原町 ふるさとの森	
4月16日	藤原町 ふるさとの森		
4月20日	藤原町 ふるさとの森		
4月21日	藤原町坂本		
4月23日	藤原町 ふるさとの森	藤原町 屋根のない学校	
4月28日	藤原町 ふるさとの森		
5月6日	藤原町 ふるさとの森	藤原町 屋根のない学校	
5月10日	藤原町 ふるさとの森		
5月17日	大安町 野入溜		
5月18日	藤原町 ふるさとの森		
5月24日	大安町大井田	藤原町 ふるさとの森	
5月27日	藤原町 ふるさとの森		
5月31日	藤原町 屋根のない学校	藤原町 ふるさとの森	員弁町 いなべ公園
6月3日	藤原町 ふるさとの森		
6月7日	藤原町大貝戸	藤原町坂本	藤原町 ふるさとの森
6月11日	藤原町 ふるさとの森		
6月14日	藤原町 ふるさとの森		
6月16日	藤原町篠立	藤原町 冷川	
6月18日	藤原町 ふるさとの森		
6月23日	藤原町 ふるさとの森		
6月24日	藤原町 ふるさとの森		
6月29日	藤原町 ふるさとの森		
7月1日	藤原町 ふるさとの森	大安町大井田	
7月2日	藤原町 ふるさとの森	大安町大井田	
7月5日	藤原町 ふるさとの森		
7月6日	藤原町 ふるさとの森		
7月9日	藤原町 ふるさとの森		
7月12日	北勢町 樽沢池	北勢町 田代池	北勢町 悟入谷
7月15日	藤原町 ふるさとの森		

月 日	調査場所	
7月20日	大安町 野入溜	
7月30日	藤原町 ふるさとの森	
8月2日	藤原町 河内谷	藤原町古田
8月5日	藤原町 ふるさとの森	
9月15日	員弁町 いなべ公園	
9月25日	藤原町山口	
9月29日	北勢町瀬木	
10月13日	藤原町坂本	
11月26日	藤原町 ふるさとの森	
12月8日	藤原町下相場	
12月2日	藤原町 ふるさとの森	
12月14日	藤原町 ふるさとの森	
12月17日	藤原町 ふるさとの森	
12月21日	員弁町 いなべ公園	
12月22日	大安町大井田	
12月24日	藤原町 ふるさとの森	
1月4日	藤原町 ふるさとの森	
1月10日	藤原町下相場	
1月11日	藤原町 屋根のない学校	
1月14日	藤原町 ふるさとの森	
1月22日	藤原町 ふるさとの森	
2月9日	藤原町 ふるさとの森	
2月24日	藤原町 ふるさとの森	
2月28日	藤原町 ふるさとの森	
3月1日	藤原町 ふるさとの森	
3月6日	藤原町下相場	
3月8日	藤原町坂本	
3月10日	藤原町 ふるさとの森	
3月16日	藤原町 ふるさとの森	
3月17日	藤原町 ふるさとの森	
3月22日	大安町石樽南	
3月28日	藤原町下相場	藤原町山口
3月29日	藤原町 ふるさとの森	
3月31日	藤原町 ふるさとの森	

(3) 屋根のない学校事業

屋根のない学校では、自然の中で自然に親しみ、自然に触れる体験活動や地域の歴史、文化に触れる活動を通じて、五感を育み感性豊かな子どもを育てるため、「びっくり生きものアラカルト」、「昆虫と遊ぼう」、「田んぼと畑の学校」、「川で遊ぼう！～水の中の生きものさがし～」、「ドンチキ先生の植物教室 in 屋根のない学校」、「森のミニプレーパーク」の6つの教室を1年を通して開設しました。

開校式と体験教室も含めて、7教室で30回開催し、延べ365人の参加がありました。

ア びっくり生きものアラカルト

開催日	内 容	参加者数
5月6日(土)	光る生き物を見てみよう!	12人
6月3日(土)	マス釣りを体験しよう!	20人
7月1日(土)	“水”の実験、“火”の実験	14人
8月5日(土)	草花遊びをしよう	4人
8月10日(木)	中止	—
9月2日(土)	トリックアートを作ってみよう	2人
10月7日(土)	ドングリを集めてみよう!	2人
11月4日(土)	トリックアートを作ってみよう	7人
12月2日(土)	魚に触れてみよう、磁石の実験	4人
3月9日(土)	手羽先を使って骨や体について調べよう	2人
	計	67人

イ 昆虫と遊ぼう

開催日	内 容	参加者数
5月28日(日)	トンボやチョウなどの虫捕りをしよう	7人
6月9日(金)	ホタルの観察をしよう	23人
7月26日(水)	クワガタを探そう	17人
8月3日(木)	樹液探検入門	9人
10月1日(日)	カマキリの卵を探そう	13人
11月25日(土)	越冬準備中の虫たちの様子をみよう、モス(ガ)ウオッチング	7人
	計	76人

ウ 田んぼと畑の学校

開催日	内 容	参加者数
5月28日(日)	田植え体験	31人
6月3日(土)	サツマイモ苗植え付け体験	11人
7月23日(日)	勾玉づくり体験	12人

開催日	内 容	参加者数
10月1日（日）	稲刈り体験	19人
10月7日（土）	サツマイモ掘り体験	11人
11月4日（土）	焚き火で焼き芋をしよう	17人
3月2日（土）	いなべの歴史のお話と火鉢でお餅を焼こう	15人
	計	116人

エ 川で遊ぼう！～水の中の生きものさがし～

開催日	内 容	参加者数
7月23日（日）	水生昆虫観察	12人
8月26日（土）	水生昆虫観察	21人
	計	33人

オ ドンチキ先生の植物教室in屋根のない学校

開催日	内 容	参加者数
5月6日（土）	虫メガネ(ルーペ)で新発見！	17人
7月26日（水）	スケルトンリーフでしおりを作ろう	16人
8月3日（木）	樹木観察とバードコール作り	12人
11月25日（土）	サイエンスマジック&植物が仲間をふやしていく工夫を考えよう	2人
	計	47人

カ 森のミニプレーパーク

開催日	内 容	参加者数
12月2日（土）	その日の森で見つけたもの、気づいたことを使って楽しい時間を作りましょう	7人
	計	7人

キ 開校式と体験教室

開催日	内 容	参加者数
4月23日（日）	開校式と体験教室	19人
	計	19人

「びっくり生きものアラカルト」



「昆虫と遊ぼう」



「田んぼと畑の学校」



「川で遊ぼう」



「ドンチキ先生の植物教室」



「森のミニプレーパーク」



「開校式と体験教室」



(4) 希少動植物保全事業

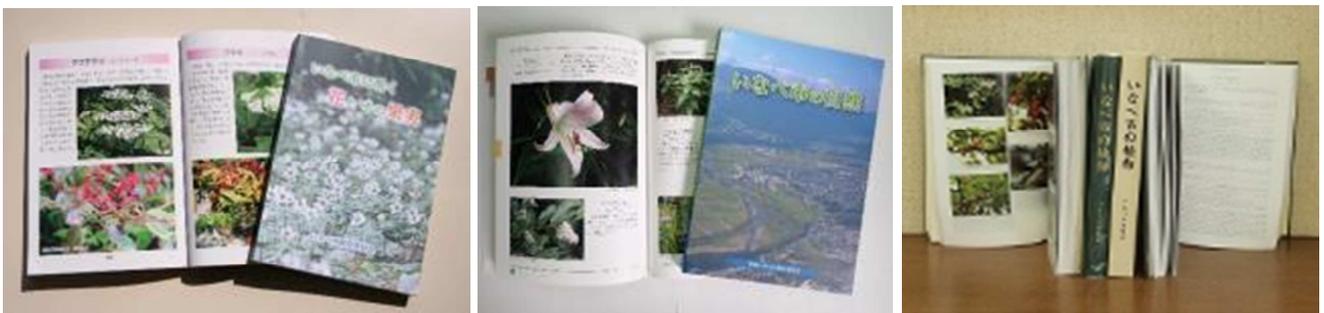
ア 希少動植物等の保護

月に数回、市内各地を定期的に調査し、希少動植物等の分布や生育、生息状況を把握しています。また、開発によって消失する希少植物の保護のため、ふるさとの森へ移植し、移植後のモニタリングを実施しています。

イ 書籍の販売

『いなべ市に咲く花とその果実』、『いなべ市の自然』、『いなべ市の植物』の書籍について、市ホームページで紹介し、藤原文化センターの窓口及び郵送にて継続的に販売しています。

これらの書籍類については、自然教室等の参加者にも適宜紹介して販売を促進するとともに、自然保護意識の普及啓発に活用しています。



(5) ふるさとの森事業

ふるさとの森は、開発などによって失われていく郷土の自然と藤原岳や御池岳に見られる好石灰岩性の植物群落を再現し、市域の自然の豊かさと素晴らしさ、大切さを後世に伝えていくことを目的につくられた施設で、「ロックガーデン」、「シデ・モミジ林」、「シイ・カシ林」、「コナラ林」の4区画に分かれています。適宜、樹木の剪定、除草などの整備をし、維持管理しています。



「ふるさとの森」リーフレット（三つ折りA5版）

ア 藤原岳自然科学館自然教室等での活用

「甲虫の標本をつくろう(5月)」、「チョウの標本をつくろう(5月)」、「植物標本をつくろう(6月)」、「身近な植物を調べよう(6月)」、「キノコを見る会(6月)」、「クモを調べる会(6月)」、「ふるさとの森の自然観察(11月)」などの自然教室や小学校の遠足等で、身近な観察

場所として、また、昆虫や植物採集の練習場所としてふるさとの森を活用しています。

その他、セツブンソウやフクジュソウ、イチリンソウ、カタクリ、ササユリなどの季節の花を観察しに訪れた来館者をふるさとの森へ案内し、植物などについて解説をしています。

イ ふるさとの森の紹介

年間を通して、藤原岳自然科学館入口に掲示している「ふるさとの森の今」のコーナーで、その時期に見られる植物の花や果実の写真を適宜入れ替えて紹介しています。

また、令和6年3月18日に環境省の『自然共生サイト』に認定されました。



ウ ふるさとの森の維持、管理

定期的に落葉や枯れ枝等の除去、樹木の間伐や剪定、除草作業、看板や植物名板のメンテナンスなどの整備を行い、来訪者が安全で安心して観察できるように維持管理しています。希少植物保護のため、肥料の施肥など土壌改良作業も適宜実施しました。

また、シルバー人材センターに委託し、7月に草刈りを実施しました。



剪定作業の様子



植物の移植作業の様子



リニューアルした区画説明看板

(6) 大井田西部公園事業

地域用水の持つ防火用水機能、景観や自然環境の保全機能又は学習や親水の場としての多面的機能の維持増進を図り、地域住民に潤いと安らぎのある水辺空間を提供するための施設として維持管理しています。

ア いなべ市水辺の里公園

いなべ市の水辺の自然を再現し、現在は少なくなった水辺の植物や水生生物を保護しながら、かつて豊かだった水辺環境の自然を観察、学習できるように維持管理をしています。

自然教室「宇賀川の自然調べ(7月)」では、川で水生生物を観察後、宇賀川に生息する淡水魚の泳ぐ姿を観察しました。また、「Inabe Green Lab.Vol.2(9月)」ではイベント会場として活用しました。

定期的に水槽ガラスの清掃と水路内の泥掃き、除草、樹木の剪定及び伐採などを行い、7月と3月にシルバー人材センターに委託して周辺の草刈りを実施しました。また、水槽付近の写真や看板をリニューアルしました。



水辺の里公園 自然水族館

淡水魚や水生動物の様子をガラス窓から直接観察できます。



里川の中下流域を再現

イ 里池公園

定期的に除草や樹木の剪定を行い、7月にシルバー人材センターに委託して周辺の草刈りを実施しました。また、外来生物であるウシガエルやアメリカザリガニ、ホテイアオイなどの駆除を適宜行っています。



里池公園



ホテイアオイの駆除作業の様子

参 考 资 料

令和6年度 児童及び生徒数、学級数

() は特別支援学級：外数 ※学級数の☆は「加配学級」

令和6年5月1日現在

小学校	児童数												合計			
	1年		2年		3年		4年		5年		6年		児童数	学級数		
	児童数	学級数														
1 阿下喜	(1) 27	1	(1) 25	1	() 25	1	() 26	1	(2) 26	1	(2) 20	1	(6) 149	155	(2) 6	8
2 治田	(1) 10	1	() 18	1	() 15	1	(1) 14	1	(3) 21	1	(1) 21	1	(6) 99	105	(1) 6	7
3 十社	(1) 11	1	(3) 20	1	(2) 17	1	(1) 18	1	(1) 15	1	(1) 15	1	(9) 96	105	(2) 6	8
4 山郷	(3) 36	2	(1) 44	2	(1) 32	1	(2) 29	1	(3) 32	1	(2) 40	☆2	(12) 213	225	(3) 9	12
5 員弁西	(3) 31	1	(1) 41	2	(1) 61	2	(6) 54	2	(2) 51	2	(1) 55	2	(14) 293	307	(3) 11	14
6 員弁東	(2) 50	2	(1) 45	2	(1) 43	2	(2) 34	1	(1) 44	2	() 28	1	(7) 244	251	(2) 10	12
7 笠間	(1) 25	1	(2) 31	1	() 26	1	() 30	1	(1) 24	1	() 25	1	(4) 161	165	(1) 6	7
8 三里	(1) 41	2	() 48	2	(3) 50	2	(1) 47	2	(2) 42	2	(2) 31	1	(9) 259	268	(2) 11	13
9 石樽	(2) 44	2	(1) 44	2	(4) 35	1	(8) 44	2	(6) 39	2	(1) 46	2	(22) 252	274	(5) 11	16
10 丹生川	(1) 12	1	(1) 14	1	(1) 9	1	() 19	1	() 17	1	(2) 24	1	(5) 95	100	(2) 6	8
11 藤原	(1) 25	1	(1) 35	1	(2) 29	1	(3) 34	1	(1) 35	1	(2) 37	☆2	(10) 195	205	(2) 7	9
合計	(17) 312	15	(12) 365	16	(15) 342	14	(24) 349	14	(22) 346	15	(14) 342	15	(104) 2056	2160	(25) 89	114

中学校	生徒数						合計			
	1年		2年		3年		生徒数	学級数		
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数				
1 北勢	(2) 96	3	(4) 94	3	(1) 97	3	(7) 287	294	(2) 9	11
2 員弁	(3) 89	3	(3) 87	3	(3) 96	3	(9) 272	281	(3) 9	12
3 大安	(6) 130	4	(10) 135	4	(13) 127	4	(29) 392	421	(4) 12	16
4 藤原	(2) 41	2	(4) 39	☆2	(4) 47	2	(10) 127	137	(3) 6	9
合計	(13) 356	12	(21) 355	12	(21) 367	12	(55) 1078	1133	(12) 36	48

☆教諭1人あたりの児童及び生徒数☆

小学校	中学校
16.9人	16.2人

※「教諭」のみの人数で算定

いなべ市内小中学校 児童及び生徒数の推移

令和6年5月1日現在

年度 校種	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
中学校全体	1,167	1,133	1,100	1,093	1,097	1,099	1,107	1,063	1,057	1,008	1,005	1,011
小学校全体	2,210	2,160	2,156	2,115	2,068	2,068	2,035	1,948	1,918	1,900	1,873	1,804
合計	3,377	3,293	3,256	3,208	3,165	3,167	3,142	3,011	2,975	2,908	2,878	2,815

年度 学校名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
北勢中学校	316	294	298	303	296	286	295	294	284	257	248	258
員弁中学校	284	281	266	274	278	300	290	280	264	271	284	277
大安中学校	437	421	412	398	412	408	418	395	413	387	387	393
藤原中学校	130	137	124	118	111	105	104	94	96	93	86	83

年度 学校名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
阿下喜小学校	148	155	153	153	145	138	139	126	127	119	120	120
治田小学校	112	105	99	85	89	90	91	90	89	93	87	83
十社小学校	110	105	100	97	84	80	67	59	57	52	53	44
山郷小学校	233	225	218	217	224	234	227	218	219	220	216	206
員弁西小学校	338	307	279	274	251	227	229	218	226	213	210	205
員弁東小学校	233	251	285	287	313	314	313	297	284	285	270	271
笠間小学校	180	165	181	184	184	198	190	191	181	183	182	170
三里小学校	273	268	280	272	259	251	253	242	237	240	243	235
石樽小学校	258	274	274	271	274	291	300	297	299	305	297	287
丹生川小学校	104	100	86	78	65	66	60	54	51	50	50	46
藤原小学校	221	205	201	197	180	179	166	156	148	140	145	137

いなべ市内小中学校 学級数の推移

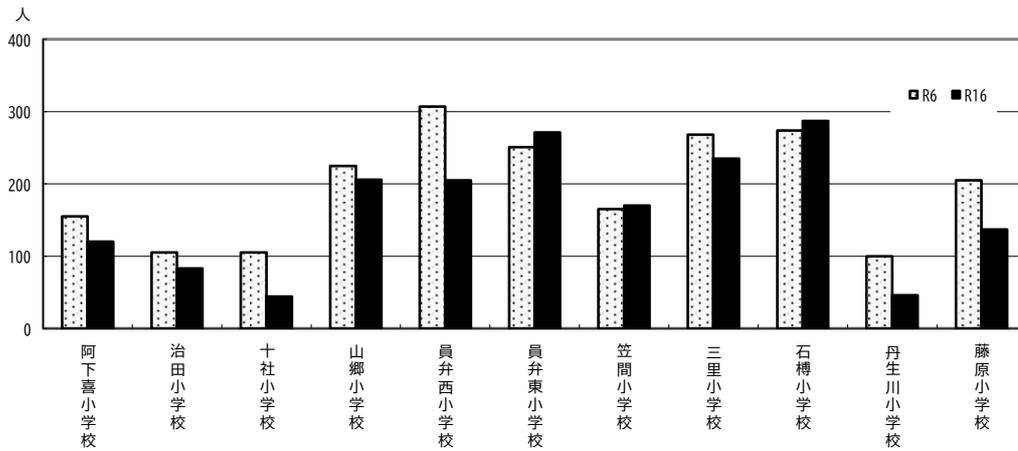
令和6年5月1日現在

※ 学級数については「標準学級数」とする

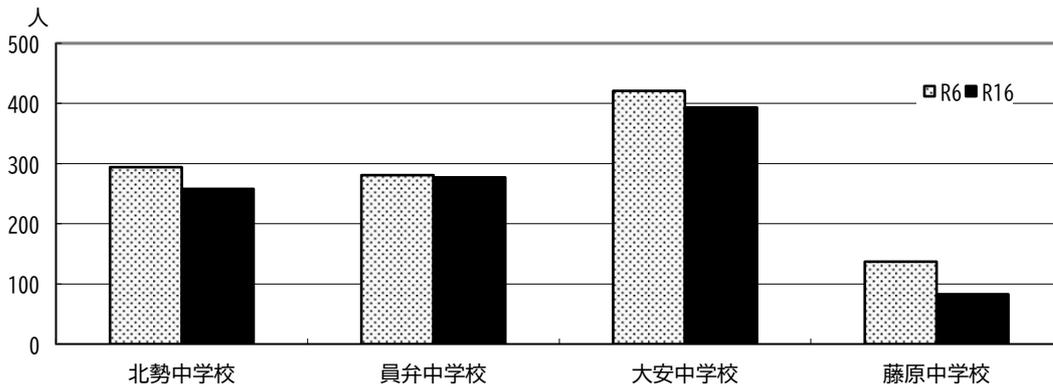
年度 学校名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
北勢中学校	11	11	12	12	12	12	12	12	11	10	9	9
員弁中学校	12	12	12	11	12	12	12	11	11	10	9	9
大安中学校	17	16	15	15	17	17	16	15	14	13	11	11
藤原中学校	7	8	7	6	5	5	5	5	4	3	3	3

年度 学校名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
阿下喜小学校	8	8	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6
治田小学校	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6
十社小学校	8	8	8	8	8	8	7	6	5	5	5	4
山郷小学校	11	11	11	10	11	11	11	9	10	10	9	8
員弁西小学校	15	14	13	13	12	11	11	10	11	10	9	8
員弁東小学校	11	12	13	13	14	14	13	12	12	12	12	12
笠間小学校	7	7	8	8	8	9	9	8	7	7	7	6
三里小学校	13	13	14	14	13	12	12	10	10	10	11	11
石樽小学校	15	16	16	15	14	14	14	12	12	12	12	12
丹生川小学校	8	8	8	8	8	7	6	5	4	5	5	4
藤原小学校	9	8	8	8	8	7	7	6	6	6	6	6

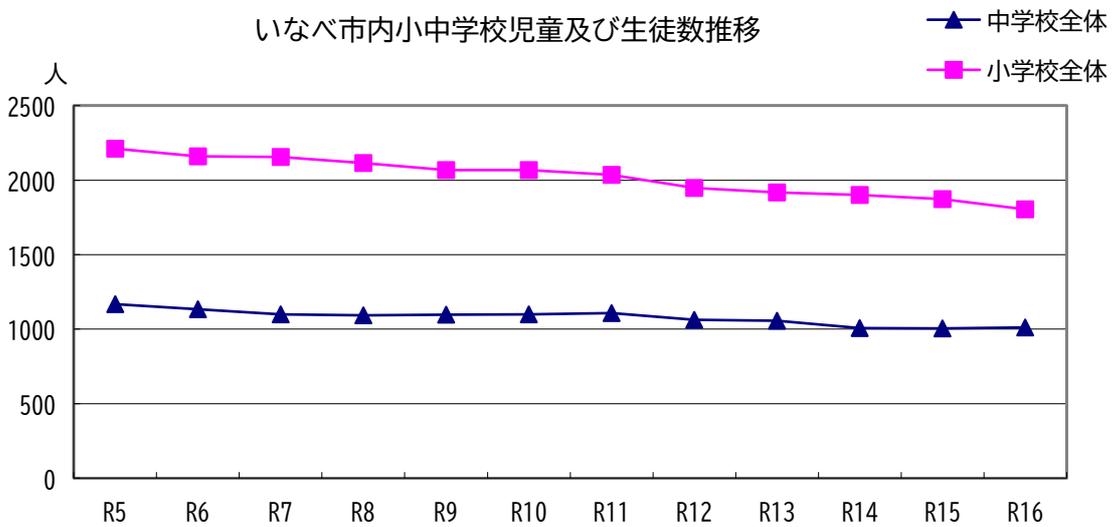
いなべ市内小学校 現在と10年後の児童数



いなべ市内中学校 現在と10年後の生徒数



いなべ市内小中学校児童及び生徒数推移



令和6年度 小中学校教職員数

令和6年5月1日現在

小学校	県費教職員										市費教職員				合計	
	校長	教頭	教諭等		講師			養護教諭	栄養教諭	事務職員	計	非常勤講師	支援員等	用務員等		調理員
			男	女	男	女	非常勤									
1 阿下喜	1	1	3	6	1	1		1		1	15	1	5	1	3	25
2 治田	1	1	3	5			1	1		1	13	1	2	1	3	20
3 十社	1	1	3	6				1		1	13	1	2	1	3	20
4 山郷	1	1	4	8		3	2	1	1	1	22	1	7	1	4	35
5 員弁西	1	1	4	12			2	1		1	22	2	5	2		31
6 員弁東	1	1	4	8		1	1	1		1	18	1	4	1		24
7 笠間	1	1	3	8				1	1	1	16	1	2	1		20
8 三里	1	1	5	9		1	1	1		1	20	2	4	2		28
9 石樽	1	1	6	13		1	3	1		1	27	1	5	2		35
10 丹生川	1	1	5	4				1		1	13	1	1	1		16
11 藤原	1	1	3	6		1	2	1		1	16		3	1		20
合計	11	11	43	85	1	8	12	11	2	11	195	12	40	14	13	274

中学校	県費教職員										市費教職員				合計	
	校長	教頭	教諭等		講師			養護教諭	栄養教諭	事務職員	計	非常勤講師	支援員等	用務員等		調理員
			男	女	男	女	非常勤									
1 北勢	1	1	9	9	1	2	2	1		1	27	3	5	2		37
2 員弁	1	1	8	9	1	1	2	1		1	25	2	3	2		32
3 大安	1	1	12	12	2	1	1	1	1	1	33	2	3	2		40
4 藤原	1	1	4	7	1	3	4	1	1	1	24	2	2	1		29
合計	4	4	33	37	5	7	9	4	2	4	109	9	13	7	0	138

小学校 ・ 中学校	県費教職員										市費教職員				合計	
	校長	教頭	教諭等		講師			養護教諭	栄養教諭	事務職員	計	非常勤講師	支援員等	用務員等		調理員
			男	女	男	女	非常勤									
総合計	15	15	76	122	6	15	21	15	4	15	304	21	53	21	13	412

【備考】

1 県費教職員について

- (1) 教諭には指導教諭、主幹教諭、充指導主事、市研修員再任用者、育児短時間勤務者を含む。
- (2) 講師のうち代替（産育休等）、初任研、研修員対応の臨時的任用講師、及び初任研関係、育短勤務者の補充、体育実技補助の非常勤講師は除く。
- (3) 養教、栄教、事務は臨時的任用等を含む。ただし、代替（産育休等）の臨時的任用は除く。

2 市費教職員について

- (1) 支援員等には、国際化対応指導員を含む。

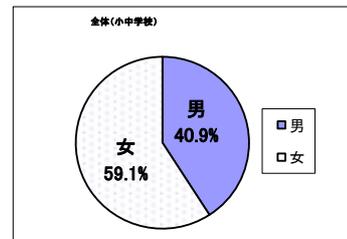
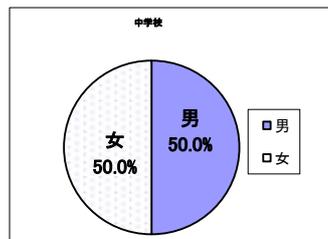
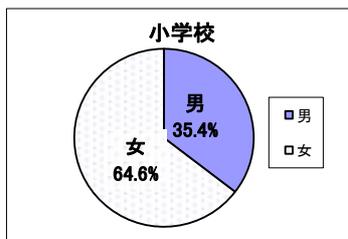
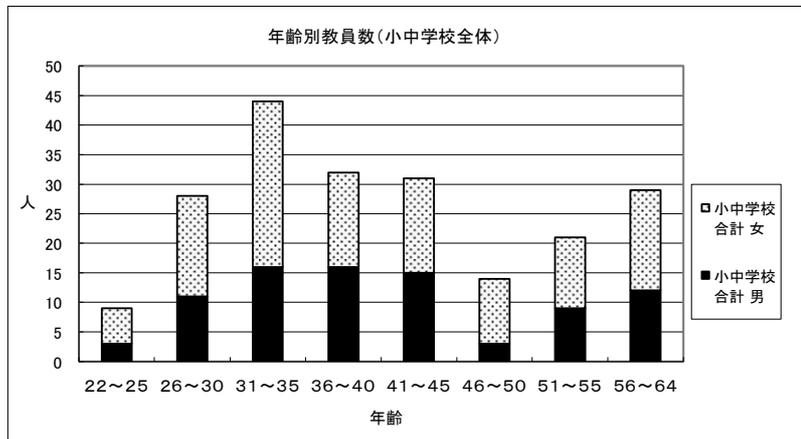
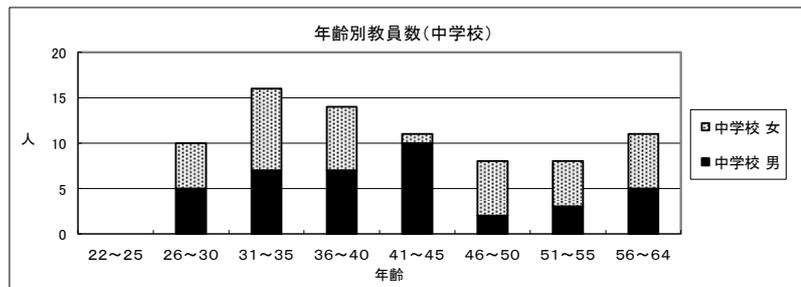
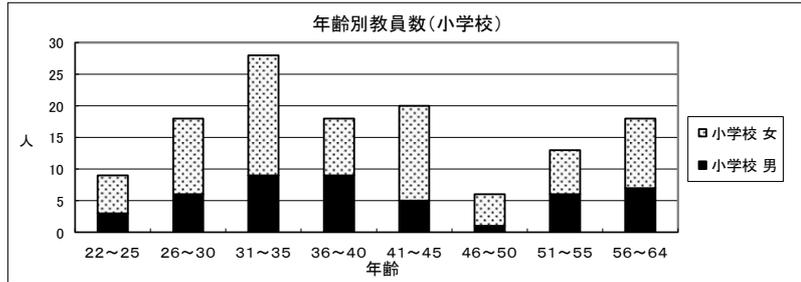
令和6年度 小中学校教諭等の男女別、年齢別構成

※年齢は令和6年4月1日現在

年齢 (歳)	小学校		中学校		計
	男	女	男	女	
22	0	1	0	0	1
23	0	1	0	0	1
24	1	1	0	0	2
25	2	3	0	0	5
26	1	4	0	0	5
27	0	1	2	1	4
28	3	1	0	1	5
29	1	2	2	0	5
30	1	4	1	3	9
31	2	6	3	2	13
32	2	1	0	1	4
33	0	5	2	0	7
34	3	5	0	4	12
35	2	2	2	2	8
36	2	3	3	0	8
37	1	2	2	0	5
38	3	0	1	2	6
39	1	0	0	3	4
40	2	4	1	2	9
41	1	4	3	0	8
42	0	5	1	0	6
43	1	1	2	0	4
44	3	3	1	0	7
45	0	2	3	1	6
46	1	2	1	1	5
47	0	1	0	1	2
48	0	1	1	3	5
49	0	1	0	1	2
50	0	0	0	0	0
51	1	1	0	1	3
52	1	1	2	1	5
53	3	1	0	0	4
54	0	2	1	2	5
55	1	2	0	1	4
56	0	2	0	1	3
57	3	0	1	1	5
58	0	1	0	0	1
59	0	2	0	1	3
60	2	3	0	2	7
61	1	1	1	1	4
62	0	2	2	0	4
63	0	0	0	0	0
64	1	0	1	0	2
平均 年齢 (歳)	小学 男	小学 女	中学 男	中学 女	小中 全体
	40.8	39.9	41.5	42.8	40.9
	40.2		39.8		

教諭男女別人数 (指導・主幹・再任用を含む)			
	男	女	計
小学校	46	84	130
中学校	39	39	78
合計	85	123	208

年齢 (歳)	小学校				中学校				小中学校合計			
	男	女	計	%	男	女	計	%	男	女	計	%
22~25	3	6	9	6.9%	0	0	0	0.0%	3	6	9	4.3%
26~30	6	12	18	13.8%	5	5	10	12.8%	11	17	28	13.5%
31~35	9	19	28	21.5%	7	9	16	20.5%	16	28	44	21.2%
36~40	9	9	18	13.8%	7	7	14	17.9%	16	16	32	15.4%
41~45	5	15	20	15.4%	10	1	11	14.1%	15	16	31	14.9%
46~50	1	5	6	4.6%	2	6	8	10.3%	3	11	14	6.7%
51~55	6	7	13	10.0%	3	5	8	10.3%	9	12	21	10.1%
56~64	7	11	18	13.8%	5	6	11	14.1%	12	17	29	13.9%
計	46	84	130	100.0%	39	39	78	100.0%	85	123	208	100.0%



奨学金制度、私学助成制度

◆奨学金制度

いなべ市在住の優秀な学生生徒であって、経済的理由により修学が困難な者に対し、奨学金を貸付け、有用な人材育成を図っています。

奨学金貸与額

区分	額	貸与月額	貸与期間
高等学校		10,000円以内	正規修業期間
高等専門学校		15,000円以内	正規修業期間
大 学		20,000円以内	正規修業期間

◆私学助成制度

私立学校の教育振興、経営の健全性を高めるための助成措置を行っています。

私立高校に通学する市内在住生徒一人当たり 4,000円 (令和5年度)

教育総合研究所資料

令和6年度 教育総合研究所運営方針

1 基本方針

心豊かでたくましい子どもを育成するために、学校、家庭及び関係機関と緊密な連携を保ちながら、下記の事業を推進し、いなべ市の教育の発展に寄与することに努める。

- (1) 今日的な保育・教育課題、いなべ市の保育・教育課題についての調査及び研究を行う。
- (2) 保育士・教職員としての専門的知識・技能を高め、資質・指導力の向上を図るための研修を行う。
- (3) 資料・図書を収集整備し、資料提供を行う。
- (4) 他機関・外部講師と連携をとって研修・研究の支援を行う。
- (5) 家庭及び地域の教育に関する家庭教育支援を行う。
- (6) 研究普及活動を中心に保育・教育現場や市民との連携を密にした広報活動を行う。
- (7) その他、教育委員会が必要と認めることを連携して行う。

『いなべの教育の泉』

～みんなの手と心で創る教育総合研究所～

「土の中から湧き出る泉」

子ども、保護者、地域に信頼される“いなべの地域に根ざす教育”の泉

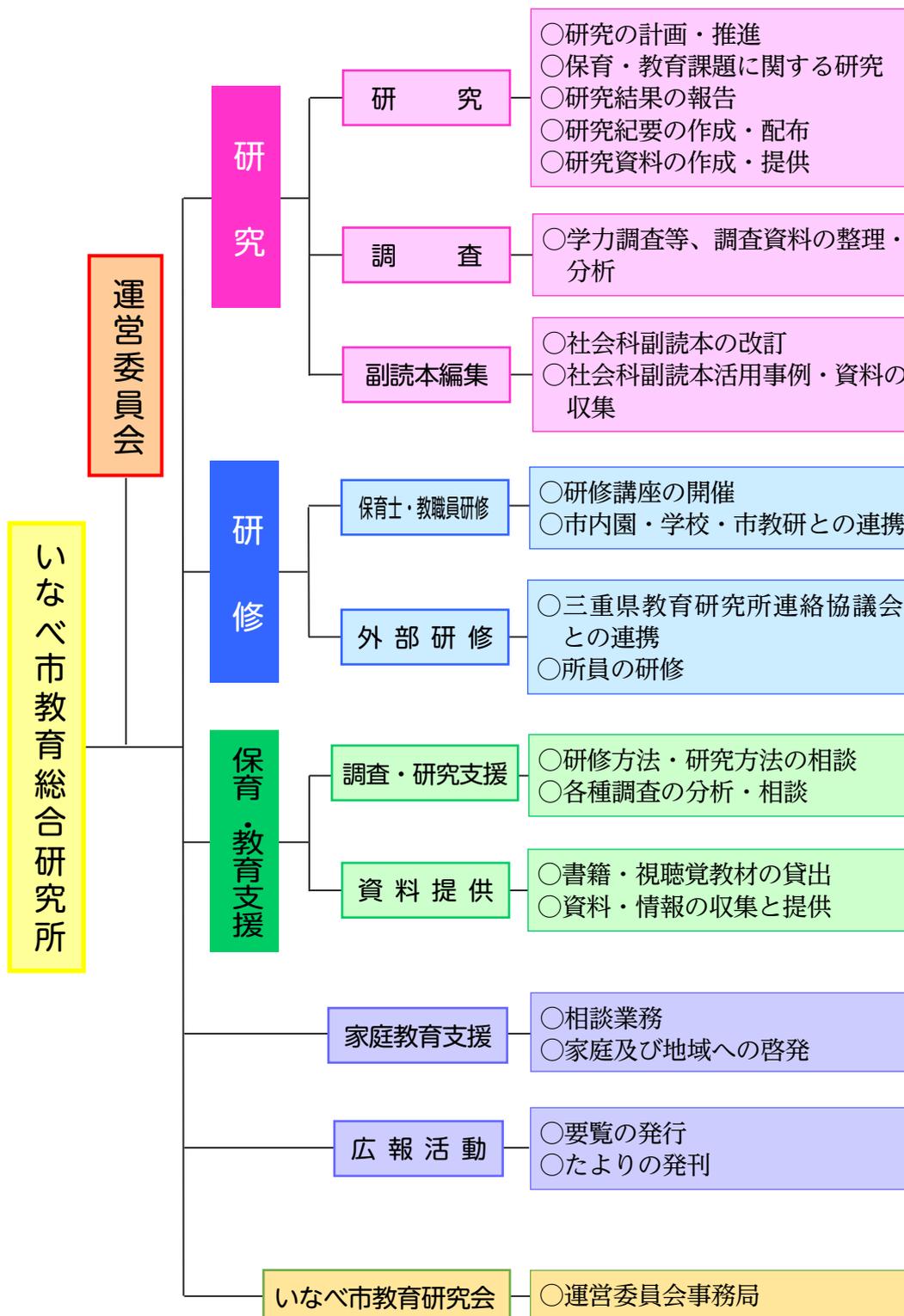
「人が自然と寄り集まる泉」

聞きたい、話したい、学び合いたい思いを持ち寄って集い、高め合う泉

「潤いをつくる源としての泉」

豊かな心と感性・確かな学力・人とのつながり、教育の潤いをつくる泉

運営機構



事業概要

1 研究事業

本市の当面する教育課題の中から、保育・学校教育に関わる諸課題の調査・研究を行います。

(1) 教育課題の研究

今日的な保育・教育課題、いなべ市の保育・教育課題について、調査及び研究を行います。

(2) 調査、統計、資料作成

学力調査等の各種調査、統計に関する分析を行い、資料作成や提供をします。

(3) 研究のまとめ

研究の成果をまとめた研究紀要を作成し、配布します。

(4) 社会科副読本の活用

小学校3、4年生社会科副読本の改訂を行います。

2 研修事業

教職員の資質向上、指導力向上を図るため、研修講座を実施します。

(1) 授業づくり研修 ～明日へのブラッシュアップ！～

年間を通して、授業の達人から、授業力アップのポイントや教材について具体的に学ぶことを支援する講座です。

(2) 教育課題研修 ～未来へのアップデート！～

様々な保育・教育課題や保育士・教職員の経験年数に合わせて、より深く学び、新たな実践が創造できるよう支援する講座です。

(3) 出前研修 ～校内研修や部会研修を支援～

いなべ市内小中学校、いなべ市教育研究会を対象として、校内研修・研究会の学習会を支援する講座です。

3 教育支援事業

(1) 調査、研究支援

ア 関係機関や外部講師と連携を図りながら、研修方法や研究方法についての相談業務を行います。

イ 学力調査等の結果を活用し、研修方法や研究方法についての相談業務を行います。

(2) 教育資料提供

ア 教育図書、視聴覚資料等の教育資料を整備、充実し、研修や研究、実践に広く活用できるよう情報の提供を行います。

イ 校務支援システムや共有フォルダを活用し、教育に関わる資料の提供を行います。

ウ 各種研究機関の研究資料の収集と提供を行います。

エ 各校の研修、研究資料の収集と提供を行います。

4 広報活動事業

教育総合研究所における諸活動についての理解を深めるために、広報活動を行います。

(1) 研究所要覧の作成と配布をします。

(2) 研究、教育に関する情報を提供します。

(3) 研究所たよりを発刊し、情報や資料を提供します。

5 その他

- (1) いなべ市教育総合研究所プロジェクト会議を主催し、関係機関と連携し、非認知能力に焦点をあてた「いなべ市保育・教育スタンダード」作成等を行います。
- (2) 学校教育・家庭教育に関わる教育相談を行います。
- (3) いなべ市教育研究会事務局を担当し、いなべ市教育研究会の運営を行います。
- (4) 初任者研修、教職6年次研修、中堅教諭等資質向上研修等に関わる事務を行います。
- (5) 小学校教員の英語力向上のための研修会を行います。
- (6) 教科用図書無償給与に関わる事務を行います。

<これまで取り組んだ研究主題>

平成18年度	①子どもの生活づくり ②「つくり手」を育む人権教育
平成19年度	①コミュニケーション能力をどう育成するか ②生活リズムと自己肯定感
平成20年度	①算数科における考える力、活用について ②小学校英語活動～扉をひらく～
平成21年度	①子どもの目が輝く外国語活動 ②科学的思考力、表現力を育む小学校理科の授業
平成22年度	①「言葉」を重視する小学校理科の授業 ②安心して学べる環境づくり～豊かな心を育む道徳教育～
平成23年度	①豊かな心を育み、よりよく生きる力を培う道徳教育 ②言葉の重視と体験の充実をめざした小学校社会科の授業
平成24年度	①社会形成力を育む小学校社会科の授業づくり ②よりよい生活の実現に向けて、実践的な態度の育成を図る家庭科教育
平成25年度	①「学ぶ意欲」の向上をめざして ②子どもたちが意欲的に取り組むための理科授業の在り方
平成26年度	①「観察・実験」を中心とした体験活動の充実を図る小学校理科授業 ②不登校児童生徒の減少のために
平成27年度	①主体的に学ぶ力を育む問題解決学習 ②ICTを活用した授業づくり
平成28年度	①協働的な学びを育むICTを活用した授業づくり ②ユニバーサルデザインの視点を活かした授業づくり
平成29年度	①子どものアセスメントをもとにしたユニバーサルデザインの授業づくり ②一人ひとりの自己実現を可能にする人権教育
平成30年度	①タブレット端末等を活用した授業づくり ②教師も児童も「国語が好き！」を目指す
平成31年度	①教師も児童も「国語が好き！」をめざす ②情報活用の実践力を育む有効な指導方法の研究
令和2年度	①書くことが好きな子を育てる作文系統指導 ②特別支援学級における個に応じたタブレット端末等の活用法
令和3年度	①発達段階に応じた「情報活用の実践力」の育成 ②「個別最適な学び」の実現のために
令和4年度	①国語科における教員の指導観と指導方法について ②今年度のいなベンチャーの取組みと今後の方向性についての一試案
令和5年度	①いなベンチャーの日常化をめざした授業実践 ②エンゲージメントを引き起こす授業

令和6年度 研修講座一覧

A. 授業づくり研修～明日へのブラッシュアップ！～

番号	開催日	曜	開始	終了	講座名	所属・講師	内 容	会 場
A-1	7/25	木	13:30	16:30	授業づくり	関西学院初等部教諭 森川 正樹	書くこと指導のみならず、授業づくりや学級づくりのスペシャリストである森川正樹先生から、教科指導や学級指導の基礎・基本を、具体的な実践事例をもとに学ぼう。(主に経験年数の短い教員を対象とする講座です。)	員弁コミュニティプラザ
A-2	7/26	金	13:30	16:30	探究する学びを探究する	一般社団法人 みつかる+わかる代表理事 市川 力	「探究的な学び」を生む授業構想にお困りではありませんか。探究する学びの研究者・実践者で、「知図」や「Feel度Walk」に取り組まれている市川力先生から、総合的な学習の時間や生活科の時間を主とした探究学習について学ぼう。	員弁コミュニティプラザ
A-3	8/5	月	13:30	16:30	「遊び」から考える授業論	東京都昭島市立光華小学校 主任教諭 安藤 浩太	国語科教育と生活科教育を中心とした低学年教育の研究・実践をされている安藤浩太先生から、幼児教育の学びと1年生での学びをどのようにとらえ、「遊びながら学ぶ、学びながら遊ぶ」授業をどのように創り出していくのかについて学ぼう。	大安公民館 大会議室
A-4	8/22	木	13:30	16:30	授業づくり：算数	筑波大学附属小学校教諭 森本 隆史	教え込みではなく、「子どもから引き出す」という授業観を大切にしている森本隆史先生。教科書を開いて、ただ教えるという算数授業を変えたいという先生方、具体的な授業のつくり方を、授業前と授業中のことに分けて考えてみませんか。2学期からの授業改善に役立ちます。	員弁コミュニティプラザ
A-5	8/26	月	13:30	16:30	授業づくり：国語	筑波大学附属小学校教諭 白坂 洋一	教科書や学習漢字辞典の編集委員を務め、小学校国語科指導の第一人者としてご活躍中の白坂洋一先生から、学習者による「省察」を重視したりフレクシオン型国語授業の実践を、具体的な教材(単元)の実践事例をもとに学ぼう。	員弁コミュニティプラザ
A-6	8/29	木	9:30	11:30	授業づくり：体育	ハドル・スポーツクラブ 平井 博史 他	器械体操で、「どうやって補助したらよいのだろう」と悩んだことはありませんか。コーディネーショントレーニングを柱に活動されているハドル・スポーツクラブの先生方から、子どもの力を引き出す安全な補助の仕方や指導のコツについて学ぼう。	員弁中学校 体育館
A-7	11/21	木	13:30	16:30	授業づくり：算数	筑波大学附属小学校教諭 森本 隆史	教え込まない算数授業を見ませんか。どのようにして、子どもたちから大切な言葉を引き出すのか、生の授業を見て、語り合しましょう。当日は、森本隆史先生が「示範授業」を行います。示範授業と講演を通して、算数授業のつくり方を学ぼう。	藤原小学校

B. 教育課題研修～未来へのアップデート！～

番号	開催日	曜	開始	終了	講座名	所属・講師	内 容	会 場
B-1	7/30	火	13:30	16:30	メンタルヘルス	スクールカウンセラー 谷澤 久美子	「タニクミのメンタルスケッチ」の執筆や、自己尊重のコミュニケーションを大切にスクールカウンセラーとして子どもたちと日々接されている谷澤久美子先生から、生徒指導や学級づくりにも役立つ、教職員のためのストレス緩和法について学ぼう。	大安公民館 大会議室
B-2	7/31	水	13:30	16:30	非認知能力の育成	岡山大学教育推進機構准教授 中山 芳一	テストなどで、客観的な数値にして測定できない能力である「非認知能力」。学童保育から大学まで様々な教育現場で経験されてきた中山芳一先生から、学校で非認知能力をどうやって伸ばしていくのか、具体的な方法論について学ぼう。	員弁コミュニティプラザ
B-3	8/2	金	14:00	16:00	学級づくりと授業づくりの運動	京都文教大学こども教育学部 こども教育学科教授 大前 暁政	「どの子ども可能性を持っており、可能性を引き出し伸ばすことが教師の仕事」ととらえ、学校現場と連携し、新しい教育を生み出す研究をされている大前暁政先生から、学級づくりと授業を連動させる指導法について学ぼう。	員弁コミュニティプラザ
B-4	8/7	水	13:00	15:00	児童生徒理解	文教大学教育学部 特別新教育専修教授 成田 奈緒子 子育て科学アクシス 公認心理師・臨床心理士 上岡 勇二	子どもの脳には「寝る・食べる・遊ぶ」という生活の中で得る刺激が欠かせない！脳の成長バランスが崩れると「発達障害もどき(発達障害と見分けがつかない症候を示している状態)」に。「子どもの脳を育てる方法」「脳と睡眠の関係」について学ぼう。	オンライン 研修
B-5	8/23	金	13:30	16:30	ブリーフ・ミーティング	桜美林大学教授 石黒康夫 立正大学心理学部教授 鹿嶋真弓	「原因にこだわらず、解決像に注目する」「30分で終了し、次なる一手を生み出す」といった解決志向の会議方法であるブリーフミーティングを石黒康夫先生・鹿嶋真弓先生から、参加型の演習プログラムを通して学ぼう。	員弁コミュニティプラザ
B-6 B-6 B-6	4/23 8/20 1/21	火 火 火	15:00 13:30 15:00	16:45 16:30 16:45	【3回連続講座】 令和の校内研修① 令和の校内研修② 令和の校内研修③	熊本大学大学院教育学研究科 特任教授 前田 康裕	昨年度開催の研修講座「教師論」で、前田康裕先生からお話のあった「授業改善プロジェクト」の体験ができる講座を、3回連続講座として開催します。自分の授業を改善する「令和の校内研修」を、講義・ワークショップ・実践を通して学ぼう。 ①遠隔研修 ②集合研修 ③遠隔研修	シビックコア 研修室 2・3・4

*この他にも、発達支援課との連携として開催する「特別支援教育研修」、校内研修を支援する「出前研修」が予定されています。

いなべ市立小中学校使用教科書一覧

令和6年度 使用小学校用教科書（北勢第1地区）

国語	書写	社会	地図	算数	理科
光村	教出 光村	日文	帝国	東書	東書

生活	音楽	図工	家庭	保健	外国語	道徳
啓林館	教芸	開隆堂 日文	東書	光文	光村 東書	教出

令和6年度 使用中学校用教科書（北勢第1地区）

国語	書写	社会			地図	数学	理 科
		地理	歴史	公民			
光村	光村	帝国	東書	日文	帝国	啓林館	啓林館

音 楽		美術	保健 体育	技術・家庭		英 語	道 徳
一般	器楽 合奏			技術	家庭		
教芸	教芸	日文	東書	東書	東書	光村	日文

放課後児童クラブ実施状況

クラブ名	住所	代表者	電話番号	平成	平成	令和	令和	令和	令和5年度				
				30	31	2	3	4	在籍児童数			職員 数	開設 日数
				児童 数	児童 数	児童 数	児童 数	児童 数	1～ 3年	4～ 6年	計		
はっぴーきっず	北勢町垣内 480 番地 2	小屋歌奈子	72-6400	16	21	24	25	32	22	10	32	6	250
なかよし ハッピーきっず	北勢町其原 95 番地 6	伊藤 葵	72-5444	36	41	34	30	27	30	3	33	9	250
さくらんぼ	大安町平塚 1203 番地 2	荒木 佳子	78-3050	30	30	33	33	36	32	5	37	6	250
いしぐれっこ	大安町石樽南 3467 番地	徳田りえ子	080- 4211-6329	29	37	23	31	21	20	0	20	9	250
スプリング	員弁町楚原 644 番地 19	多湖 香	74-5559	34	33	31	36	39	31	9	40	5	250
ふじっ子くらぶ	藤原町下野尻 963 番地	川瀬 幸子		14	7	3	3	3	0	3	3	5	250
smile	大安町門前 518 番地 10	小林千紗子	070- 5252-3016	25	23	29	33	27	20	7	27	6	250
すきっぷ きっず	北勢町阿下喜 2542 番地 6	鈴木 直子	87-7305	21	27	32	30	27	22	12	34	7	250
サクラ	員弁町楚原 644 番地 19	岸本 尚子	74-6565	35	44	32	31	35	39	0	39	4	250
おおざくら	大安町丹生川 上 650 番地 1	羽場 広務	35-5337	19	18	26	23	25	12	16	28	13	250
真名	藤原町市場 494 番地 2	渡邊智恵美	090- 7314-9963	9	17	24	29	27	20	11	31	4	250
学童石樽	大安町石樽南 3467 番地	岡 香洋	080- 4211-6329	/	/	12	14	13	11	4	15	6	250
とやしろっこ	北勢町畑毛 634 番地	本多 益	070- 1674-0336	/	/	/	/	13	13	8	21	7	250

指定文化財一覧表

指定	種別	指定番号	名称	所在地	概要及び指定年月日	
国指定	記念物 特別天然記念物		カモシカ	鈴鹿山系	広く本州及び四国、九州山岳地帯に生息繁殖する本邦特有の極めて貴重なウシ科の動物。昭和9年5月1日指定。	
		天然記念物		イヌワシ	鈴鹿山系	翼を広げると2mにもなる大型の猛禽類。三重県内では、鈴鹿山脈で生息している。昭和40年5月12日指定。
				ネコギギ	員弁川水系	東海3県の伊勢湾に注ぐ河川の中、上流域のみに生息するギギ科の淡水魚。昭和52年7月2日指定。
県指定	有形文化財 建造物		宝篋印塔	北勢町川原	南北朝時代の仏塔。塔の主「浄心妙因」は、初代美濃国守護「土岐頼貞」の妻といわれる。昭和28年5月7日指定。	
		彫刻		誕生釈迦仏立像	員弁町上笠田	白鳳時代の仏像。銅製で像高9cm。右手を高く挙げ、天上天下唯我独尊の形を示す。平成10年3月17日指定。
			薬師如来像	大安町門前	制作年代、作者不明。木造桧材寄木造で像高89.4cmの結跏趺坐（けっかふざ）。昭和54年3月27日指定。	
	民俗文化財 有形		刻限日影石	員弁町笠田新田	江戸時代。笠田新田、大泉新田両地区の水争いを収めるため、大泉新田の里親 懸野松右衛門が考案した日時計。昭和42年2月10日指定	
記念物 天然記念物		篠立の風穴	藤原町篠立	石灰岩中にできた洞穴。洞穴内にはキクガシラコウモリ、ウエノホラケヤスデなどの貴重な生物が生息する。昭和52年3月28日指定。		
市指定	民俗文化財 有形	19	坂本の曳山車 附 坂本青年団文書	藤原町坂本	明治時代。素木造り。囃子を演奏する上山と、子ども狂言を行う舞台を備えた下山からなる。滋賀県の長浜の職人桐山弥七作。平成18年6月26日いなべ市指定。	
		6	八幡祭	北勢町阿下喜	阿下喜の大西神社の祭礼。毎年7月下旬に「みこし渡御」が行われる。平成15年3月3日北勢町指定。	
		13	大井田弁天祭	大安町大井田	毎年8月25日に行われる。提灯をつるした山車を引いて、清水を汲み取り村社へ供える水取神事。平成9年1月22日大安町指定。	
		14	鴨神社夜火松明	大安町丹生川上	3年に一度の鴨神社大祭に行われる。周囲4.5m、重さ900kgの大松明に火をともして行う奇祭。平成9年1月22日大安町指定。	
		15	坂本曳山車囃子	藤原町坂本	鳴谷神社例祭の曳山行事で奏でられる。囃子は「祇園囃子」「しやぎり」「山車おろし」の3曲がある。昭和58年5月12日藤原町指定。	
		16	下野尻春日神社 奉納獅子舞	藤原町下野尻	「狂乱牡丹の舞」の称する獅子舞で、春日神社の例祭に奉納される。昭和58年5月12日藤原町指定。	
	記念物 史跡	4	治田城跡	北勢町麓村	中世の城館跡。山頂から中腹にかけて、三段に削平し城を構築。主郭の規模は東西約130m×南北約150m。平成15年3月3日北勢町指定。	
		5	田辺城跡	北勢町田辺	中世の城館跡。北勢地方有数の大規模な城跡で、主郭は土塁と二重の空堀に囲まれる。平成15年3月3日北勢町指定。	
		7	金井城址	員弁町北金井	永正2年（1505年）に種村大蔵大夫高盛が築いたとされる。南北約120m×東西約60mを測り、西には空堀をめぐらす。昭和58年2月14日員弁町指定。	
		8	岡一号古墳	員弁町東一色	全長40mの前方後円墳。大正時代に水晶製勾玉などが発見されたと伝えられる。昭和58年2月14日員弁町指定。	
		12	片樋マンボ	大安町片樋	江戸時代後期に水田用水確保のために作られた地下水集水施設。全長約1,000m。平成9年1月22日大安町指定。	

指定	種別		指定番号	名称	所在地	概要及び指定年月日
	天然記念物		1	寝櫃の木	北勢町南中津原	幹周り1m前後の櫃の木が7本地面を這うように生育。平成15年3月3日北勢町指定。
			2	大櫃の木	北勢町南中津原	幹周り5.5m、樹高10m。平安時代末期の植栽と伝えられる。平成15年3月3日北勢町指定。
			3	石神社の社叢	北勢町飯倉	ツブラジイなど石神社の周囲の巨樹。平成15年3月3日北勢町指定。
			9	榎ノ木	員弁町畑新田	樹高15m。樹齢700年と伝えられる。昭和58年2月14日員弁町指定。
			10	コノハナザクラ	員弁町坂東新田	4月下旬に開花する八重のヤマザクラの変種。平成11年8月18日員弁町指定。
			11	石部神社の杉並木	大安町石樽南	石部神社の参道にある23本のスギをはじめ、桧などの巨樹を含む。平成9年1月22日大安町指定。
			17	鳴谷神社社叢	藤原町坂本	スギをはじめとした鳴谷神社の周囲の巨樹。平成9年11月11日藤原町指定。
			18	龍王さんの大杉	藤原町篠立	幹周り4.5m。木の根元には山岳信仰の修行場があったと伝えられる。平成13年12月21日藤原町指定。
			20	篠立塚より上流の三国谷に生息する無斑型（イワメ）を含むアマゴ個体群	藤原町篠立	員弁川水系の三国谷に生息するアマゴ個体群。通常のアマゴに見られるパーマーク、朱点、黒点がないイワメが混在する。平成18年7月21日いなべ市指定。

※特別天然記念物及び天然記念物については、現在いなべ市内で確認できるものを記載している。

登録文化財一覧表

指定	種別		指定番号	名称	所在地	概要及び指定年月日
国登録	有形文化財	建造物		桐林館 (旧阿下喜小学校校舎)	北勢町阿下喜	木造、平屋建、瓦葺、入母屋造(塔屋付)、345㎡。昭和12年3月10日、阿下喜町立尋常高等小学校として落成。昭和56年6月まで学校校舎として供用された。その後第1線校舎を一部改修し校舎後方へ復元配置した。平成26年10月7日登録。
国登録	有形文化財	建造物		旧阿下喜小学校門及び石柵	北勢町阿下喜	正門(石造)間口6.0m、門(石造)間口2.8m、石柵(石造)総延長71m。大正9年から大正15年にかけて阿下喜町立尋常高等小学校の前身建物や役場の門及び石柵として整備。平成26年10月7日登録。
市登録	記念物	天然記念物	1	新町の「カンモモ」	北勢町新町鈴原地内	文久元年10月、和子内親王が將軍家茂へ降嫁となって江戸へ向かう途中の美濃赤坂の御泊所へ寒桃の実が持参献上された。また数少ない野生種の可能性がある。平成25年4月1日登録。

体育施設一覧表

令和6年4月1日現在

No.	設置年度	施設名称	施設所在地	敷地面積 【概数】	階数	施設規模	施設仕様	施設内容	駐車場	付属施設等
1	S. 57	北勢武道場	511-0428 北勢町阿下喜1980	601 ㎡	1階	競技用面積 377㎡ (柔道00畳)	鉄骨造り、 室内 畳敷き	柔道場2面 (旧小学体育館使用。 S30年代建築)	共用40台	更衣室2、 会議室、 男女トイレ
2	S. 46	北勢 其原グラウンド	511-0426 北勢町其原707	9,305 ㎡	---	競技用面積 8,000㎡	周囲フェンス及びネット、 山砂	多目的運動場 (野球場1面相当)	70台	照明設備なし
3	H. 5	北勢 中山グラウンド	511-0433 北勢町中山5-2	13,826 ㎡	---	競技用面積 8,600㎡	周囲フェンス及びネット、 洗い砂	多目的運動場 (野球場1面相当)、 バックネットあり	共用50台	照明設備なし
4	S. 59	員弁運動公園 体育館・柔剣道場	511-0202 員弁町楚原936	9,420 ㎡	2階 (体育館)	競技用面積 1,750㎡	鉄骨造、板張り (体育館・剣道場)、 畳敷き(柔道場)	バレーコート3面相当 (バドミントン2面、バド ミントン6面) 柔道場・剣道場各 1面<併設>	共用40台	スチージ、サーキットレ ーニング室、和 室、会議室、観 客席331席(2 階)、障害者用ト イレ
5	S. 59	員弁運動公園 運動場	511-0202 員弁町楚原936	10,184 ㎡	---	競技用面積 10,184㎡	周囲フェンス及びネット、 アンツカ	多目的運動場1面 (野球、バレー、サッカー)	共用58台	男女トイレ、 障害者用トイレあり
6	H. 6	員弁運動公園 テニスコート	511-0202 員弁町楚原936	3,000 ㎡	---	競技用面積 2,915.21㎡	周囲フェンス及びネット、 私テニスコート(砂入り人工芝)	テニスコート4面 (全天候型) コート張替H24年度	共用50台	照明設備あり
7	H. 8	員弁運動公園 野球場	511-0202 員弁町楚原936	9,374 ㎡	1階 (ハンフ)	センター110m、両 翼90m、 9,373.98㎡	周囲フェンス及びネット、 アンツカ、天然芝	野球場1面 (外野天然芝)	共用83台	ハンフ、 照明設備あり、 観客席(オープンスタ ンド)
8	H. 8	員弁運動公園 サッカー場	511-0202 員弁町楚原936	13,000 ㎡	---	競技用面積 12,763㎡	周囲フェンス及びネット、 天然芝	サッカー場1面 (天然芝生養生期 間あり)	共用14台	観客席(オープンスタ ンド)※周囲650m ランニングコース、照 明設備あり
9	H. 9	員弁運動公園 海洋センター プール	511-0202 員弁町楚原936	3,182 ㎡	2階 (管理棟)	競技用面積 208.18㎡	屋外プール	25m(8コ-ZH1.4m) 1面、幼児用プール 1面(7月～8 月)	体育館用 を利用	更衣室2、トイレ 、男女トイレ、貸 カカあり
10	H. 25	員弁御園 グラウンド	511-0222 員弁町御園580-1	16,714 ㎡	1階 (倉庫)	競技用面積 9,992㎡	周囲フェンス及びネット、 真砂土	野球場1面 (少年野球2面)	88台	男女トイレ、 (照明設備なし)
11	H. 2	大安武道館	511-0266 大安町石樽南335	830 ㎡	1階	柔道場1面、 剣道場1面	鉄骨造り、 板張り(剣道 道)、 畳敷き(柔道場)	柔道場1面、剣道 場1面	共用34台	更衣室 男女ト イレ、和室1室
12	S. 59	大安西部運動場	511-0272 大安町鍋坂2225	7,000 ㎡	---	多目的運動場	周囲フェンス及びネット、 砂	多目的運動場 (野球場用バックネット)	20台 (枠なし)	男女トイレ、 (照明設備なし)
13	S. 54	大安スポーツ公 園体育館	511-0292 大安町大井田2704	2,300 ㎡	1階	競技用面積 1,049㎡ バレーコート 2面相当	鉄骨コンクリート 造垂鉛メッキ鋼板 葺平屋建、板張り	バレーコート2面相当 (バドミントン6面、 支柱3面分)、移 動式バドミントン コート1対	共用42台	更衣室、男女ト イレ、 観客席 (イス360席)
14	S. 53	大安スポーツ公 園野球場	511-0292 大安町大井田2704	12,150 ㎡	1階 (ハンフ)	センター110m、両 翼91m	周囲フェンス及びネット、 真砂土、 芝生	野球場1面、 外野芝生	共用76台	男女トイレ、観客 席(オープンスタンド)
15	S. 58	大安スポーツ公 園テニスコート	511-0292 大安町大井田2704	3,200 ㎡	---	テニスコート4面	周囲フェンス及びネット、 私テニスコート(砂入り人工芝)	テニスコート4面(照明 設備あり(手動 式)、全天候型)	共用19台	男女トイレ

No.	設置年度	施設名称	施設所在地	敷地面積【概数】	階数	施設規模	施設仕様	施設内容	駐車場	付属施設等
16	H. 6	大安スポーツ公園スパーク大安	511-0292 大安町大井田2704	1,600 ㎡	1階	ゲートボール場 2面	鉄骨造り、 砂入人工芝	ゲートボール場2面相当 (テニスコート1面相当) 、 屋根付	共用19台	(クワガハウス内) 男女 トイレ、障害者用 トイレあり、照明設 備あり
17	S. 53	大安スポーツ公園運動場	511-0292 大安町大井田2704	5,800 ㎡	---	多目的運動場	周囲フェンス、 砂	多目的運動場 (サッカー、ソフトボール、 ゲラウンドゴルフ利用可)	共用97台	男女トイレ、 (照明設備なし)
18	S. 53	大安海洋センター 一体育館	511-0284 大安町梅戸2341-1	8,231 ㎡	1階	バレーコート 2面相当	鉄骨造り、 板張り	バレーコート2面相当 (バスケットボール1面相当)	共用60台	大安海洋センター武 道場と共用(男女 トイレ、更衣室 2、会議室、事 務室)
19	S. 53	大安海洋センター 一武道場	511-0284 大安町梅戸2341-1	535 ㎡	1階	剣道場2面	鉄骨造り、 板張り	剣道場2面 <大安海洋センター体 育館に併設>	共用60台	併設体育館と共 用(男女トイレ、 更衣室2、会議 室、事務室)
20	S. 54	大安海洋センター 一艇庫	511-0273 大安町平塚1558	2,956 ㎡	1階 (艇庫)	倉庫1棟、 貸出用ボート	鉄骨平屋建	艇庫 (ヨット、カヌー、ボ ート)	20台 (枠なし)	(ボート、カヌーを隣 接の池で利用) 更衣室、トイレ
21	S. 63	藤原運動場	511-0511 藤原町市場493-1	10,000 ㎡	---	競技用面積 9,000㎡	周囲フェンス及びネ ット、アンツカ	多目的運動場 (陸上200mトラック、 投てき、三段跳び/跳 場、サッカー場1面相当)	共用 350台	男女トイレ、 照明設備あり
22	S. 54	藤原第1野球場	511-0511 藤原町市場137-3	10,000 ㎡	1階 (ハンチ)	両翼87m	周囲フェンス及びネ ット、グリーンストーン	野球場1面	共用50台	男女トイレ、観客 席(オープンスタ ンド)、照明設備 あり
23	R. 5	いなべ市温水プ ール	511-0292 大安町大井田2704	39,101 ㎡	1階	室内プール	鉄骨造一部鉄筋コ ンクリート造	25mプール 6レー ン 幼児用プール	共有 44	—

※「駐車場」の欄内中、「共用」とは、ほかの施設の駐車場としても使用するため、一施設で駐車台数が確保されているものではないことを示す。